

**アレルギー疾患に関する施設調査  
(平成26年度)**

**報告書**

平成27年3月



**東京都健康安全研究センター**



## はじめに

東京都は、保育所や幼稚園などの施設に通う子供のアレルギー疾患のり患状況や施設における取組を把握するため、平成 21 年度に認可保育所などを対象としたアレルギー疾患に関わる実態調査を初めて実施しました。その結果、多くの施設にアレルギー疾患のある子供が在籍し、ぜん息発作やアナフィラキシーショック等への対応を経験した施設があることが分かりました。

東京都は、これまで、アレルギー疾患のある子供の保護者など都民の方に対する講演会のほか、保健医療福祉関係者向けに研修を実施し、正しい知識の普及啓発や人材育成に取り組んできました。平成 24 年 12 月に調布市で食物アレルギーのある児童の死亡事故が発生し、事故後、東京都は、食物アレルギー緊急時対応マニュアルを作成・配布し、都内の全保育施設を対象に緊急時対応研修を実施してきたところです。

このたび、施設における最新の状況を把握するため、前回の調査対象である認可・認証保育所、幼稚園に加え、家庭的保育やベビーホテル、学童保育などを含む全ての保育施設を対象に、施設調査を行いました。

その結果、保育施設に通う子供のアレルギー疾患のり患状況が、前回調査と比べ、食物アレルギー、アレルギー性鼻炎、アレルギー性結膜炎で増加していることがわかりました。また、生活管理指導表の利用状況、食物アレルギーのある子供の受け入れやガイドラインの整備状況、アレルギー対策に関するニーズ等の新たな知見が得られました。

今回明らかになった結果は、今後、東京都におけるアレルギー疾患対策をより一層推進していくための貴重な基礎資料として有効に活用していきます。区市町村や関係機関の皆様にもお役立ていただければ幸いです。

終わりに、調査項目や結果のとりまとめなどを御指導いただいた東京都アレルギー疾患対策検討委員会アレルギー疾患検討部会の委員の皆様と、調査に御協力いただいた保育施設、幼稚園、区市町村の関係者の皆様に厚くお礼を申し上げます。

平成 27 年 3 月

東京都健康安全研究センター  
所長 田原 なるみ



# 目 次

<b>I</b>	<b>調査の概要</b>	1
1	調査目的	3
2	調査対象及び方法	3
3	調査期間	4
4	回収状況	4
5	調査項目	5
6	調査結果の留意点等	5
<b>II</b>	<b>調査結果</b>	7
1	基本属性について	9
(1)	施設の規模及び常勤職員一人当たりの園児・児童数	9
2	アレルギー疾患のある園児・児童の状況	10
(1)	アレルギー疾患のある園児・児童の把握	10
(2)	アレルギー疾患のり患状況	10
(3)	食物アレルギーのある園児・児童の受け入れ体制	11
(4)	生活管理指導表の使用状況	12
(5)	エピペン®を処方されている園児・児童の受け入れ方針	12
(6)	エピペン®の預かり体制と預かり状況	13
(7)	食物依存性運動誘発アナフィラキシー	14
3	ぜん息発作時の対応状況	15
(1)	過去1年間にぜん息発作を発症した園児・児童の有無	15
(2)	ぜん息発作への対応	16
(3)	ぜん息発作対応の評価	16
(4)	職場内での体制の検討	17
4	食物アレルギーの発生・対応状況	18
(1)	提供している食べ物	18
(2)	アレルギー対応食に対する方針	18
(3)	食物アレルギーの症状発生の有無とその原因	19
5	食物アレルギーによるアナフィラキシーの対応状況	21
(1)	アナフィラキシーを起こした園児・児童の有無と重症度	21
(2)	アナフィラキシーへの対応	22
(3)	アナフィラキシー対応の評価	22
(4)	エピペン®の使用状況	24
(5)	アナフィラキシー発生時の体制に関する検討状況	24
(6)	日常生活や行事での配慮状況	24

6	アレルギー疾患の対応に関する取組	25
(1)	ガイドラインやマニュアルの整備状況	25
(2)	アレルギー対策委員会や健康・安全に関する担当者の設置状況	27
7	「食物アレルギー緊急時対応マニュアル」について	29
(1)	「食物アレルギー緊急時対応マニュアル」の認知度	29
(2)	「食物アレルギー緊急時対応マニュアル」の利用状況	29
8	アレルギー研修の参加状況 行政、保護者、医療機関への意見や要望	31
(1)	外部研修・講習会への参加状況	31
(2)	行政、保護者、医療機関に対する意見や要望	32
9	まとめ	34
(1)	アレルギー疾患の把握状況	34
(2)	ぜん息の状況及び対応	35
(3)	食物アレルギーの状況及び対応	35
(4)	保育施設における取組状況	36
(5)	行政、保護者、医療機関等への要望	37
(6)	今後の方向性	37
<b>Ⅲ</b>	<b>資料編</b>	41
<b>Ⅳ</b>	<b>資料（調査票）</b>	85

# I 調査の概要





## 1 調査目的

都内の保育施設等に在籍するアレルギー疾患のある園児・児童の状況や施設における対応状況の調査を行うとともに、保育施設等のアレルギー疾患に対するニーズを把握し、今後、東京都がアレルギー疾患対策事業を進めていく際の基礎資料として活用する。

## 2 調査対象及び方法

平成26年9月現在、都内にある保育施設と幼稚園等を対象に、無記名による自記式調査票を郵便にて送付した。

施設種別 (以下の説明内容は、調査時点(平成26年9月現在)におけるものである)	
認可保育所	保育を必要とする就学前児童に対する保育を行う、児童福祉法に定める児童福祉施設
認証保育所	東京の保育ニーズに対応するため、大都市の特性に着目した都独自の基準により設置・運営する保育施設
認定こども園	就学前の子供を、保護者の就労の有無に関わらず受け入れ、幼児教育と保育の一体的提供と地域における子育て支援を行う施設
幼稚園	学校教育法第22条に基づき設置された教育施設。対象は満3歳から小学校就学までの児童に対して義務教育及びその後の基礎を培うものとして保育し心身の発達を助長するための施設
ベビーホテル	都に届出がある施設のうち、都や区市町村の認証、認定がなく、 (1)午後7時以降の保育を行っているもの (2)児童の宿泊を伴う保育を行っているもの (3)時間単位での児童の預かりを行っているもの のいずれかに該当し、院内・事業所内保育施設などの分類に含まれない認可外保育施設
家庭的保育	乳児又は幼児であって、市町村が保育に欠ける児童に該当すると認めるものについて、家庭的保育者(市町村長(特別区の区長を含む。以下同じ)が行う研修を修了した保育士その他の厚生労働省令で定める者であって、これらの乳児又は幼児の保育を行う者として市町村長が適当と認めるものをいう。以下同じ)の居宅その他の場所において、家庭的保育者による保育を行う事業
学童保育	児童福祉法第6条の3第2項の規定に基づき、保護者が労働等により昼間家庭にいないおおむね10歳未満の児童等に対し、授業の終了後に児童厚生施設等を利用して適切な遊び及び生活を行う保育施設である。 学童クラブと文部科学省所管の「放課後子供教室」を併せて、本調査においては「学童保育」と表現した。
事業所内保育施設	主に事業主等が、その雇用する労働者のために都内に設置する保育施設
院内保育施設	都内の病院及び診療所に従事する職員のための保育施設
その他 (都が把握する施設)	都に届出がある施設のうち、ベビーホテル・事業所内保育施設・院内保育施設の要件に該当しない保育施設 例えば、幼稚園以外で幼児教育を目的とする施設において、概ね1日4時間以上、週5日、年間39週以上施設で親と離れることを常態としている施設など
一時預かり事業	家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳児又は幼児について、厚生労働省令で定めるところにより、主として昼間において、保育所その他の場所において、一時的に預かり、必要な保護を行う事業
病児・病後児保育	病気の子供の受け入れや保育中に体調不良となった児童への緊急対応等を行う施設
小規模保育所	区市町村の規定の基準を満たし、満3歳未満の児童を、6人以上19人以下の定員の範囲で預かる施設
その他 (区市町村が把握する施設)	区市町村が独自で整備した保育施設

### 3 調査期間

平成 26 年 9 月 1 日（月曜日）から 9 月 30 日（火曜日）まで

### 4 回収状況

7,405 施設を対象に、無記名による自記式調査票を郵便にて送付し、5,348 施設から回答を得た（回収率 72.2%）。

施設種別	配布数	回収数	回収率
認可保育所	1,980	1,588	80.2
認証保育所	707	527	74.5
認定こども園	127	95	74.8
幼稚園	926	666	71.9
ベビーホテル	546	331	60.6
家庭的保育	820	596	72.7
学童保育	1,639	1,169	71.3
上記以外の施設	660	376	57.0
合計	7,405	5,348	72.2

（注）上記以外の施設種別は、調査対象を参照のこと

## 5 調査項目

項目	内容		
施設の概要	所在地、開所（園）時間、園児・児童数、職員数		
アレルギー疾患の状況	施設の有無の把握	把握人数	ぜん息
			食物アレルギー
			アナフィラキシー
			アトピー性皮膚炎
			アレルギー性鼻炎
アレルギー性結膜炎			
ぜん息発作の発生状況等	ぜん息発作の発生状況と対応等		
食物アレルギーの発生状況等	給食等提供状況		
	食物アレルギーの症状発生状況と対応		
	初発・誤食の状況		
	アナフィラキシー発生状況と対応		
	エピペン®使用状況		
エピペン®の受け入れ体制と預かり体制			
施設内体制	アレルギーのある園児・児童の受入れ状況		
	生活管理指導表の使用状況		
	ガイドライン・マニュアルの整備状況		
	「食物アレルギー緊急時対応マニュアル」の認知度		
	アレルギー対策委員会・アレルギー専門委員会の設置状況		
アレルギー疾患に関する要望	行政（都や区市町村）に対する要望		
	保護者・医療機関等に対する要望		

## 6 調査結果の留意点等

本報告書における調査結果を読む上での留意点等を以下に示す。

- ① 平成 21 年度の調査結果との比較にあたっては、今回の調査対象施設のうち、認可保育所、認証保育所、認定こども園、幼稚園に絞った集計データを、「前回調査対象施設」として再掲し、比較を行った。  
なお、前回調査施設は「\*」で示した。
- ② この報告書に掲載の数値は四捨五入してあるため、総数との内訳の合計が一致しない場合がある。



## II 調査結果



# 1 基本属性について

## (1) 施設の規模及び常勤職員一人当たりの園児・児童数

調査票を送付した7,405施設のうち、5,348施設から回答を得た。回答施設のうち常勤職員数の最大は76人（認可保育所）、非常勤職員数は最大で76人（認可保育所）、在籍する園児・児童数の最大は1,937人（ベビーホテル）であった。なお、登録した園児・児童を必要時のみ預かるシステムの施設もあった。

回答施設における在籍園児・児童数の合計は、403,614人であった。ただし、二重保育や一時預かり、病児・病後児保育事業等の登録制により、必要な時のみ預かる施設があるため、重複して集計している数を含む。

常勤職員一人当たり園児・児童数は、平均12.2人で、認可保育所・認証保育所、幼稚園、認定こども園の平均は7.1人、それ以外の施設の平均は19.0人であった。図1は、常勤職員一人当たりの園児・児童数からみた施設の規模である。

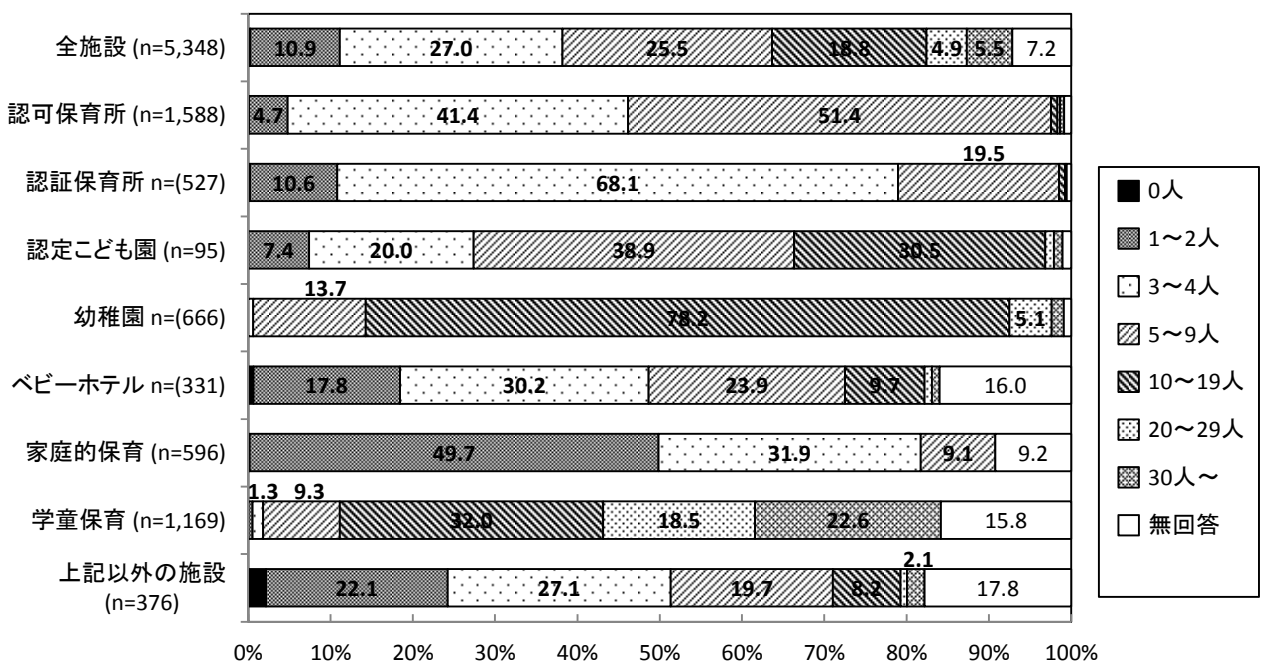


図1. 常勤職員一人当たりの園児・児童数からみた施設の規模

## 2 アレルギー疾患のある園児・児童の状況

### (1) アレルギー疾患のある園児・児童の把握 《問2-1(1)》

アレルギー疾患のある園児・児童を把握している施設の割合は、食物アレルギー93.0%、ぜん息80.8%、アトピー性皮膚炎77.4%、アナフィラキシー75.1%、アレルギー性鼻炎64.0%、アレルギー性結膜炎59.2%であった。

前回調査施設における把握状況を平成21年度調査結果と比べると、把握率が増加していたのは、食物アレルギー(99.5%)、アナフィラキシー(91.9%)、アレルギー性鼻炎(72.2%)、アレルギー性結膜炎(70.6%)で、アトピー性皮膚炎(90.5%)は減少していた(図2)。

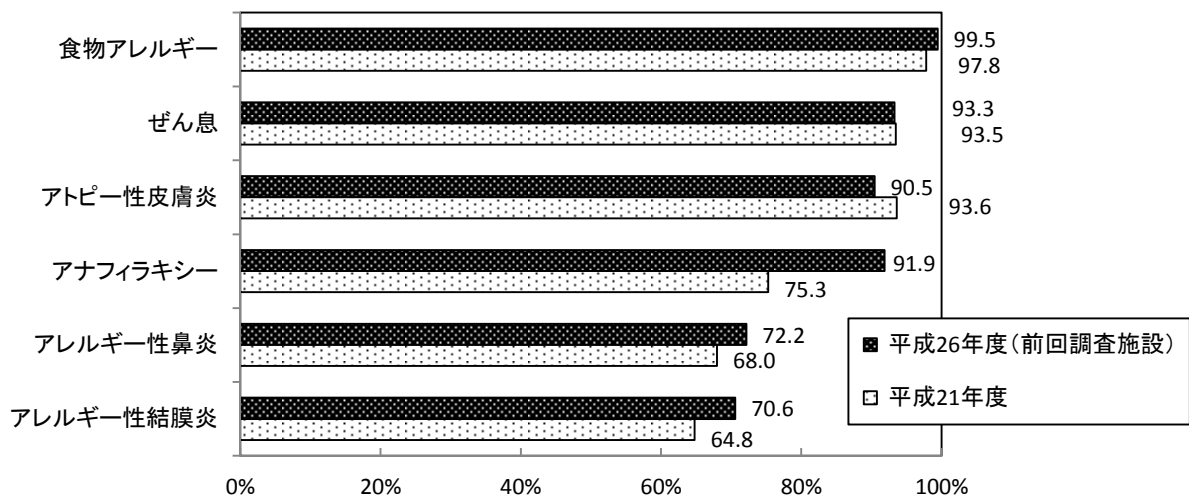


図2. アレルギー疾患のある園児・児童の把握状況(有効回答のみ)

### (2) アレルギー疾患のり患状況 《問2-1(2)》

保育施設等に通う子供のアレルギー疾患のり患状況は、食物アレルギー6.3%、ぜん息3.6%、アトピー性皮膚炎2.9%、アレルギー性鼻炎2.3%、アレルギー性結膜炎0.9%、アナフィラキシー0.6%であった。平成21年度調査結果と比べると、食物アレルギー、アレルギー性鼻炎、アレルギー性結膜炎、アナフィラキシーが増加し、ぜん息、アトピー性皮膚炎が減少していた(図3)。

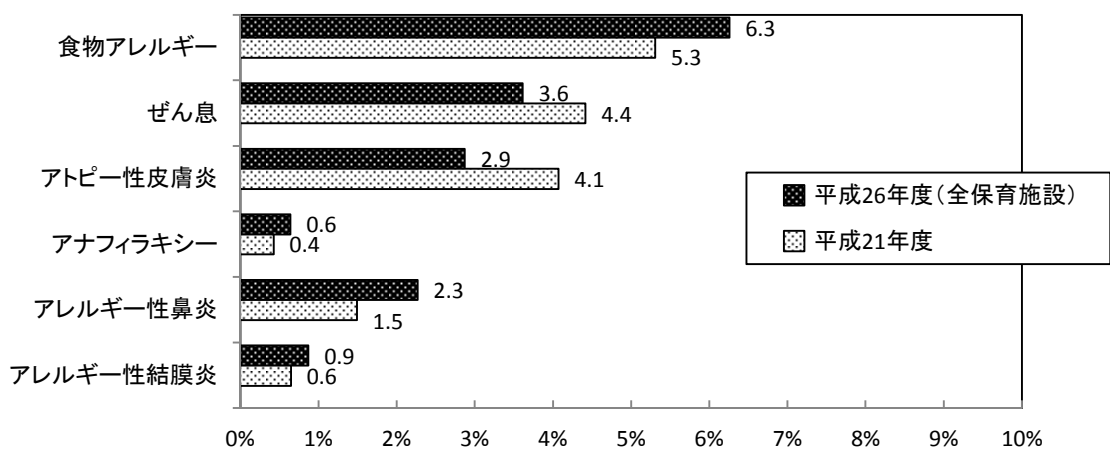


図3. アレルギー疾患のり患状況



各アレルギー疾患のある園児・児童が在籍している施設は、全施設のうち食物アレルギー80.5%、ぜん息60.2%であった（図4）。

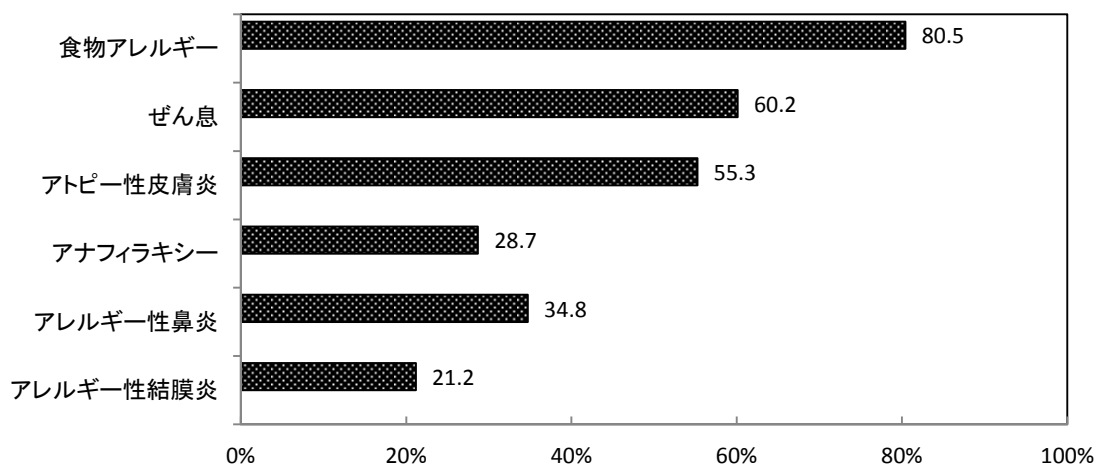


図4. アレルギー疾患のある園児・児童が在籍する施設割合（5,348施設）

### （3）食物アレルギーのある園児・児童の受け入れ体制 《問2-2》

食物アレルギーのある園児・児童を「預かる」施設は、全体の89.8%（4,805施設）、「預からない」施設は2.8%（148施設）、その他5.4%（287施設）、無回答は2.0%（108施設）であった。認可保育所、認証保育所、認定こども園、学童保育では95%以上が「預かる」と回答したが、家庭的保育は50.5%で、最も低かった（図5）。

「預かる」と回答した施設でも、「対応可能な場合のみ」、「重症者やアナフィラキシーの既往がある児は預からない」と回答した施設があった。一方、「その他」でも、状況に応じて預かると回答した施設もあり、「軽度であれば預かる」「保護者と相談の上」「弁当持参であれば」「一定数以下の児までなら対応する」などが141件であった。

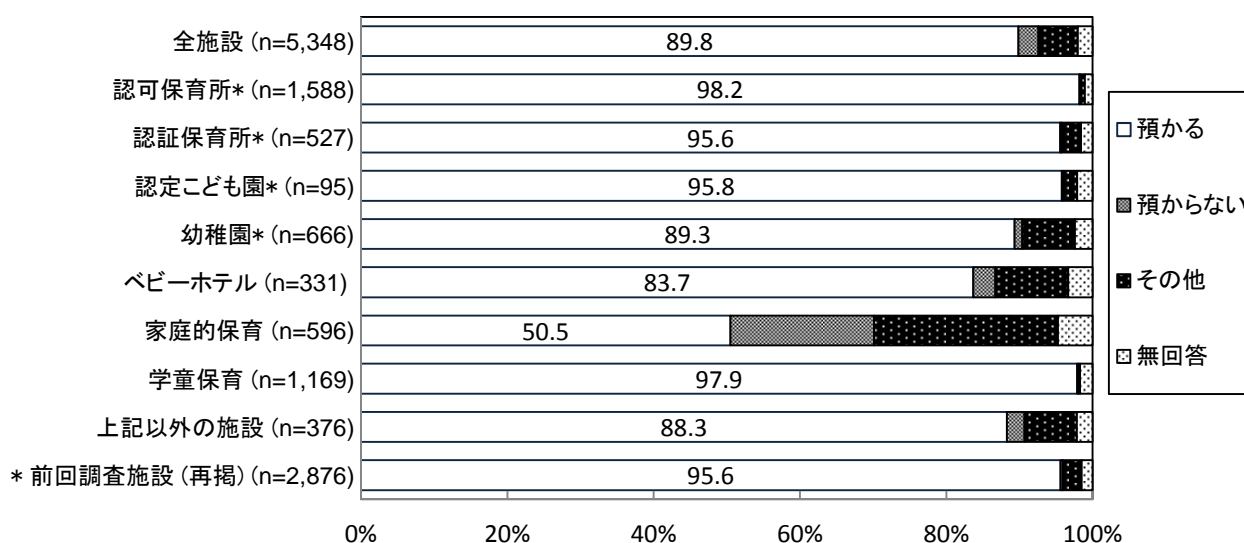


図5. 食物アレルギーのある園児・児童の受け入れ体制

(4) 生活管理指導表の使用状況 <<問3-1>>

保育施設等での生活管理指導表の使用状況は、「区市町村で独自に作成した指導表」が最も高く 24.3% (1,299 施設)、「所・園で独自に作成した指導表」22.1% (1,180 施設)、厚生労働省の「保育所におけるアレルギー疾患生活管理指導表」16.7% (894 施設)、文部科学省（日本学校保健会作成）の「学校生活管理指導表」10.3% (549 施設)、その他の様式の指導表は 17.3% (927 施設) で使用されていた。生活管理指導表を使用していない施設は 19.4% (1,039 施設)、無回答は 12.3% (656 施設) であった。

「保育所におけるアレルギー疾患生活管理指導表」と「学校生活管理指導表」の使用は保育施設全体の 27.0% であった (表1)。

個々のアレルギー疾患を把握していると回答した施設での指導表の使用状況は、全保育施設よりやや高かった。

生活管理指導表やその他の様式が提出されている施設の中で、提出が 1 人の施設は 20.2%、2 人の施設は 13.6% であった。指導表提出が 20 人以上の施設も 3.7% あった。

表1. 生活管理指導表の使用状況 (%)

	厚生労働省	文部科学省	区市町村作成	所・園作成	その他の様式	未使用	無回答	厚生労働省・文部科学省(再掲)
全施設 (n=5348)	16.7	10.3	24.3	22.1	17.3	19.4	12.3	27.0
認可保育所* (n=1,588)	27.9	2.7	39.0	27.3	13.0	6.2	8.3	30.6
認証保育所* (n=527)	26.8	2.8	15.7	44.8	26.4	6.3	9.9	29.6
認定こども園* (n=95)	20.0	11.6	15.8	29.5	16.8	18.9	6.3	31.6
幼稚園* (n=666)	4.7	20.6	7.7	16.5	21.0	32.0	12.3	25.2
ベビーホテル (n=331)	20.5	1.8	12.1	22.4	22.1	23.6	13.9	22.4
家庭的保育 (n=596)	10.9	3.0	15.4	4.0	12.8	37.2	28.9	13.9
学童保育 (n=1,169)	3.7	25.9	31.3	15.2	17.4	21.8	11.5	29.6
上記以外の施設 (n=376)	22.3	4.3	8.5	25.8	19.7	32.4	8.5	26.6
*前回調査施設(再掲) (n=2,876)	22.0	7.2	26.7	28.1	17.4	12.6	9.5	29.2

(5) エピペン®を処方されている園児・児童の受け入れ方針 <<問3-4>>

エピペン®を処方されている園児・児童を受け入れる施設 60.3% (3,227 施設)、受け入れを断る施設 10.9% (585 施設)、決まっていない施設 23.6% (1,261 施設)、無回答 5.1% (275 施設) であった (図6)。

受け入れる割合が最も高い施設は、学童保育 90.1%、次いで認可保育所 80.1% で、断る割合が高いのは、家庭的保育 46.6%、ベビーホテル 25.4% であった。この2種の施設は、「断る」と「決まっていない」を合わせた割合が、それぞれ 71.3%、68.0% であった。

また、家庭的保育は無回答が多かった (23.2%)。

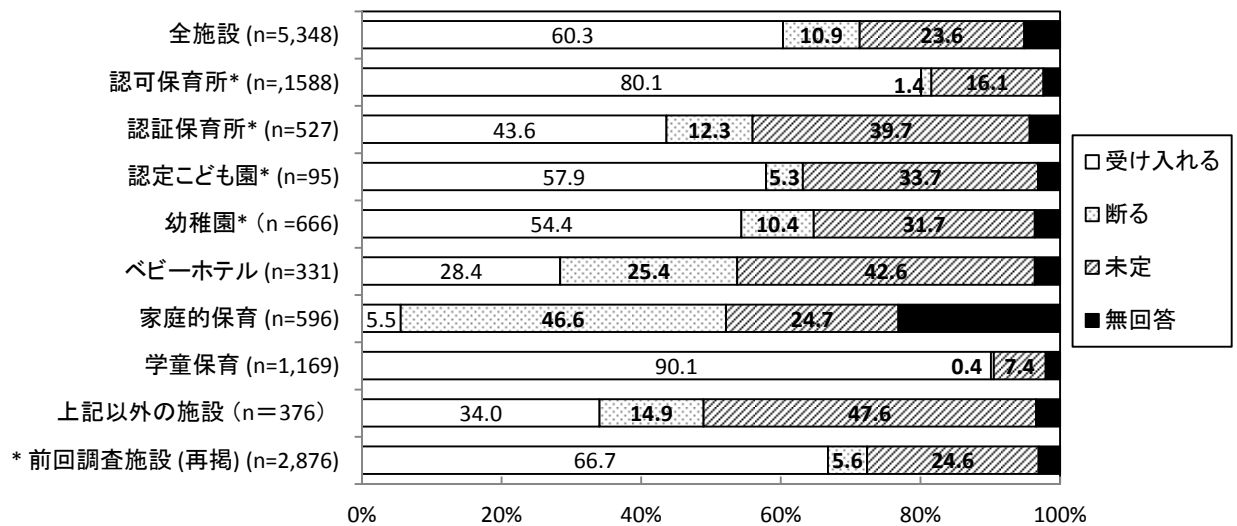


図6. エピペン®を処方されている園児・児童の受け入れ体制

(6) エピペン®の預かり体制と預かり状況 《問3-5》

「エピペン®を処方されている園児・児童を受け入れる」と回答した3,227施設のうち、エピペン®を施設で「預かる」と回答したのは68.7% (2,218施設)、「預からない」11.7% (377施設)、「決まっていない」2.4% (79施設)、無回答17.1% (553施設)であった (図7)。

「エピペン®を処方されている園児・児童は受け入れる」が、「エピペン®は預からない」と回答した377施設中90.7% (342施設)は学童保育であった。

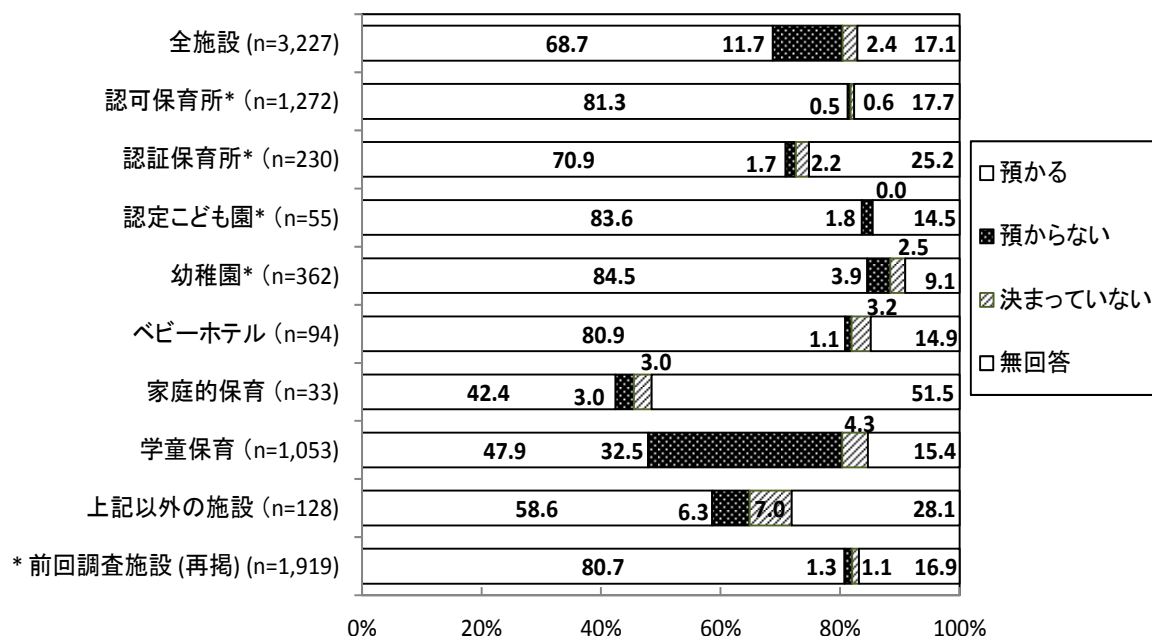


図7. エピペン®の預かり体制 (処方されている園児・児童の受け入れ施設 n=3,227)

「エピペン®を預かる」と回答した2,218施設のうち583施設(26.3%)で、741人のエピペン®を預かっていた。しかし、「エピペン®を処方されている園児・児童を受け入れない」と回答した施設や、「受け入れるが、エピペン®を預からない」と回答した施設でも、実際にはエピペン®を預かっている施設があり、全5,348施設中595施設(11.1%)で、759人のエピペン®を預かっていた(表2)。

表2. 施設でエピペン®を預かっている園児・児童数別の施設数

	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	11人	計
全施設	474	97	18	2	1	1	1	1	595
認可保育所	221	25	6						252
認証保育所	15	2							17
認定こども園	20	8							28
幼稚園	132	42	9	2	1	1	1	1	189
ベビーホテル	13	2							15
家庭的保育	1	1							2
学童保育	69	16	3						88
上記以外の施設	3	1							4

(7) 食物依存性運動誘発アナフィラキシー <問3-6>

調査票では、食物依存性運動誘発アナフィラキシーの定義を「原因食材を摂取して4時間以内に一定の運動をすることにより出る症状」と示して回答を求めたが、質問の意図が正しく理解されていない可能性があり、今回の解析からは除外した。

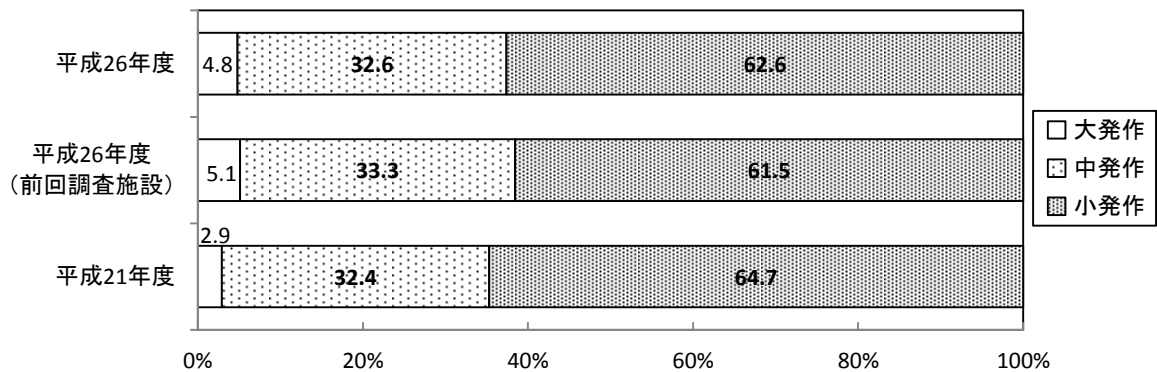
### 3 ぜん息発作時の対応状況

#### (1) 過去1年間にぜん息発作を発症した園児・児童の有無 <問4-1~4-3>

過去1年間にぜん息発作を発症した園児・児童がいたのは486施設で、全体の9.1%であった。前回調査施設における割合も9.1%で、平成21年度調査結果の23.4%より減少した。

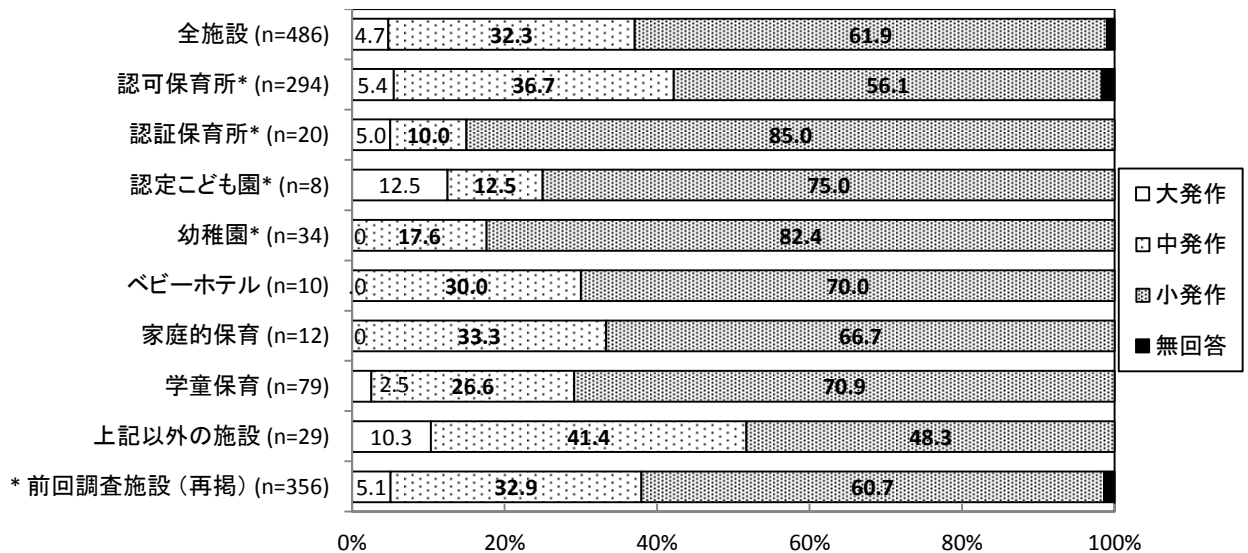
過去1年間で最も重症だったぜん息発作の重症度を3段階に分けると、ぜん息発作を起こした園児・児童のいた施設のうち、小発作62.6% (301施設)、中発作32.6% (157施設)、大発作4.8% (23施設) で、平成21年度調査結果と変わらなかった (図8)。

認可保育所では、中発作・大発作の割合が、施設全体での割合よりも比較的高かった (図9)。



注) 上記の発作の程度は、施設職員が判断したものであり、医師・看護師等の医療従事者が判断したものとは限らない。

図8. 過去1年間で最も重症だったぜん息発作の重症度割合 (有効回答のみ)



注) 上記の発作の程度は、施設職員が判断したものであり、医師・看護師等の医療従事者が判断したものとは限らない。

図9. 過去1年間で最も重症だったぜん息発作の重症度割合

本調査におけるぜん息発作の程度分類

- 1 小発作 呼吸の音は軽くゼーゼーヒューヒューしていた  
呼吸は苦しそうであったが、横になることはできた  
食事はほぼ普通に食べられた
- 2 中発作 呼吸の音が明らかにゼーゼーヒューヒューしていた  
呼吸が苦しそうで、座った状態を好んだ（横になることを嫌がる）  
食事はやや食べにくそうで、お昼寝時は時々目を覚ましていた
- 3 大発作 呼吸の音が著明にゼーゼーヒューヒューしていた  
呼吸はとても苦しそうで、横になれず、前かがみになりがちであった  
食事は食べられず、お昼寝もできなかった

出典：小児アレルギー疾患総合ガイドライン2011

(2) ぜん息発作への対応 《問4-3》

過去1年間で最も重症だったぜん息発作の重症度別に対応をみると、大発作への対応内容が小・中発作と比較して高かったのは、「職員の車で医療機関を受診」、「かかりつけ医や嘱託医の指示」、「救急車を要請」や「持参薬の吸入・内服」であった（図10）。

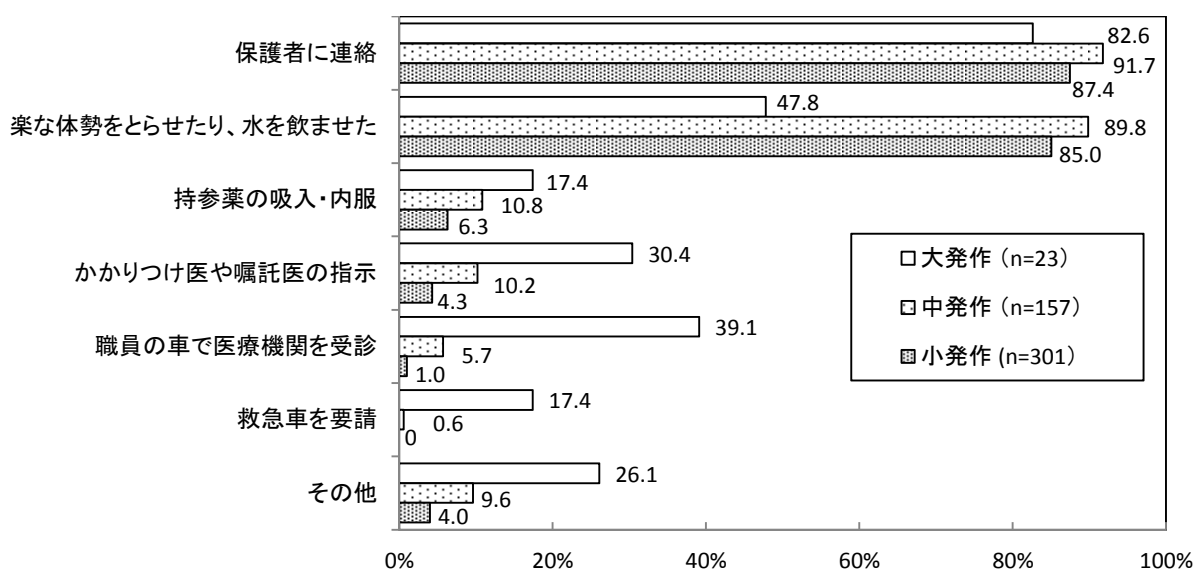


図10. 重症度別ぜん息発作の対応

(3) ぜん息発作対応の評価 《問4-4 ~ 4-6》

過去1年間で最も重症だったぜん息発作への対応に関する評価は、「できた」又は「どちらかというときできた」とした施設が97.3%（473施設）であり、「あまりできなかった」又は「できなかった」と評価した施設は1.2%（6施設）、無回答は1.4%（7施設）であった（図11）。

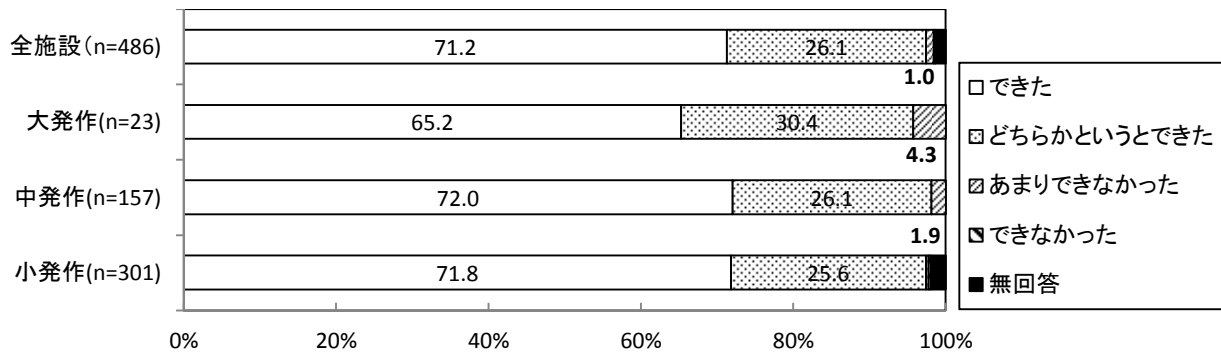


図11. ぜん息発作の重症度別の対応への評価

図12に、「できた」又は「どちらかという 못했다」と評価した施設が行った対応を示した。一方、「あまりできなかった」又は「できなかった」と評価した施設での主なできなかった理由は、「マニュアルやガイドライン等が揃っていないかった」(2件)と「緊急時に備えた訓練をしていなかった」(2件)であった。

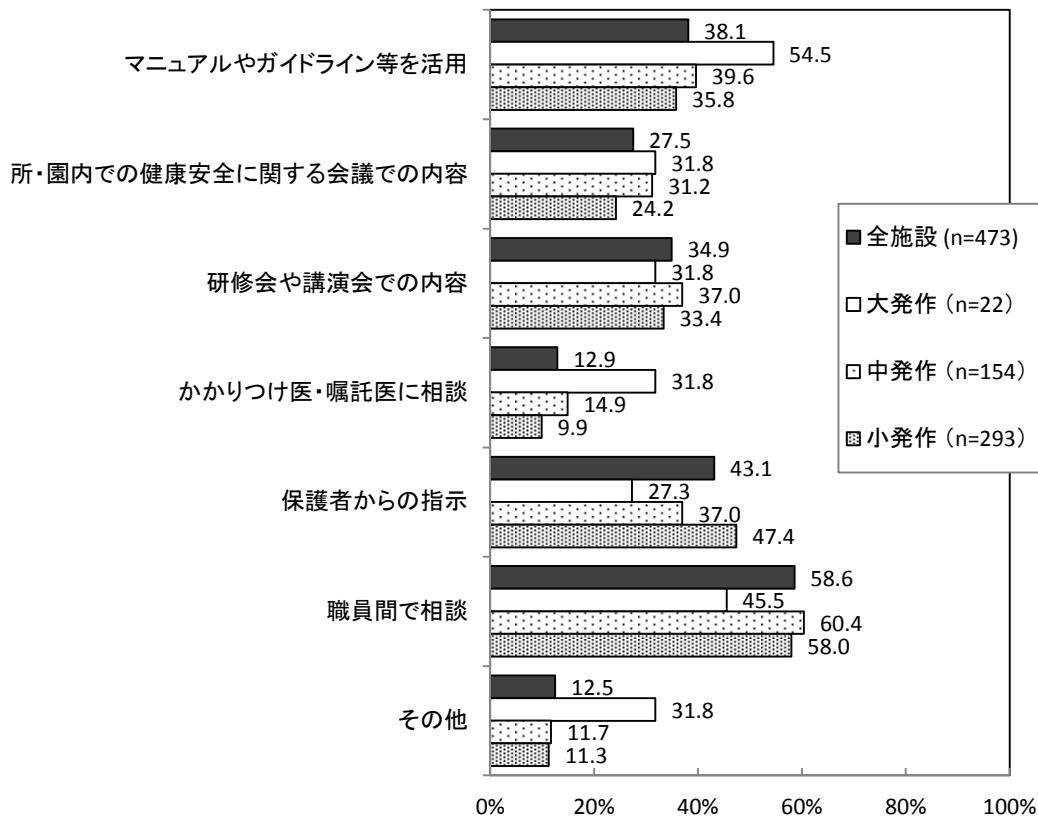


図12. 発作対応で「できた」又は「どちらかという 못했다」と評価した施設で役立つもの

#### (4) 職場内での体制の検討 《問4-7》

ぜん息発作の対応が「できた」又は「どちらかという 못했다」と評価した施設で検討した体制は、「研修会や講演会に参加する努力」(54.5%)、「職員間で相談できる環境の整備」(53.5%)であった。一方、「あまりできなかった」又は「できなかった」と評価した6施設では、全ての施設で、「研修会や講演会に参加する努力」を検討していた。

#### 4 食物アレルギーの発生・対応状況

##### (1) 提供している食べ物 <<問5-1>>

施設で提供している食べ物に関しては、「給食提供」62.4% (3,336 施設)、「補食提供」38.1% (2,040 施設)、「おやつ提供」82.6% (4,418 施設)、「提供していない」12.5% (671 施設)、無回答が0.8% (43 施設)であった。

「給食・補食・おやつのいずれかを提供」している施設（以下、食物提供施設）は86.6% (4,634 施設)、「給食は出さずに補食やおやつを提供」が24.3% (1,298 施設)であった（図13）。

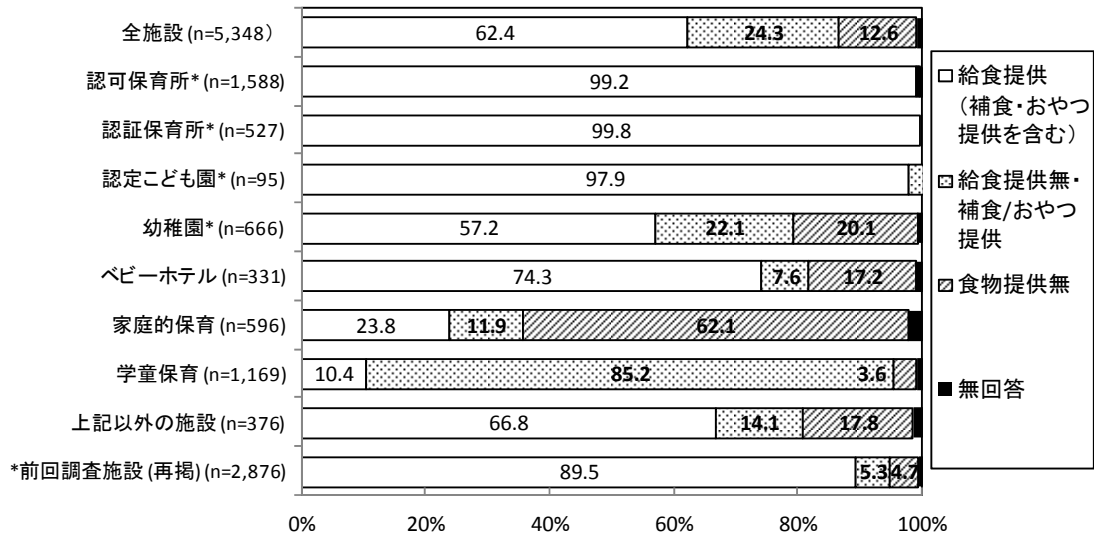


図13. 食物提供状況

##### (2) アレルギー対応食に対する方針 <<問5-3>>

食物提供施設におけるアレルギー対応食に関する方針は、「給食の原材料を記入した献立表を事前に配布」58.0%、「代替食提供」56.4%、「完全除去食提供」54.6%、「段階的除去食提供」29.1%、「弁当持参」16.4%であった（図14）。

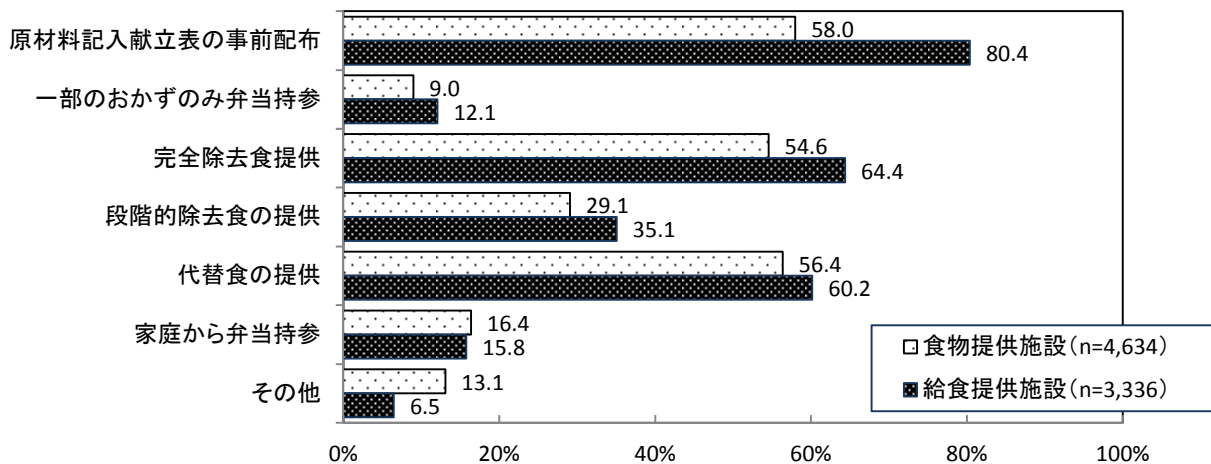


図14. アレルギー対応食に関する方針



補食提供 2,040 施設での「補食原材料を記入した献立表の事前配布」は 41.0%、おやつ提供 4,418 施設での「おやつの原材料を記入した献立表の事前配布」は 50.1%であった。

### (3) 食物アレルギーの症状発生の有無とその原因 <<問 5-4~問 5-6>>

過去 1 年間に施設内で食物アレルギー症状のあった園児・児童がいた施設は、施設全体の 19.0% (1,014 施設) で、前回調査施設における割合は 28.7% であった (図 15)。

食物アレルギー症状の発生のあった園児・児童がいた 1,014 施設における食物提供の状況は、給食提供 88.2% (894 施設)、給食以外の食物提供 8.2% (83 施設)、提供していない 3.4% (34 施設)、無回答は 0.3% (3 施設) であった。

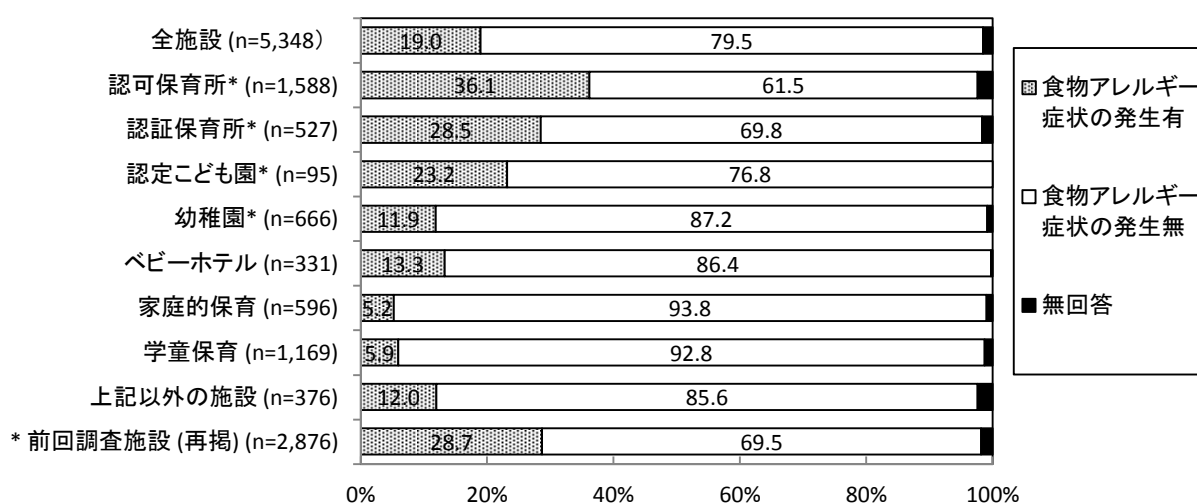


図15. 食物アレルギー症状出現状況

食物アレルギー症状のあった園児・児童がいた 1,014 施設のうち、64.9% (658 施設) では初発 (症状が出る前に原因食物と診断されておらず、初めて症状を経験した場合) を、34.1% (346 施設) では誤食による食物アレルギー症状が発生していた (図 16)。初発と誤食の両方を経験している施設は、6.0% (61 施設)、無回答は 7.0% (71 施設) であった。

認可保育所、認証保育所、ベビーホテル、家庭的保育では、初発の食物アレルギーが多く、学童保育、認定こども園では、誤食の方が多かった。幼稚園ではほぼ同数であった。

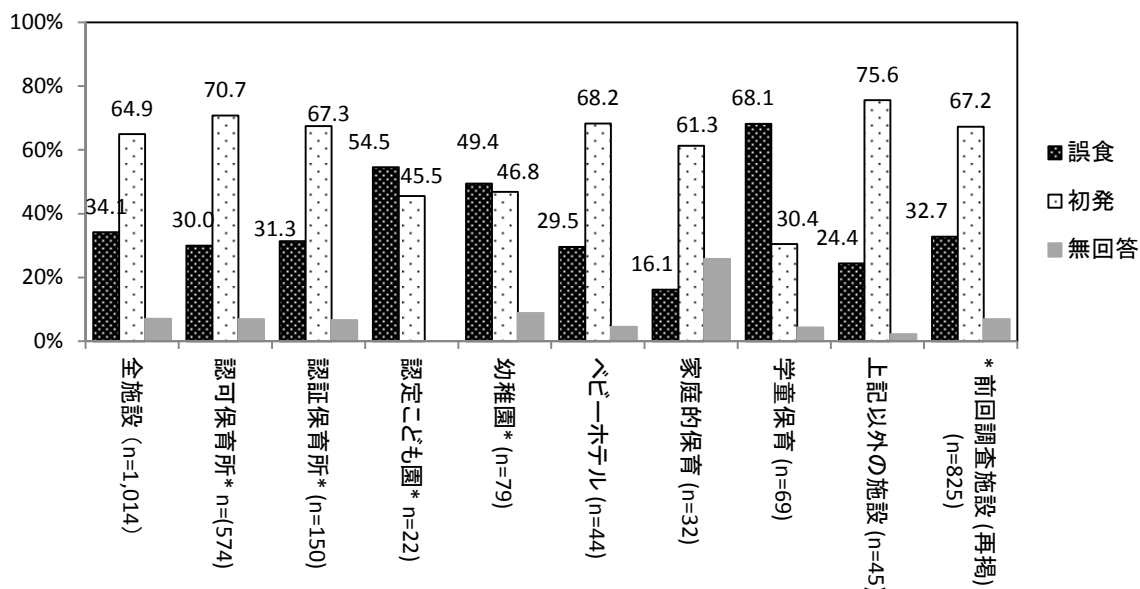


図16. 食物アレルギーの症状が出た原因

過去1年間に誤食があったと回答したのは346施設であった。そのうち、無回答を除く287施設で誤食によるアレルギー症状出現回数を回答しており、出現回数1回が72.1%(207施設)、最多は5回で1.4%(4施設)で発生していた。

誤食の原因を表3に示した。その他の理由としては、「他の児の食べこぼしや、吐いた物等に触れた」24件、「持参した弁当やおやつを食べて」18件等であった。

表3. 誤食の原因 (複数回答)

(誤食経験施設 n=346)	施設数	割合
間違えて配膳してしまった(誤配膳)	151	43.6
他の園児・児童に配膳されて食物を食べてしまった	54	15.6
保護者からの情報が足りなかった	48	13.9
調理の段階で原因食材が混入してしまった	48	13.9
園児・児童についての食物アレルギーに関する情報が職員間で共有されていない	41	11.8
行事の時に間違えて食べてしまった	25	7.2
その他	98	28.3
無回答	3	0.9

## 5 食物アレルギーによるアナフィラキシーの対応状況

### (1) アナフィラキシーを起こした園児・児童の有無と重症度 <<問6-1、問6-2>>

過去1年間に施設内で園児・児童が食物を原因とするアナフィラキシーを経験した施設は211施設で、全保育施設の3.9%（有効回答5,301施設の4.0%）であった。これは、過去1年間に施設内で食物アレルギー症状のあった園児・児童の在籍する1,014施設の20.8%に相当した。前回調査対象施設2,876施設でアナフィラキシーを経験した施設は、171施設5.9%（有効回答2,849施設の6.0%）であった。

経験した施設において、過去1年間で経験したアナフィラキシーの中で最も重症だった状態を重症度別にみると、軽症54.0%、中等症36.5%、重症6.6%、無回答2.8%であった。

平成21年度調査結果では、「過去3年間に誤食によるアナフィラキシー」を経験した施設が、認可保育所、認証保育所、幼稚園で2,089施設中243施設（11.6%）であった。重症度別では、軽症57.2%、中等症30.5%、重症が11.1%、無回答1.2%であった。

アナフィラキシーとは、「食物、薬物、ハチ毒などが原因で誘発される全身性の急性アレルギー反応をいう。じんましんなどの皮膚症状、腹痛や嘔吐などの消化器症状、呼吸困難などの呼吸器症状、目や鼻などの粘膜症状が2カ所以上の臓器に同時に、かつ急激に現れる状態」と定義して、回答を促した。

#### 本調査におけるアナフィラキシーの程度分類

- |       |  |
|-------|--|
| 1 軽症  | 軽度のかゆみ、数個のじんま疹、部分的な赤み、目のかゆみ、充血、口の中の違和感、唇の腫れ、くしゃみ、鼻水、鼻づまり、軽いお腹の痛み（がまんできる）、吐き気   |
| 2 中等症 | 強いかゆみ、全身に広がるじんま疹、全身が真っ赤、顔全体の腫れ、まぶたの腫れ、中等度のお腹の痛み、1~2回のおう吐、1~2回の下痢、数回の軽い咳  |
| 3 重症  | 持続する強い（がまんできない）お腹の痛み、繰り返して吐き続ける、のどや胸が締め付けられる、声がかすれる、犬がほえるような咳、息がしにくい、持続する強い咳込み、ゼーゼーする呼吸、ぐったり、意識がもうろう、尿や便をもらす、脈が触れにくいまたは不規則、唇や爪が青白い |

(2) アナフィラキシーへの対応 《問6-3》

最も重症だったアナフィラキシーへの対応では、「保護者へ連絡」91.0% (192施設)、安静にさせ、経過観察」68.2% (144施設)、「対応できる職員を集めた」40.3% (85施設)、「職員が医療機関へ受診させた」32.2% (68施設)、「かかりつけ医や嘱託医に連絡して指示を受けた」25.6% (54施設)、「持参薬を内服」23.7% (50施設)、「救急車の要請」17.5% (37施設)、「エピペン®の使用」が5.2% (11施設)であった。

重症では、軽症・中等症と比べ、「対応できる職員を集めた」「救急車要請」「エピペン®使用」の割合が高かった(図17)。

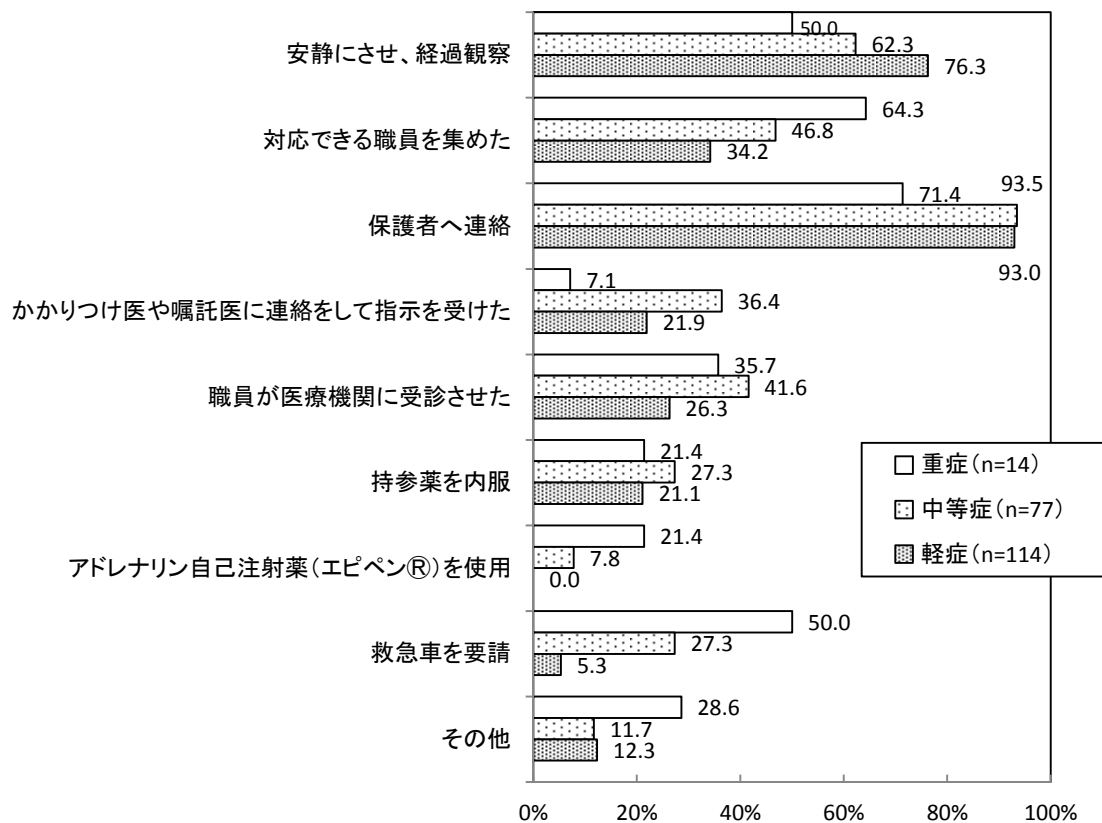


図17. 重症度別アナフィラキシー発症への対応

(3) アナフィラキシー対応の評価 《問6-4 ~ 問6-6》

アナフィラキシーへの対応に関する評価は、「できた」又は「どちらかというときできた」と評価したのは90.5% (191施設)、「あまりできなかった」又は「できなかった」と評価したのは8.5% (18施設)、無回答0.9% (2施設)であった(図18)。

アナフィラキシーの重症を経験した14施設中13施設が「できた」又は「どちらかというときできた」と回答した。

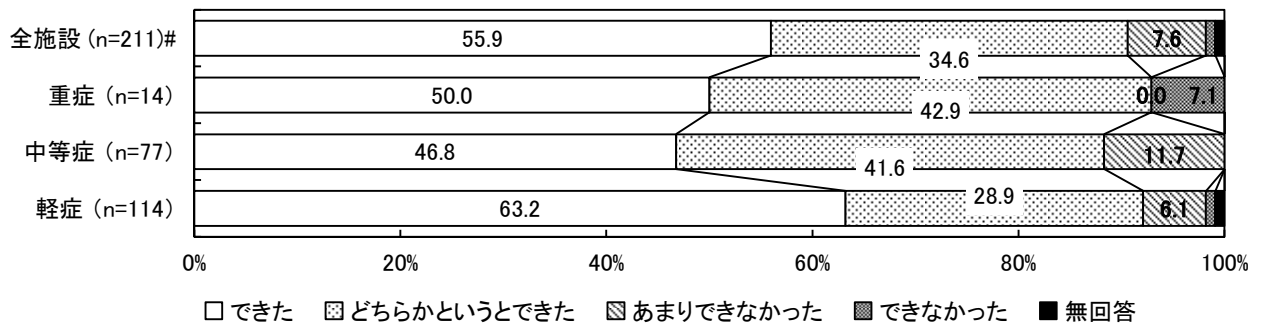


図18. アナフィラキシーの重症度別の対応への評価

# 症状無回答6件を含む

アナフィラキシーの対応に関して「できた」又は「どちらかというときできた」と評価した 191 施設で、役に立ったものは、「マニュアルやガイドライン等を活用」68.1%、「職員間で相談」67.5%、「研修や講演会での内容」56.0%、「所・園内での健康安全に関する会議での内容」51.8%、「緊急時を想定したシミュレーション訓練の実施」25.1%であった。

「緊急時を想定したシミュレーション訓練の実施」を挙げた施設の割合は、重症になるほど多かった（図19）。

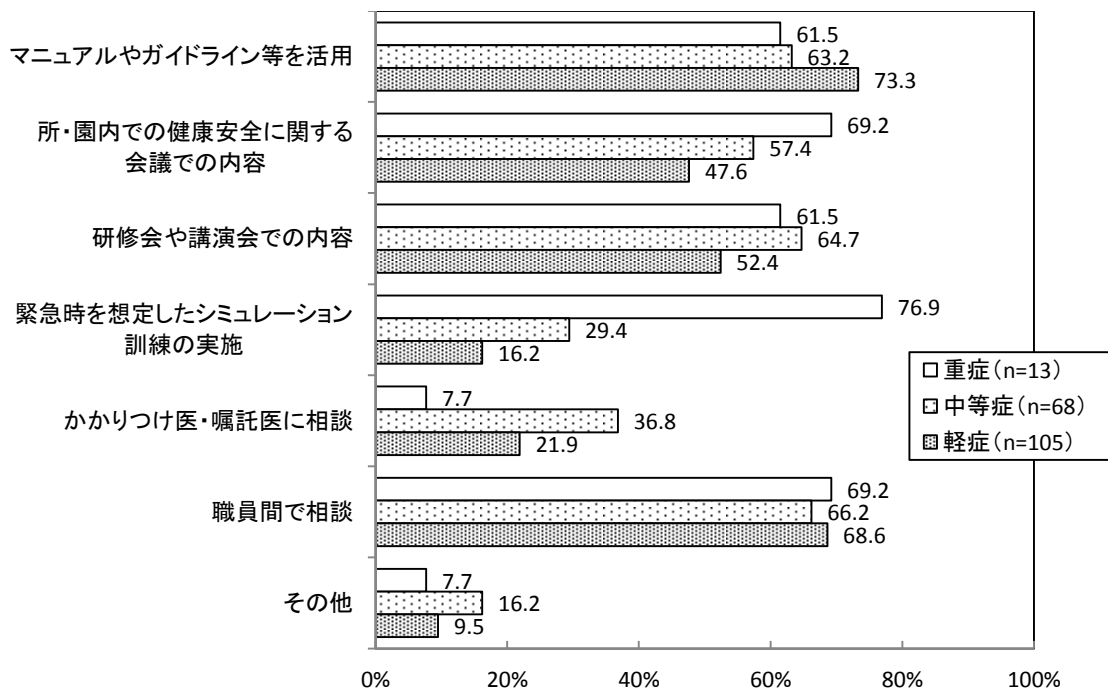


図19. アナフィラキシーの対応で「できた」又は「どちらかというときできた」と評価した施設で役立つもの

アナフィラキシーへの対応に関して「あまりできなかった」又は「できなかった」と評価した 18 施設では、その理由として、「緊急時を想定したシミュレーション訓練を実施していなかった」38.9%、「マニュアルやガイドライン等の資料が揃っていなかった」22.2%、「所・園内でのアレルギー対策に関する話し合いの機会がなかった」11.1%、「研修や講演会に参加する機会がなかった」11.1% が挙げられた。他に、施設と保護者との連携・情報不足の指摘があった。

(4) エピペン®の使用状況 《問6-7、問6-8》

これまでに、エピペン®を施設内で使用したことが「ある」のは0.4% (23施設)、「ない」が96.0% (5,132施設)、「エピペン®を知らない」が0.8% (43施設)、無回答2.8% (150施設)であった。

エピペン®の使用経験のある23施設のうち、この1年間でアナフィラキシーを経験した施設(問6-1、211か所)は13施設(軽症1施設、中等症6施設、重症4施設、無回答2施設)であった。エピペン®を打った人は、職員9施設、保護者5施設、看護師3施設、医師2施設、職員+医師1施設、本人が1施設(学童保育)、職員と本人が1施設(学童保育)、無回答が1施設であった。

(5) アナフィラキシー発生時の体制に関する検討状況 《問6-9》

平成24年の食物アレルギーのある児童の死亡事故後、アナフィラキシーの職場体制について施設で検討した項目に関して図20に示した。給食提供施設、食物アレルギー症状を経験した施設及びアナフィラキシーを経験した施設では、全保育施設に比べ、全ての項目で割合が高かった。

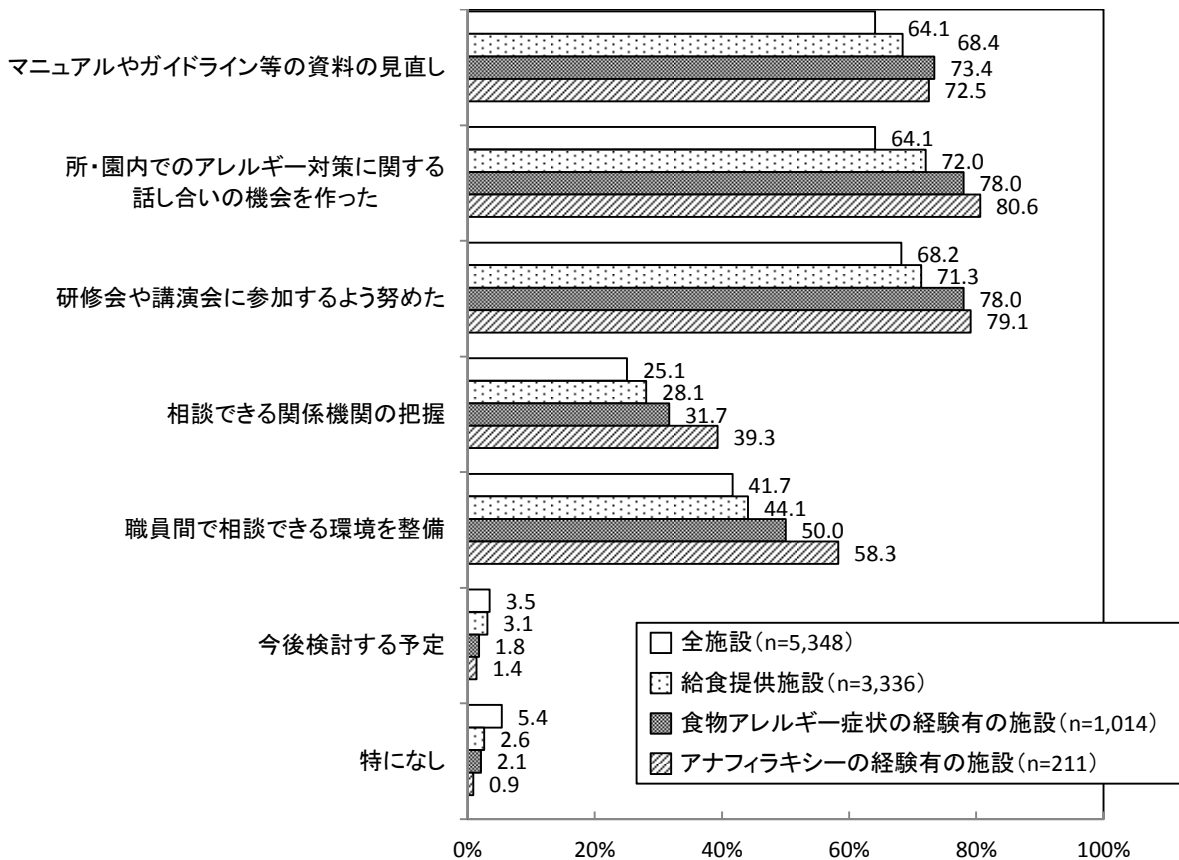


図20. アナフィラキシー発生時の体制に関する検討状況

(6) 日常生活や行事での配慮状況 《問6-10》

「給食やおやつなどの時間は、誤食防止のために職員が同じテーブルにつくなどの配慮をしている」が、79.3%で最も高く、「食物アレルギーのある園児・児童に対して、アナフィラキシー予防のために、誤食防止などの話をしている」が51.1%、「牛乳パックリサイクルや豆まきなどの活動を実施する際は、原因となる食材に触れたり吸い込まないように配慮している」が44.9%であった。

## 6 アレルギー疾患の対応に関する取組

### (1) ガイドラインやマニュアルの整備状況 《問7-1》

施設に備えているガイドラインやマニュアルに関して、最も備えていたのは、東京都作成「食物アレルギー緊急時対応マニュアル」68.9%、次いで「区市町村作成マニュアル」37.9%、厚生労働省作成「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」36.1%、都作成「保育所・幼稚園・学校における食物アレルギー対応ガイドライン」35.1%、「施設独自作成のマニュアル」33.0%であった。

食物アレルギー症状を経験した施設及びアナフィラキシーを経験した施設では、全保育施設と比べて、備えている割合は高かった（図21、表4）。

表4. アレルギー疾患の対応ガイドラインやマニュアルの整備状況（複数回答）  
（給食提供や食物アレルギーの経験有の施設別）

	施設独自作成のマニュアル	区市町村作成のマニュアル	東京都作成の「幼稚園・学校における食物アレルギー対応ガイドライン」	東京都作成の「緊急時対応マニュアル」	厚生労働省作成の「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」	日本学校保健会作成の「アレルギー対応に関する取り組みガイドライン」	特にガイドラインは備えていない	その他	無回答
全施設 (n=5,348)	33.0	37.9	35.1	68.9	36.1	6.7	6.7	4.5	4.1
給食提供施設 (n=3,336)	43.6	39.1	43.6	72.0	50.3	7.3	4.6	3.2	2.2
食物アレルギー症状の経験有の施設 (n=1,014)	48.6	40.4	49.2	77.0	56.2	8.6	3.1	3.8	1.8
アナフィラキシーの経験有の施設 (n=211)	50.2	43.6	52.1	80.6	59.2	9.0	3.8	3.8	1.9

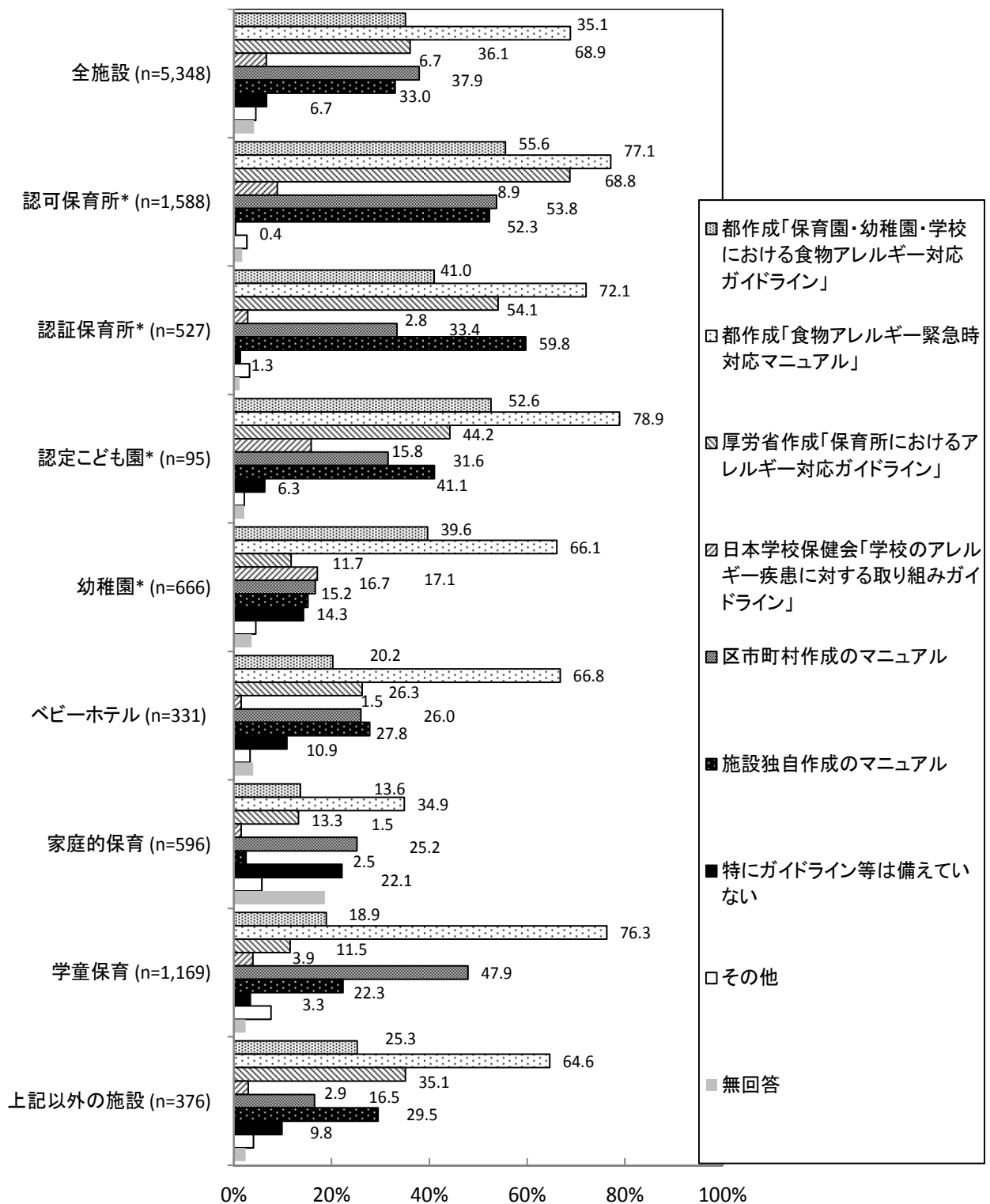


図21. アレルギー疾患の対応ガイドラインやマニュアルの整備状況



(2) アレルギー対策委員会や健康・安全に関する担当者の設置状況 《問7-2》

施設内に「アレルギー対策委員会やアレルギー専門委員会を設置している」施設は5.1%で、「特にアレルギー対策委員会は設置していないが別の会議を代用」35.5%、「健康・安全に関する担当者を決めている」36.6%で、「特に何も決めていない」施設は32.0%であった(図22)。

アレルギー対策委員会やアレルギー専門委員会を設置せず、「別の会議を代用」あるいは「担当者を決めている」施設は55.6%であった。

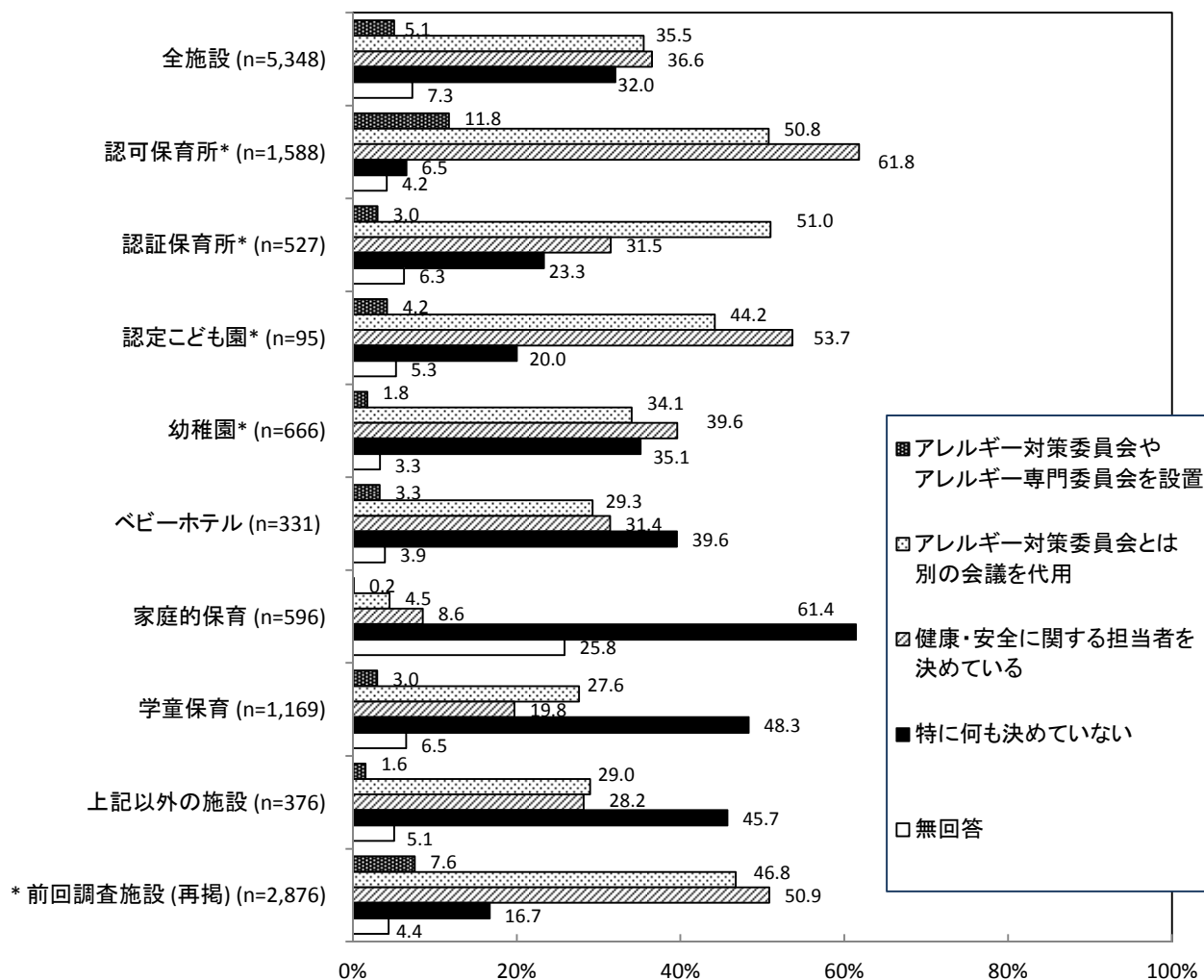


図22. アレルギー対策委員会の設置等状況

食物アレルギー症状を経験した施設やアナフィラキシーを経験した施設における設置状況は、施設全体に比べて高く、取組が進んでいた(表5)。

表5. 施設内のアレルギー対策委員会等の設置状況  
 (給食提供や食物アレルギーの経験有の施設別) (複数回答)

	専員ア 門会レ 委員や 員会ア をレ 設置ギ ー 対策 委	別 の 会 議 を 代 用	関 する 担 当 者 を 健 康 ・ 安 全 に 決 め て い る	特 に 何 も 決 め て い な い	無 回 答
全施設 (n=5,348)	5.1	35.5	36.6	32.0	7.3
給食提供施設 (n=3,336)	7.0	43.3	45.6	21.9	4.9
食物アレルギー症状の 経験有の施設 (n=1,014)	7.3	47.1	53.3	16.1	3.9
アナフィラキシーの 経験有の施設 (n=211)	8.1	49.8	58.8	15.2	3.3

## 7 「食物アレルギー緊急時対応マニュアル」について

### (1) 「食物アレルギー緊急時対応マニュアル」の認知度 《問8-1~3》

平成25年7月に東京都が作成し、都内の全保育施設、幼稚園に配布した「食物アレルギー緊急時対応マニュアル」を「知っている」と回答したのは85.4%（4,569施設）で、「知らない」は11.9%（637施設）、無回答2.7%（142施設）であった。

「知っている」4,569施設で、マニュアルをすぐ取り出せる場所に置いてあると回答したのは、92.3%（4,219施設）で、全保育施設等の78.9%であった。また、マニュアルの置き場所を「全ての職員が知っている」施設は2,229施設で、全保育施設等の41.7%に相当した（図23）。

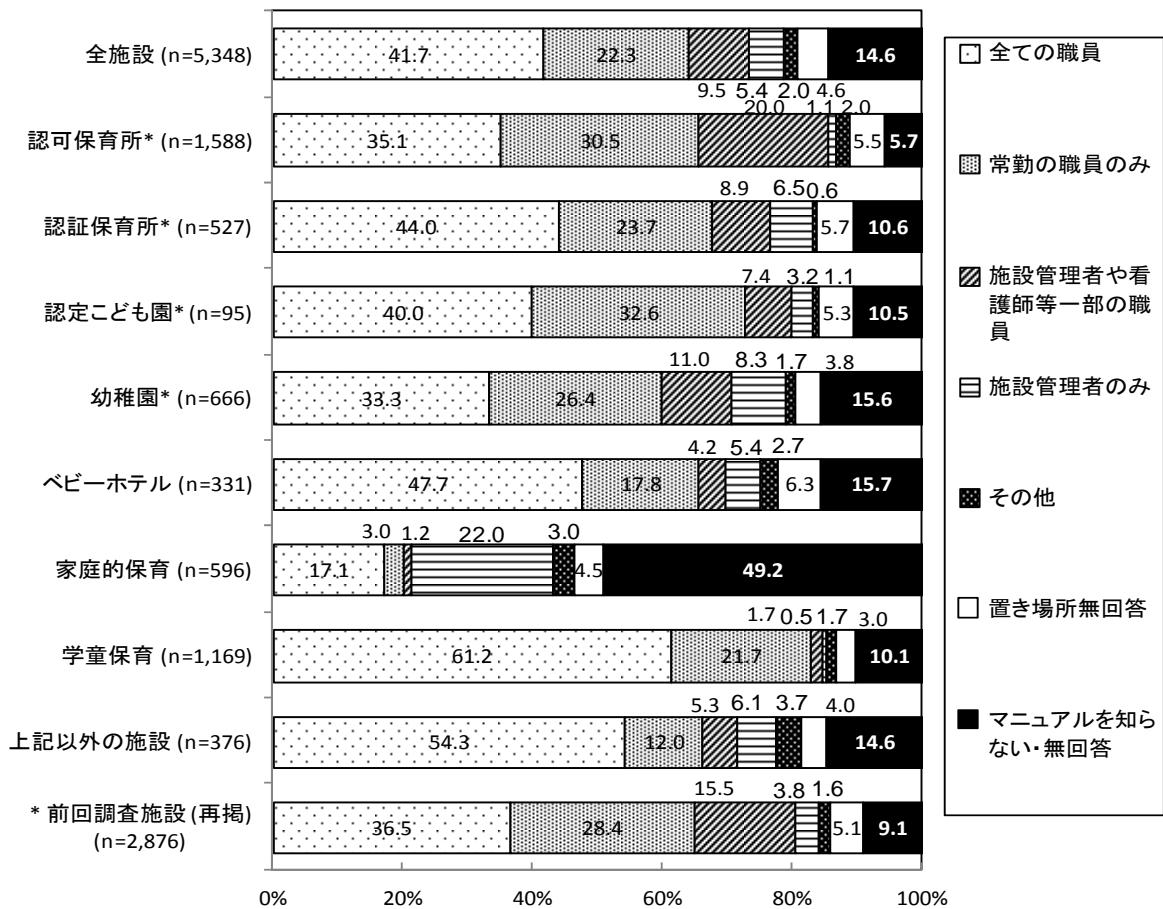


図23. 「食物アレルギー緊急時対応マニュアル」認知度と置き場所把握状況

### (2) 「食物アレルギー緊急時対応マニュアル」の利用状況 《問8-4》

「食物アレルギー緊急時対応マニュアル」の利用に関しては、「職員会議などで周知」68.7%、「施設内研修で利用」31.9%、「訓練に使用」10.9%、「緊急時に使用」1.7%で、「これまでに利用したことがない」19.2%、「持っていない」0.6%、無回答2.5%であった（図24）。

「訓練に使用」した施設は、食物アレルギー症状を経験した施設では13.6%、アナフィラキシーを経験した施設では20.7%で、全保育施設に占める割合より多かった（表6）。

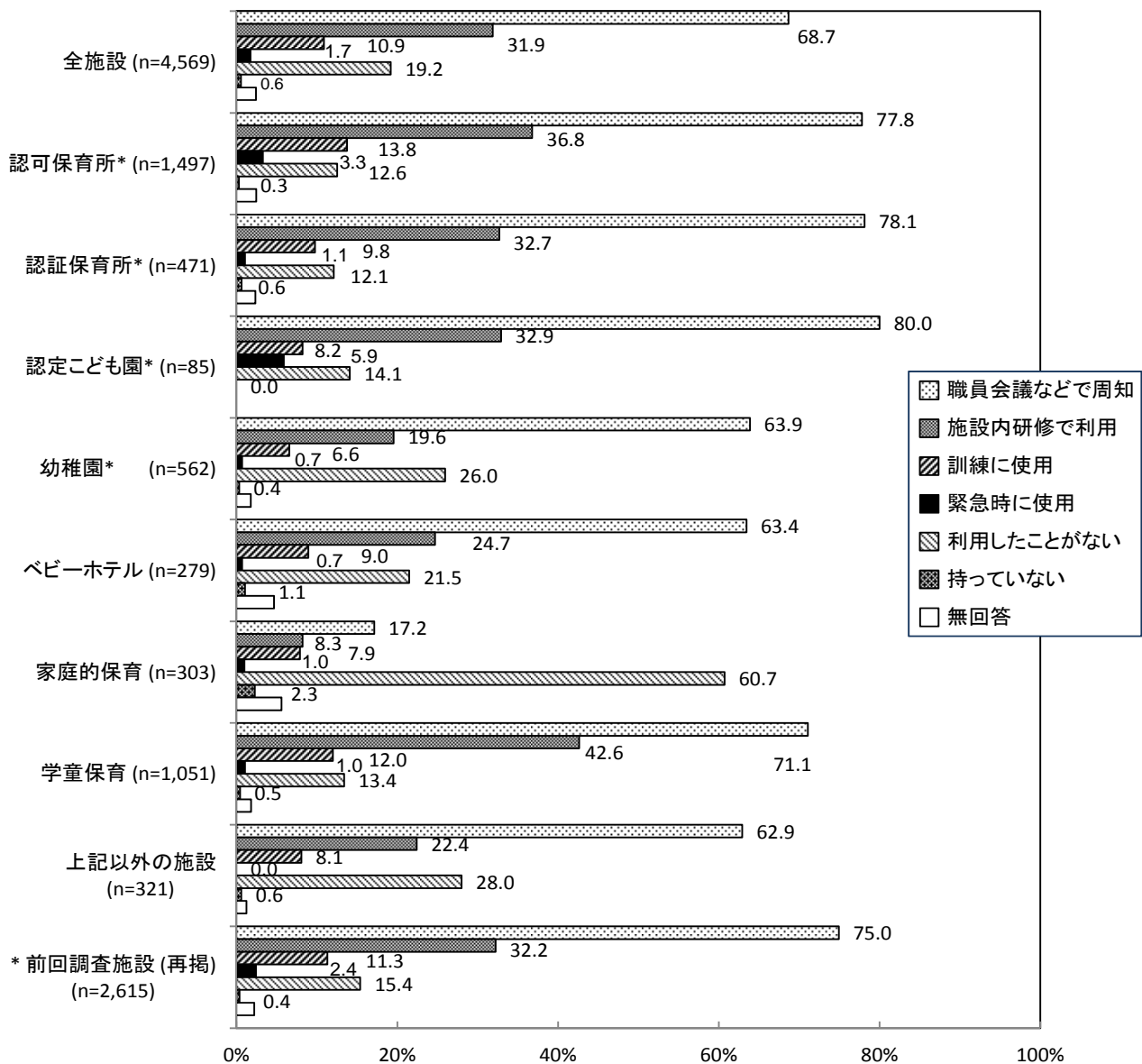


図24. 「食物アレルギー緊急時対応マニュアル」の利用状況

表6. 「食物アレルギー緊急時対応マニュアル」の利用状況  
(給食提供や食物アレルギーの経験有の施設別)

	職員会議などで周知した	施設内研修で利用した	訓練に使った	緊急時に使った	これまで利用したことがない	持っていない	無回答
全施設 (n=4,569)	68.7	31.9	10.9	1.7	19.2	0.6	2.5
給食提供施設 (n=3,001)	73.1	31.4	11.4	2.2	16.9	0.5	2.4
食物アレルギー症状の経験有の施設 (n=937)	73.0	34.2	13.6	5.7	15.6	0.3	2.7
アナフィラキシーの経験有の施設 (n=193)	72.0	39.9	20.7	14.5	14.0	-	3.1

## 8 アレルギー研修の参加状況 行政、保護者、医療機関への意見や要望

### (1) 外部研修・講習会への参加状況 《問9-1》

平成25年度、26年度にアレルギー等に関する外部の研修や講習会に参加した施設は全保育施設で70.6%、食物アレルギー症状を経験した施設85.4%、アナフィラキシーを経験した施設85.3%は、いずれも高かった(図25、表7)。

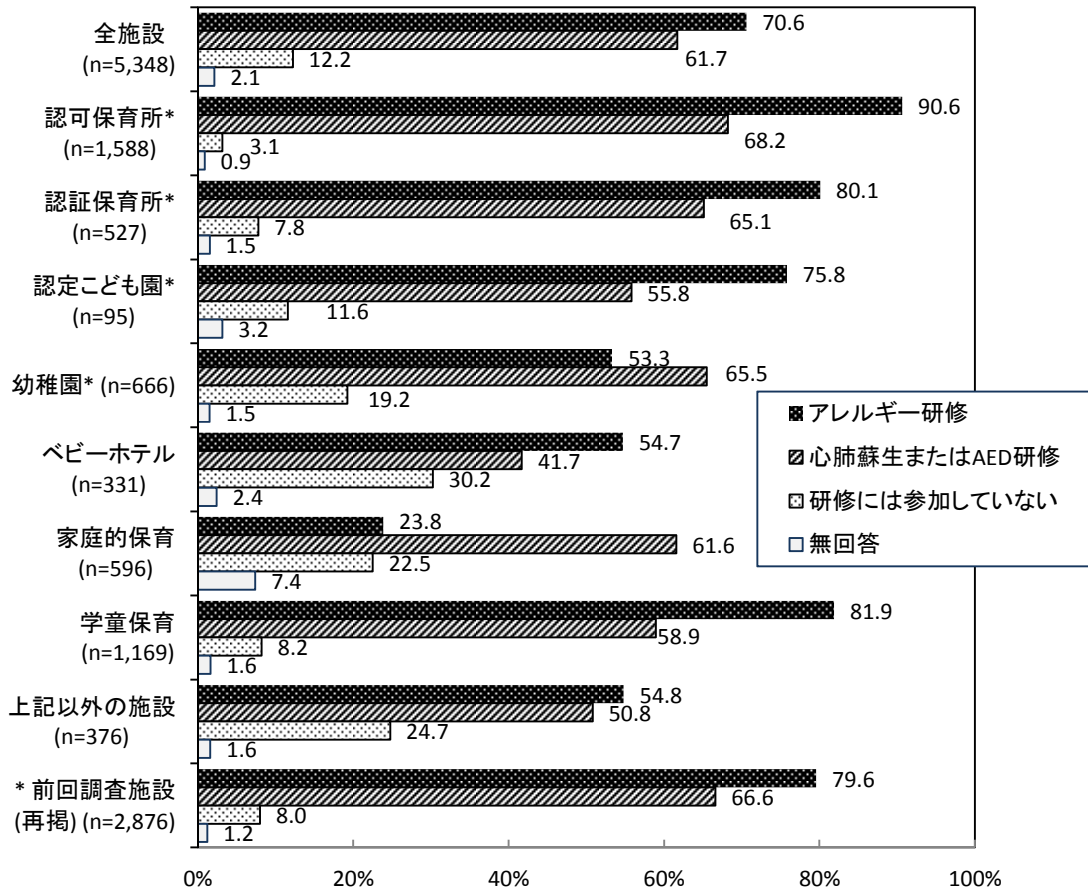


図25. アレルギーに関する外部研修・講演会への参加状況

表7. アレルギーに関する外部研修・講演会への参加状況  
(給食提供や食物アレルギーの経験有の施設別)

	アレルギー研修	心肺蘇生またはAED研修	研修には参加していない	無回答
全施設 (n=5348)	70.6	61.7	12.2	2.1
給食提供施設 (n=3,336)	76.1	63.5	10.6	1.3
食物アレルギー症状の経験有の施設 (n=1,014)	85.4	68.2	5.3	0.7
アナフィラキシーの経験有の施設 (n=211)	85.3	64.9	6.6	0.9

アレルギー研修不参加の主な理由は、日程が合わない 40.8%、該当する園児・児童がない 28.5%、人手不足 24.4%であった。その他として、「研修があることを知らなかった」、「保護者と連絡を密にとっている」、「自社内での研修がある、派遣元での研修を受講した」があった。

## (2) 行政、保護者、医療機関に対する意見や要望 《問 11、問 12》

958 施設より都や区市町村の主管課等行政に、376 施設から保護者に、358 施設から医療機関に対する意見や要望があった。

### ア 行政に対する要望

研修に関する要望 (255 件) が最も多く、次いで、人員・補助金の充実 (95 件)、アレルギーのある園児・児童の受け入れ環境作りに関する要望が多かった。以下に代表的なものを挙げる。

#### 1) 研修について

- ・アレルギー研修やエピペン®トレーナーを使用した実習を全員が受講できるよう、回数を増やしてほしい。できれば近場でも開催してほしい。
- ・平日は参加できないので、土日あるいは平日の夜間に開催してほしい。
- ・保護者が参加しやすい講演会の実施や、区市町村での開催希望。
- ・常時利用できる練習用エピペン®を配布してほしい。

#### 2) アレルギーに関するマニュアル

- ・ガイドラインやマニュアルに関する情報が届かない。

#### 3) 情報共有

- ・他の保育施設と、事例や体制などの情報を共有したい。市内で意見交流会を開いて欲しい。
- ・保育園・幼稚園から小学校への連携、学童と小学校との情報共有 (個人情報なので知らせてもらえない) を望む。

#### 4) 生活管理指導表の活用

- ・地域によっても様式が異なり、転園 (所) 時に保護者への説明が難しい。共通の様式を徹底できないか。
- ・文書料がかかるので、保護者に提出を頼みにくい。

#### 5) その他

- ・家庭福祉員は 1 人で 3 名の子供を見ているため、緊急時の対応が不安。
- ・アレルギーのある児が入所する場合、専門医療機関の紹介などのフォローをして欲しい。
- ・看護師等専門職がないので、アレルギーの児に関する相談窓口が欲しい。
- ・アレルギー対応食は通常給食より材料費が高く、人手もかかる。忙しい中でミスが起きやすくなるのではないか。現場の負担が増大している。

### イ 保護者に対する要望

- ・アレルギーに関する事はささいな事でも保護者より伝えて欲しい。
- ・施設への提出書類は正確に記入して欲しい。
- ・必要に応じて、医療機関を受診して欲しい。
- ・初食は家庭で休日に試して欲しい。
- ・保護者が医療機関としっかり連絡をとり、検査や診断の結果を施設に報告して欲しい。
- ・保護者も知識向上を図り、専門的な医療機関を選択した上での相談なら、施設の負担が減ると思う。

ウ 医療機関に対する要望

- ・生活管理指導表の適切な記入、負荷試験の実施。
- ・保護者への丁寧な説明。
- ・保育施設と保護者、医療機関との情報共有や連携の希望。

## 9 まとめ

都内の保育施設等を対象とした調査は、平成 21 年度に引き続き、今回は 2 回目である。対象施設は前回調査の認可保育所、認証保育所、幼稚園に加え、認定こども園やベビーホテル、家庭的保育、学童保育等、都内の全保育施設に拡大した。

7,405 施設に調査票を送付し、5,348 施設から回答を得た（回収率 72.2%）。無記名の郵送調査としては非常に高い回収率であり、保育施設等におけるアレルギー疾患への関心の高さが推察された。

なお、今回の調査対象には、二重保育や一時預かり、病児・病後児保育事業等の登録制により、必要な時のみ預かる施設があるため、この調査結果の在籍（預けられている）園児・児童 403,614 人には、重複して数えられている者が含まれる可能性がある。

### （1）アレルギー疾患の把握状況

#### ア アレルギー疾患の把握状況

保育施設等に通う園児・児童のアレルギー疾患の把握状況は、平成 21 年度調査施設に絞り比べると、各アレルギー疾患とも 70%以上の施設が把握していた。食物アレルギーは 99.5%で最も高く、アナフィラキシー、ぜん息、アトピー性皮膚炎は 9 割を超えていた。平成 21 年度調査より、食物アレルギー及びアナフィラキシーの把握率が増加し、命に関わる状態を含む緊急時に関する意識が高まっていた。

#### イ アレルギー疾患のり患状況

保育施設等に通う園児・児童 403,614 人のうち、アレルギー疾患にり患している割合は、食物アレルギー 6.3%、ぜん息 3.6%、アトピー性皮膚炎 2.9%、アレルギー性鼻炎 2.3%、アレルギー性結膜炎 0.9%、アナフィラキシー 0.6%であった。

平成 21 年度調査結果のり患率と比べると、食物アレルギー、アレルギー性鼻炎、アレルギー性結膜炎、アナフィラキシーが増加していた。

#### ウ 生活管理指導表の使用状況

最も多く使用されていた指導表は、認可保育所や学童保育では「区市町村で独自に作成したもの」（39.0%、31.3%）、認証保育所では「所や園で独自に作成したもの」（44.8%）であった。

厚生労働省作成の「保育所におけるアレルギー疾患生活管理指導表」（平成 23 年 3 月）と文部科学省（日本学校保健会作成）の「学校生活管理指導表（アレルギー疾患用）」（平成 20 年 3 月）の使用は、全保育施設において 27.0%に留まっていた。この 2 つの生活管理指導表は、集団生活におけるアレルゲン除去食等について診断根拠が示される書式であり、園児・児童のアレルギー症状を正しく把握できるため活用が推奨されている。

生活管理指導表について、保護者、保育・教育施設職員、主治医の間で的確な情報の共有ができるよう、使用について普及啓発を一層推進していく必要がある。



## (2) ぜん息の状況及び対応

過去1年間にぜん息発作を起こした園児・児童がいた施設は保育施設全体の9.1%で、平成21年度調査結果に比べ減少した。

各施設における発作対応の自己評価は、発作の程度によらず、「できた」又は「どちらかというとできた」が95%以上であった。しかし、対応内容を見ると、大発作でも「職員が車で医療機関を受診させた」(39.1%)が「救急車を要請した」(17.4%)を上回っており、大発作は生命の危機に関わる可能性が高いため、施設内での検討が課題である。

発作対応が「できた」又は「どちらかというとできた」と評価した施設で役立ったものは、「職員間で相談」、「保護者からの指示」、「マニュアルやガイドライン等の活用」、「研修会や講演会での内容」が多かった。正しい知識を持った職員がいてこそ、職員間の相談が適切な対応に結びつくので、研修・講習会等に参加した後、施設内で研修内容を共有していくことが重要である。また、マニュアルやガイドラインの見直しや内容確認を普段から行うことが大切である。

今後は、ぜん息の発作時に適切な対応が行えるようなマニュアルを整備することが求められており、正しい知識の普及啓発を推進していく必要がある。

## (3) 食物アレルギーの状況及び対応

### ア 食物アレルギーのある園児・児童の受け入れ状況

食物アレルギーのある園児・児童の受け入れ状況は、認可保育所、認証保育所、認定こども園、学童保育では95%以上の施設が預かるが、家庭的保育では50.5%に留まった。

「預かる」と回答した施設でも、「対応可能な場合のみ」、「重症者やアナフィラキシーの既往がある児は預からない」と回答した施設がある一方、「その他」と回答した施設でも、「状況に応じて預かる」と回答した施設もある。アレルギー疾患には症状や重症度に差があることや、家庭的保育では7割以上が保育者一人で複数の子供を保育しており、緊急時の対応が難しい状況など、課題が浮きぼりとなった。

### イ 食べ物の提供及び食物アレルギーの症状の発生状況

給食、補食、おやつなどの食べ物を提供している施設は、保育施設全体の86.6%であった。

「原材料を記入した献立表の事前配布」を行っている施設は、給食提供施設で8割、補食提供施設で4割、おやつ提供施設で5割に留まった。給食提供施設では6割以上で完全除去食や代替食を提供していたが、弁当持参(一部のおかずを含む)も15.8%であった。

過去1年間に全施設の19.0%の施設で、食物アレルギーの症状を経験しており、そのうち64.9%が初発、34.1%で誤食を経験していた。施設別にみると、認可保育所、認証保育所、ベビーホテル、家庭的保育では初発が多く、認定こども園、学童保育では誤食が多く、幼稚園ではほぼ同数であった。

また、誤食の理由として、誤配膳が最も多かった。保育施設全体の34.1%で誤食が発生しており、その内「誤配膳」は43.6%であった。誤食防止の対策は使用テーブルやトレイの色の工夫など各施設での対応が自由記載等から把握できた。平成21年度日本保育園保健協議会調査でも誤食は5割の保育所で発生しており、その内7割強が「配給・配膳ミス」であった。

## ウ 食物アレルギーによるアナフィラキシーの症状の発生及びその対応

過去1年間で、アナフィラキシーの症状を経験したことがある施設は211施設(3.9%、有効回答では4.0%)であった。平成21年度調査では過去3年間と把握期間が異なるため単純に比較はできないが、アナフィラキシーの症状の経験は12.0%であった。

アナフィラキシーの症状発生時の対応の自己評価は、「できた」又は「どちらかというのできた」と回答した施設が90.5%であり、重症のアナフィラキシーの症状を経験した14施設でも13施設が「できた」「どちらかというのできた」と回答した。

園児・児童がアナフィラキシーの症状を起こした時の対応として役立ったものは、「できた」又は「どちらかというのできた」と評価した施設の25%で、「緊急時を想定したシミュレーション訓練の実施」を挙げている。

より重症のアナフィラキシーの症状を経験した施設程、役立ったものとして「緊急時を想定したシミュレーション訓練の実施」の回答が高くなり、重症のアナフィラキシーを経験した施設では70%以上が役に立ったと回答していた。逆に「あまりできなかった」又は「できなかった」と評価した施設では、その理由としてシミュレーション訓練の未実施を挙げる割合が高かった。

アナフィラキシーの症状は急激に悪化する危険性があるため、迅速かつ適切な判断と対応が求められる。本調査結果から緊急時の対応を円滑に行うために、平常時からの「食物アレルギー緊急時対応マニュアル」を活用したシミュレーション訓練の実施が有用であると推察された。

## エ エピペン®を処方されている園児・児童の受け入れ体制

「エピペン®を処方されている園児・児童を受け入れる」保育施設は全体の60.3%で、そのうちの68.7%の施設でエピペン®も預かると回答していた。

調査時点において、全施設の11.1%(595施設)で、759人のエピペン®を預かっている。エピペン®を処方されている園児・児童は受け入れるが、エピペン®は施設で預からないと回答したのが377施設でその約90%は学童保育であった。学童保育では、他の保育施設に比べ通所する児童の年齢が高く、児童が自分でエピペン®を管理できる可能性が高いと考えられる。

## オ エピペン®の使用状況

施設内でエピペン®の使用経験があったのは0.4%(23施設)だった。エピペン®を打った人に保護者5人が含まれていた。園児・児童の状況によっては、保護者や救急車の到着を待たずに、エピペン®を打つことが求められる。エピペン®を打つ状況になった際、迷わず適切に打てるよう、普段から緊急時の場面を具体的にイメージできるよう訓練等を行っておくことが必要である。

## (4) 保育施設における取組状況

### ア 各種マニュアル、ガイドラインの整備状況

「施設で独自に作成したマニュアル」、「区市町村が作成したマニュアル」、東京都作成「保

保育園・幼稚園・学校における食物アレルギー対応ガイドブック」、「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」の整備状況は、全て4割以下であった。

東京都作成「緊急時対応マニュアル」は7割近くの施設で備えていると回答した。しかし、「緊急時対応マニュアル」の表紙を示した別の設問で、全保育施設の78.9%が「すぐ取り出せる場所に置いてある」と回答している。マニュアルのタイトルと実物が結びつかなかったと推察される。したがって、他のガイドラインやマニュアルの整備率も、今回の回答率よりも上がる可能性がある。

#### イ 「食物アレルギー緊急時対応マニュアル」の認知度

「緊急時対応マニュアル」は、平成25年7月に東京都が作成し、平成26年1月までに都内の全ての保育施設、幼稚園、小学校、中学校、高等学校の職員分を印刷・配布した。調査結果では、本マニュアルの認知率は85.4%であった。また、知っているとは回答した施設で、置き場所を全職員が知っている施設は約50%で、施設職員に本マニュアルの内容を周知した施設は約70%であった。

#### ウ 委員会の設置状況

「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」に記載されているアレルギー対策の検討や共通理解をするための委員会を設置している施設は1割にも満たなかったが、別の会議での代用や担当者を決めている施設は55.6%で、「特に何も決めていない」施設は約30%であった。

平常時から保育施設のアレルギー対応についての取組方針、緊急時の役割分担、園内研修・訓練の定期的実施などを取り決めておく必要がある。

#### (5) 行政、保護者、医療機関等への要望

行政に対しては、アレルギー疾患に関する研修の開催要望が最も多く、次いで人員・補助金の充実であった。また、保護者が参加しやすい日程でのアレルギー講演会開催を望む意見も多かった。

保護者に対しては、園児・児童の状態を施設側に正しく情報提供して欲しいことや、アレルギーについての正しい知識を保護者に身につけて欲しい等の意見が多かった。

医療機関に対しては、生活管理指導表の適切な記入や食物経口負荷試験の実施を求めると共に保育施設と保護者、医療機関との間で情報共有や連携の希望が多くあった。

#### (6) 今後の方向性

今回の調査により、都内保育施設等におけるアレルギー疾患のある子供の把握状況は5年前の調査に比べ、食物アレルギー、アナフィラキシー、アレルギー性結膜炎、アレルギー性鼻炎等が増加していることが明らかになった。また、食物アレルギー、ぜん息、アトピー性皮膚炎、アナフィラキシーについては施設での把握状況は9割を超えている。アレルギー疾患は喫食だけでなく保育の様々な場面で各々の子供の状態に応じた対応が必要であり、施設では常に危機感を持ちながら対応していることが把握できた。

ぜん息発作や食物アレルギーのアナフィラキシーの症状は、時として生命の危険もあり得る。

このような疾患をもつ園児・児童も、アレルギー疾患のない他の児童と共に保育施設等で安心・安全に集団生活を送り、発育・発達が保障された環境が提供される必要がある。そのためには、保育施設等での重症化防止策、緊急時対応が非常に重要で、各施設で組織的にアレルギー対策に取り組むことが必要である。

東京都では、保育施設等の職員向けに、ぜん息・食物アレルギーに関する緊急時を想定した研修や各種マニュアル等の作成、またアトピー性皮膚炎やスキンケア等の研修を実施し、人材育成に取り組んできた。今回の調査結果から、受講生の知識の更新、活用しやすい教材の開発など効果的な研修実施の必要性や、緊急時に適切に対応できるように平常時からの訓練の継続実施などの必要性が再確認できた。また一方で、受け入れる施設側では限られた数の職員でリスク管理を行うことや保護者・医療機関等との情報共有の難しさも課題としても示された。

東京都では、平成 10 年 8 月から「東京都アレルギー疾患対策検討委員会」を設置し、総合的なアレルギー疾患対策に取り組んできた。また、平成 26 年にアレルギー疾患対策基本法が成立し、自治体等の関係機関が連携して総合的なアレルギー疾患対策を推進していくことが求められている。今回の調査結果を参考に、保健・医療・福祉・教育・救急等関係部署との連携を強化し、より総合的なアレルギー疾患対策を推進していく。

## 引用文献

- 1) 日本小児アレルギー学会. 小児気管支喘息治療・管理ガイドライン 2012. 2012

## 参考文献

- 1) 日本小児アレルギー学会. 小児アレルギー疾患総合ガイドライン 2011. 2011
- 2) 厚生労働省. 保育所におけるアレルギー対応ガイドライン. 平成 23 年 3 月
- 3) 財団法人日本学校保健会. 学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン. 平成 20 年 3 月
- 4) 日本小児アレルギー学会食物アレルギー委員会. 食物アレルギー診療ガイドライン 2012. 2012
- 5) 一般社団法人日本アレルギー学会. アナフィラキシーガイドライン. 2014
- 6) 厚生労働省研究班. 食物アレルギーの診療の手引き 2014. 2014
- 7) 社会福祉法人東京都社会福祉協議会. 保育園における食物アレルギーへの対応についての調査報告書. 2014
- 8) 西間三馨他. 西日本小学児童におけるアレルギー疾患有症率調査－1992, 2002, 2012 年の比較－. 西日本小児アレルギー学会誌, 2013, vol. .27, no. 2, p. 149-169
- 9) 文部科学省. 学校生活における健康管理に関する調査 中間報告. 平成 25 年 12 月 16 日.
- 10) 東京都福祉保健局. アレルギー疾患に関する児童施設調査 報告書. 平成 22 年 3 月
- 11) 中部管区行政評価局. 乳幼児の食物アレルギー対策に関する実態調査 結果報告書. 平成 27 年 2 月
- 12) 学校給食における食物アレルギー対応に関する調査研究協力者会議 (文部科学省). 今後の学校給食における食物アレルギー対応について 最終報告. 平成 26 年 3 月



### III 資料編





## A 施設の概要についてお聞きします

表 1. 問 1 - A 所在地

	施設 総数	区部		多摩地域		島しょ地域	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
認可保育所*	1,588	1,016	64.0	559	35.2	13	0.8
認証保育所*	527	393	74.6	134	25.4	-	-
認定こども園*	95	58	61.1	37	38.9	-	-
幼稚園*	666	479	71.9	187	28.1	0	0.0
ベビーホテル	331	280	84.6	51	15.4	-	-
家庭的保育	596	468	78.5	128	21.5	-	-
学童保育	1,169	712	60.9	454	38.8	3	0.3
上記以外の施設	376	236	62.8	139	37.0	1	0.3
総 数	5,348	3,642	68.1	1,689	31.6	17	0.3
* 前回調査施設(再掲)	2,876	1,946	67.7	917	31.9	13	0.5

表 2. 問 1 - B 開所時間

	施設 総数	0 時	1 時	2 時	3 時	4 時	5 時	6 時	7 時	8 時	9 時	1 0 時	1 1 時	1 2 時	1 3 時	1 4 時	1 5 時	1 6 時	1 7 時	1 8 時	1 9 時	2 0 時	2 1 時	2 2 時	2 3 時	無 回 答
全施設数	5,348	8	4	-	-	-	-	13	2,711	1,678	606	69	32	41	93	8	1	-	1	-	-	-	-	-	-	83
割合	100	0	0	-	-	-	-	0	51	31	11	1	1	1	2	0	0	-	0	-	-	-	-	-	-	2
認可保育所*	1,588	-	-	-	-	-	-	3	1,566	5	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
認証保育所*	527	-	-	-	-	-	-	2	515	8	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
認定こども園*	95	-	-	-	-	-	-	-	88	4	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
幼稚園*	666	-	-	-	-	-	-	1	79	320	258	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
ベビーホテル	331	3	-	-	-	-	-	2	174	72	52	13	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	13
家庭的保育	596	-	-	-	-	-	-	2	141	401	47	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
学童保育	1,169	-	4	-	-	-	-	-	24	662	215	52	32	41	92	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	39
上記以外の施設	376	5	-	-	-	-	-	3	124	206	29	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	7
* 前回調査施設(再掲)	2,876	-	-	-	-	-	-	6	2,248	337	263	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19

表 3. 問 1 - B 閉所時間

	施設 総数	0 時	1 時	2 時	3 時	4 時	5 時	6 時	7 時	8 時	9 時	1 0 時	1 1 時	1 2 時	1 3 時	1 4 時	1 5 時	1 6 時	1 7 時	1 8 時	1 9 時	2 0 時	2 1 時	2 2 時	2 3 時	無 回 答
全施設数	5,348	11	1	5	1	6	29	34	18	16	1	4	-	1	28	245	31	85	504	1,531	1,580	888	154	101	3	71
割合	100	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	-	0	1	5	1	2	9	29	30	17	3	2	0	1
認可保育所*	1,588	-	-	-	-	-	1	2	6	2	-	1	-	-	-	-	-	3	4	207	907	403	16	21	1	14
認証保育所*	527	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	17	351	98	52	1	2
認定こども園*	95	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	2	-	1	-	40	18	27	2	2	-	1
幼稚園*	666	-	-	5	1	-	7	3	-	-	-	-	-	24	236	19	40	155	139	25	2	1	-	-	-	9
ベビーホテル	331	3	1	-	-	-	1	2	3	1	1	-	-	1	1	3	2	10	25	90	86	47	20	19	1	14
家庭的保育	596	-	-	-	-	6	18	13	-	1	-	-	-	-	-	-	23	240	254	28	4	1	-	-	-	8
学童保育	1,169	-	-	-	-	-	1	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	28	655	435	19	4	-	-	14
上記以外の施設	376	7	-	-	-	-	1	1	9	11	-	-	-	3	4	10	7	52	144	64	35	12	7	-	9	
* 前回調査施設(再掲)	2,876	1	-	5	1	-	8	6	6	3	-	4	-	24	238	19	44	159	388	967	783	117	75	2	26	

表 4. 問 1 - C 各施設の園児・児童数

(年齢別の預かり児童の状況：各年齢別に預かっている児童の総数)

	児童総数	0歳児		1歳児		2歳児		3歳児		4歳児		5歳児	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
認可保育所*	159,767	12,520	7.8	24,609	15.4	29,052	18.2	31,375	19.6	31,319	19.6	30,573	19.1
認証保育所*	18,071	4,178	23.1	5,590	30.9	4,606	25.5	1,659	9.2	1,116	6.2	865	4.8
認定こども園*	15,956	409	2.6	842	5.3	1,023	6.4	4,412	27.7	4,607	28.9	4,648	29.1
幼稚園*	111,392	21	0.0	47	0.0	1,204	1.1	33,303	29.9	37,949	34.1	38,270	34.4
ベビーホテル	9,405	1,110	11.8	2,223	23.6	2,225	23.7	1,453	15.4	1,124	12.0	1,008	10.7
家庭的保育	1,869	570	30.5	839	44.9	425	22.7	16	0.9	0	0.0	3	0.2
学童保育	76,220	179	0.2	201	0.3	227	0.3	212	0.3	99	0.1	88	0.1
上記以外の施設	10,934	1,096	10.0	2,094	19.2	2,177	19.9	1,630	14.9	1,419	13.0	1,251	11.4
総 数	403,614	20,083	5.0	36,445	9.0	40,939	10.1	74,060	18.3	77,633	19.2	76,706	19.0
* 前回調査施設(再掲)	305,186	17,128	5.6	31,088	10.2	35,885	11.8	70,749	23.2	74,991	24.6	74,356	24.4

小学1年生		小学2年生		小学3年生		その他		無回答	
人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
48	0.0	39	0.0	25	0.0	125	0.1	82	0.1
0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	57	0.3
1	0.0	1	0.0	1	0.0	11	0.1	1	0.0
66	0.1	68	0.1	62	0.1	143	0.1	259	0.2
75	0.8	48	0.5	36	0.4	57	0.6	46	0.5
0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	16	0.9
26,638	34.9	22,944	30.1	17,039	22.4	8,387	11.0	206	0.3
394	3.6	96	0.9	59	0.5	103	0.9	615	5.6
27,222	6.7	23,196	5.7	17,222	4.3	8,826	2.2	667	0.2
115	0.0	108	0.0	88	0.0	279	0.1	399	0.1

表 5. 問 1 - C 各施設の園児・児童数の状況

(施設種別の平均値、最大値、最小値、分散(標準偏差))

施設種別	園児・児童の合計値				
	最大値	最小値	平均値	中央値	標準偏差
認可保育所*	360	3	103	103	33.85
認証保育所*	135	1	32	32	13.37
認定こども園*	616	8	120	120	140.08
幼稚園*	563	12	168	144	103.45
ベビーホテル	1,937	0	18	18	117.70
家庭的保育	15	0	3	3	1.86
学童保育	713	2	51	51	63.40
上記以外	1,700	0	33	12	118.59
総 数	1,937	0	59	59	84
* 前回調査施設(再掲)	616	1	107	99	76

表 6. 問 1 - D 職員数① (施設別職員数)

	施設 総数	常勤職員の合計数								
		0人	1人	2~4人	5~9人	10人~ 19人	20人~ 29人	30人~ 39人	40人~ 49人	50人 以上
認可保育所*	1,576	-	2	18	23	538	762	185	34	14
認証保育所*	525	-	1	12	270	233	8	1	-	-
認定こども園*	94	-	-	1	11	36	27	13	6	-
幼稚園*	664	-	4	61	202	290	83	19	4	1
ベビーホテル	313	1	28	142	96	39	1	5	-	1
家庭的保育	554	2	420	125	7	-	-	-	-	-
学童保育	1,021	10	167	662	159	18	4	1	-	-
上記以外の施設	346	-	36	169	107	23	9	2	-	-
総 数	5,093	13	658	1,190	875	1,177	894	226	44	16
* 前回調査施設 (再掲)	2,859	0	7	92	506	1,097	880	218	44	15

	施設 総数	非常勤職員の合計数								
		0人	1人	2~4人	5~9人	10人~ 19人	20人~ 29人	30人~ 39人	40人~ 49人	50人 以上
認可保育所*	1,576	-	-	10	16	168	475	513	261	133
認証保育所*	525	-	1	2	40	399	74	8	1	-
認定こども園*	94	-	-	1	2	23	25	20	13	10
幼稚園*	664	-	3	15	113	349	129	39	14	2
ベビーホテル	323	1	2	51	158	90	13	3	2	3
家庭的保育	563	2	266	235	59	1	-	-	-	-
学童保育	1,137	-	2	291	629	200	8	6	1	-
上記以外の施設	367	-	2	80	187	77	12	8	-	1
総 数	5,249	3	276	685	1,204	1,307	736	597	292	149
* 前回調査施設 (再掲)	2,859	0	4	28	171	939	703	580	289	145

表 7. 常勤職員 1 人当たり児童数からみた施設数

	総 施設 数	常勤職員 1 人当たり児童数からみた施設数															
		0人	割合	1~2人	割合	3~4人	割合	5~9人	割合	10人~	割合	20人~	割合	30人~	割合	無回答	割合
認可保育所*	1,588	1	0.1	75	4.7	657	41.4	816	51.4	12	0.8	5	0.3	8	0.5	14	0.9
認証保育所*	527	1	0.2	56	10.6	359	68.1	103	19.5	4	0.8	1	0.2			3	0.6
認定こども園*	95			7	7.4	19	20.0	37	38.9	29	30.5	1	1.1	1	1.1	1	1.1
幼稚園*	666					4	0.6	91	13.7	521	78.2	34	5.1	10	1.5	6	0.9
ベビーホテル	331	2	0.6	59	17.8	100	30.2	79	23.9	32	9.7	3	0.9	3	0.9	53	16.0
家庭的保育	596	1	0.2	296	49.7	190	31.9	54	9.1							55	9.2
学童保育	1,169			6	0.5	15	1.3	109	9.3	374	32.0	216	18.5	264	22.6	185	15.8
上記以外	376	8	2.1	83	22.1	102	27.1	74	19.7	31	8.2	3	0.8	8	2.1	67	17.8
総 数	5,348	13	0.2	582	10.9	1,446	27.0	1,363	25.5	1,003	18.8	263	4.9	294	5.5	384	7.2
* 前回調査施設 (再掲)	2,876	2	0.1	138	4.8	1,039	36.1	1,047	36.4	566	19.7	41	1.4	19	0.7	24	0.8

表 8. 問 1 - D 職員数② (職種別)

	施設 総数	常勤職員の合計数								
		0人	1人	2~4人	5~9人	10人~ 19人	20人~ 29人	30人~ 39人	40人~ 49人	50人 以上
保育士	3,090	140	603	827	559	722	226	12	1	0
幼稚園教諭	1,392	521	242	279	197	131	20	2	0	0
幼稚園教諭・保育士併有	1,777	235	179	312	388	569	89	5	0	0

	施設 総数	全職員(常勤+非常勤)数の合計数								
		0人	1人	2~4人	5~9人	10人~ 19人	20人~ 29人	30人~ 39人	40人~ 49人	50人 以上
保育士	3,421	118	537	890	656	644	421	130	22	3
幼稚園教諭	1,705	454	479	351	211	176	29	5	0	0
幼稚園教諭・保育士併有	1,909	233	195	334	368	561	187	29	2	0

表 9. 問 1 - D 職員数③ (職種別)

	施設 総数	常勤職員の合計数					
		0人	1人	2人	3人	4人	5人以上
看護師・保健師	1,657	356	1,234	58	6	1	2
栄養士	1,851	292	921	376	176	66	20
調理及び調理補助員	1,731	288	567	457	273	94	52
事務職員	1,627	474	811	224	75	23	20

	施設 総数	全職員(常勤+非常勤)数の合計数					
		0人	1人	2人	3人	4人	5人以上
看護師・保健師	1,830	328	1,341	131	20	6	4
栄養士	2,068	255	1,108	391	205	73	36
調理及び調理補助員	2,167	217	517	461	401	279	292
事務職員	1,976	435	1,032	307	116	52	34

## B 各アレルギー疾患のある児童の状況等についてお聞きします

表 10. 問2-1(1) 現在、保護者からの申し出（文書や診断書の提出、口頭等）によりアレルギー疾患のある園児・児童の実態を把握していますか

	施設 総数	Aぜん息						B食物アレルギー						Cアナフィラキシー					
		1把握して いない		2把握して いる		無回答		1把握して いない		2把握して いる		無回答		1把握して いない		2把握して いる		無回答	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
認可保育所*	1,588	68	4.3	1,387	87.3	133	8.4	3	0.2	1,566	98.6	19	1.2	68	4.3	1,353	85.2	167	10.5
認証保育所*	527	61	11.6	402	76.3	64	12.1	6	1.1	513	97.3	8	1.5	73	13.9	372	70.6	82	15.6
認定こども園*	95	6	6.3	82	86.3	7	7.4	-	-	95	100.0	-	-	8	8.4	83	87.4	4	4.2
幼稚園*	666	42	6.3	582	87.4	42	6.3	6	0.9	653	98.0	7	1.1	58	8.7	538	80.8	70	10.5
ベビーホテル	331	33	10.0	237	71.6	61	18.4	14	4.2	292	88.2	25	7.6	44	13.3	214	64.7	73	22.1
家庭的保育	596	138	23.2	354	59.4	104	17.4	137	23.0	393	65.9	66	11.1	167	28.0	293	49.2	136	22.8
学童保育	1,169	76	6.5	999	85.5	94	8.0	13	1.1	1,127	96.4	29	2.5	117	10.0	904	77.3	148	12.7
上記以外の施設	376	52	13.8	276	73.4	48	12.8	21	5.6	336	89.4	19	5.1	62	16.5	258	68.6	56	14.9
総 数	5,348	476	8.9	4,319	80.8	553	10.3	200	3.7	4,975	93.0	173	3.2	597	11.2	4,015	75.1	736	13.8
* 前回調査施設(再掲)	2,876	177	6.2	2,453	85.3	246	8.6	15	0.5	2,827	98.3	34	1.2	207	7.2	2,346	81.6	323	11.2

Dアトピー性皮膚炎						Eアレルギー性鼻炎						Fアレルギー性結膜炎					
1把握して いない		2把握して いる		無回答		1把握して いない		2把握して いる		無回答		1把握して いない		2把握して いる		無回答	
施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
101	6.4	1,345	84.7	142	8.9	365	23.0	993	62.5	230	14.5	348	21.9	1,009	63.5	231	14.5
69	13.1	389	73.8	69	13.1	138	26.2	302	57.3	87	16.5	151	28.7	282	53.5	94	17.8
9	9.5	81	85.3	5	5.3	35	36.8	53	55.8	7	7.4	30	31.6	55	57.9	10	10.5
70	10.5	546	82.0	50	7.5	154	23.1	448	67.3	64	9.6	192	28.8	384	57.7	90	13.5
33	10.0	228	68.9	70	21.1	57	17.2	204	61.6	70	21.1	67	20.2	189	57.1	75	22.7
149	25.0	340	57.0	107	18.0	167	28.0	295	49.5	134	22.5	171	28.7	286	48.0	139	23.3
129	11.0	933	79.8	107	9.2	161	13.8	895	76.6	113	9.7	238	20.4	750	64.2	181	15.5
53	14.1	278	73.9	45	12.0	86	22.9	232	61.7	58	15.4	105	27.9	212	56.4	59	15.7
613	11.5	4,140	77.4	595	11.1	1,163	21.7	3,422	64.0	763	14.3	1,302	24.3	3,167	59.2	879	16.4
249	8.7	2,361	82.1	266	9.2	692	24.1	1,796	62.4	388	13.5	721	25.1	1,730	60.2	425	14.8

表 11. 問 2-1 (1) 現在、保護者からの申し出（文書や診断書の提出、口頭等）によるアレルギー疾患のある園児・児童の実態の把握状況（有効回答のみで割合を算出）

	施設 総数	Aぜん息				B食物アレルギー				Cアナフィラキシー			
		2把握して いる		1把握して いない		2把握して いる		1把握して いない		2把握して いる		1把握して いない	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
認可保育所*	1,588	1,387	95.3	68	4.7	1,566	99.8	3	0.2	1,353	95.2	68	4.8
認証保育所*	527	402	86.8	61	13.2	513	98.8	6	1.2	372	83.6	73	16.4
認定こども園*	95	82	93.2	6	6.8	95	100.0	0	0.0	83	91.2	8	8.8
幼稚園*	666	582	93.3	42	6.7	653	99.1	6	0.9	538	90.3	58	9.7
ベビーホテル	331	237	87.8	33	12.2	292	95.4	14	4.6	214	82.9	44	17.1
家庭的保育	596	354	72.0	138	28.0	393	74.2	137	25.8	293	63.7	167	36.3
学童保育	1,169	999	92.9	76	7.1	1,127	98.9	13	1.1	904	88.5	117	11.5
上記以外の施設	376	276	84.1	52	15.9	336	94.1	21	5.9	258	80.6	62	19.4
総 数	5,348	4,319	90.1	476	9.9	4,975	96.1	200	3.9	4,015	87.1	597	12.9
* 前回調査施設(再掲)	2,876	2,453	93.3	177	6.7	2,827	99.5	15	0.5	2,346	91.9	207	8.1

Dアトピー性皮膚炎				Eアレルギー性鼻炎				Fアレルギー性結膜炎			
2把握して いる		1把握して いない		2把握して いる		1把握して いない		2把握して いる		1把握して いない	
施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
1,345	93.0	101	7.0	993	73.1	365	26.9	1,009	74.4	348	25.6
389	84.9	69	15.1	302	68.6	138	31.4	282	65.1	151	34.9
81	90.0	9	10.0	53	60.2	35	39.8	55	64.7	30	35.3
546	88.6	70	11.4	448	74.4	154	25.6	384	66.7	192	33.3
228	87.4	33	12.6	204	78.2	57	21.8	189	73.8	67	26.2
340	69.5	149	30.5	295	63.9	167	36.1	286	62.6	171	37.4
933	87.9	129	12.1	895	84.8	161	15.2	750	75.9	238	24.1
278	84.0	53	16.0	232	73.0	86	27.0	212	66.9	105	33.1
4,140	87.1	613	12.9	3,422	74.6	1,163	25.4	3,167	70.9	1,302	29.1
2,361	90.5	249	9.5	1,796	72.2	692	27.8	1,730	70.6	721	29.4

表 12. アレルギー疾患の園児・児童が在籍している施設数と割合

	施設 総数	ぜん息		食物 アレルギー		アナフィラキシー		アトピー性 皮膚炎		アレルギー性 鼻炎		アレルギー性 結膜炎	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
認可保育所*	1,588	1,195	75.3	1,531	96.4	673	42.4	1,158	72.9	536	33.8	499	31.4
認証保育所*	527	232	44.0	483	91.7	91	17.3	205	38.9	77	14.6	24	4.6
認定こども園*	95	69	72.6	92	96.8	43	45.3	67	70.5	35	36.8	29	30.5
幼稚園*	666	521	78.2	626	94.0	285	42.8	479	71.9	354	53.2	181	27.2
ベビーホテル	331	103	31.1	203	61.3	32	9.7	91	27.5	48	14.5	17	5.1
家庭的保育	596	145	24.3	160	26.8	35	5.9	98	16.4	49	8.2	31	5.2
学童保育	1,169	851	72.8	1,000	85.5	344	29.4	759	64.9	720	61.6	338	28.9
上記以外の施設	376	101	26.9	208	55.3	34	9.0	100	26.6	42	11.2	15	4.0
総 数	5,348	3,217	60.2	4,303	80.5	1,537	28.7	2,957	55.3	1,861	34.8	1,134	21.2
* 前回調査施設(再掲)	2,876	2,017	70.1	2,732	95.0	1,092	38.0	1,909	66.4	1,002	34.8	733	25.5

表 13. 問 2-1 (2) 現在、保護者からの申し出（文書や診断書の提出、口頭等）によりアレルギー疾患のある園児・児童の実態を把握していますか。把握している場合は各疾患ごとの人数をご記入ください

各疾患の n は、問 2-1 (1) で「2. 把握している」と回答した施設数

	全体 児童数 (問1-C の児童数)	Aぜん息 n=4,319		B食物アレルギー n=4,975		Cアナフィラキシー n=4,015		Dアトピー性 皮膚炎 n=4,140		Eアレルギー性 鼻炎 n=3,422		Fアレルギー性 結膜炎 n=3,167	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0歳児	20,083	327	1.6	1,832	9.1	140	0.7	510	2.5	79	0.4	58	0.3
1歳児	36,445	817	2.2	3,799	10.4	302	0.8	1,054	2.9	187	0.5	103	0.3
2歳児	40,939	1,098	2.7	3,077	7.5	332	0.8	1,208	3.0	303	0.7	177	0.4
3歳児	74,060	2,301	3.1	4,595	6.2	442	0.6	2,014	2.7	1,015	1.4	395	0.5
4歳児	77,633	2,679	3.5	4,158	5.4	443	0.6	2,261	2.9	1,448	1.9	645	0.8
5歳児	76,706	3,158	4.1	3,541	4.6	367	0.5	2,224	2.9	2,011	2.6	970	1.3
小学一年生	27,222	1,327	4.9	1,634	6.0	240	0.9	880	3.2	1,436	5.3	390	1.4
小学二年生	23,196	1,084	4.7	1,281	5.5	165	0.7	737	3.2	1,284	5.5	337	1.5
小学三年生	17,222	820	4.8	959	5.6	126	0.7	552	3.2	1,026	6.0	286	1.7
その他	8,826	214	2.4	325	3.7	38	0.4	112	1.3	317	3.6	98	1.1
無回答*	1,282	765	59.7	60	4.7	5	0.4	50	3.9	67	5.2	64	5.0
児童数計	403,614	14,590	3.6	25,261	6.3	2,600	0.6	11,602	2.9	9,173	2.3	3,523	0.9

\* 年齢無回答は、年齢欄に記載がないが、合計欄に記載のあるもの

表 14. 問 2-2 食物アレルギーのある子供を預かりますか

	施設 総数	1預かる		2預からない		3その他		無回答	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
認可保育所*	1,588	1,560	98.2	2	0.1	10	0.6	16	1.0
認証保育所*	527	504	95.6	1	0.2	14	2.7	8	1.5
認定こども園*	95	91	95.8	-	-	2	2.1	2	2.1
幼稚園*	666	595	89.3	7	1.1	48	7.2	16	2.4
ベビーホテル	331	277	83.7	10	3.0	33	10.0	11	3.3
家庭的保育	596	301	50.5	117	19.6	150	25.2	28	4.7
学童保育	1,169	1,145	97.9	2	0.2	3	0.3	19	1.6
上記以外の施設	376	332	88.3	9	2.4	27	7.2	8	2.1
総数	5,348	4,805	89.8	148	2.8	287	5.4	108	2.0
* 前回調査施設(再掲)	2,876	2,750	95.6	10	0.3	74	2.6	42	1.5

表 15. 問3-1 アレルギー疾患の生活管理指導表の使用状況についてお答えください  
(複数回答)

	施設 総数	再掲															
		厚生労働省の「保育所におけるアレルギー疾患生活管理指導表」を使用		文部科学省の「学校生活管理指導表」を使用		区市町村で独自に作成した指導表を使用		所・園で独自に作成した指導表を使用		上記以外の様式を使用		使用していない		無回答		何らかの指導表を利用している施設数(施設総数から未使用と無回答を差し引く)	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
認可保育所*	1,588	443	27.9	43	2.7	620	39.0	433	27.3	206	13.0	98	6.2	132	8.3	1,358	85.5
認証保育所*	527	141	26.8	15	2.8	83	15.7	236	44.8	139	26.4	33	6.3	52	9.9	442	83.9
認定こども園*	95	19	20.0	11	11.6	15	15.8	28	29.5	16	16.8	18	18.9	6	6.3	71	74.7
幼稚園*	666	31	4.7	137	20.6	51	7.7	110	16.5	140	21.0	213	32.0	82	12.3	371	55.7
ベビーホテル	331	68	20.5	6	1.8	40	12.1	74	22.4	73	22.1	78	23.6	46	13.9	207	62.5
家庭的保育	596	65	10.9	18	3.0	92	15.4	24	4.0	76	12.8	222	37.2	172	28.9	202	33.9
学童保育	1,169	43	3.7	303	25.9	366	31.3	178	15.2	203	17.4	255	21.8	134	11.5	780	66.7
上記以外の施設	376	84	22.3	16	4.3	32	8.5	97	25.8	74	19.7	122	32.4	32	8.5	222	59.0
総 数	5,348	894	16.7	549	10.3	1,299	24.3	1,180	22.1	927	17.3	1,039	19.4	656	12.3	3,653	68.3
* 前回調査施設(再掲)	2,876	634	22.0	206	7.2	769	26.7	807	28.1	501	17.4	362	12.6	272	9.5	2,242	78.0

表 16. 各アレルギー疾患の把握状況別の生活管理指導表の活用(問2-1と問3-1)

問3-1 問2-1		施設 総数	再掲															
			厚生労働省の「保育所におけるアレルギー疾患生活管理指導表」を使用		文部科学省の「学校生活管理指導表」を使用		区市町村で独自に作成した指導表を使用		所・園で独自に作成した指導表を使用		上記以外の様式を使用		使用していない		無回答		何らかの指導表を利用している施設数(施設総数から未使用と無回答を差し引く)	
			施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
Aぜん息 把握している	4,319	713	16.5	463	10.7	1,074	24.9	967	22.4	740	17.1	790	18.3	442	10.2	2,970	68.8	
B食物アレルギー 把握している	4,975	844	17.0	524	10.5	1,244	25.0	1,155	23.2	887	17.8	924	18.6	543	10.9	3,508	70.5	
Cアナフィラキシー 把握している	4,015	683	17.0	459	11.4	1,070	26.7	931	23.2	709	17.7	711	17.7	404	10.1	2,899	72.2	
Dアトピー性皮膚炎 把握している	4,140	683	16.5	459	11.1	1,070	25.8	931	22.5	709	17.1	711	17.2	404	9.8	3,025	73.1	
Eアレルギー性鼻炎 把握している	3,422	543	15.9	394	11.5	883	25.8	761	22.2	594	17.4	680	19.9	368	10.8	2,374	69.4	
Fアレルギー性結膜炎 把握している	3,167	522	16.5	352	11.1	830	26.2	714	22.5	537	17.0	594	18.8	346	10.9	2,227	70.3	
いずれかの疾患 把握している	5,060	856	16.9	537	10.6	1,263	25.0	1,163	23.0	898	17.7	948	18.7	559	11.0	3,553	70.2	

表 17. 問3-2 生活管理指導表を提出している園児・児童が何人いますか

	施設 総数	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人	11人~	15人~	20人 以上	無回答
		施設数	施設数	施設数	施設数	施設数	施設数	施設数	施設数	施設数	施設数	施設数	施設数	施設数	施設数	
認可保育所*	1,588	299	69	86	116	112	110	124	105	74	58	49	98	17	8	263
認証保育所*	527	183	50	60	52	50	29	10	7	1	2	-	1	-	2	80
認定こども園*	95	23	9	4	6	3	6	4	5	3	3	5	3	4	2	15
幼稚園*	666	342	60	22	18	13	7	10	2	4	3	6	6	8	30	135
ベビーホテル	331	198	24	10	9	4	6	3	-	-	1	1	4	3	8	60
家庭的保育	596	380	15	7	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	190
学童保育	1,169	587	171	91	42	30	21	20	8	5	6	2	11	6	26	143
上記以外の施設	376	215	37	14	7	5	6	2	2	1	1	1	2	2	4	77
総 数	5,348	2,227	435	294	253	218	185	173	129	88	74	64	125	40	80	963
* 前回調査施設(再掲)	2,876	847	188	172	192	178	152	148	119	82	66	60	108	29	42	493



表 18. 問3-3 保護者からの依頼により、主治医から処方されたアレルギーに関する内服薬等を預かりますか

	施設 総数	1預かる		2預からない		無回答	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
認可保育所*	1,588	1,367	86.1	177	11.1	44	2.8
認証保育所*	527	406	77.0	104	19.7	17	3.2
認定こども園*	95	65	68.4	26	27.4	4	4.2
幼稚園*	666	379	56.9	254	38.1	33	5.0
ベビーホテル	331	183	55.3	130	39.3	18	5.4
家庭的保育	596	161	27.0	283	47.5	152	25.5
学童保育	1,169	337	28.8	793	67.8	39	3.3
上記以外の施設	376	220	58.5	132	35.1	24	6.4
総数	5,348	3,118	58.3	1,899	35.5	331	6.2
* 前回調査施設(再掲)	2,876	2,217	77.1	561	19.5	98	3.4

表 19. 問3-4 アドレナリン自己注射(エピペン®)を処方されている園児・児童を受け入れますか(受け入れていますか)

	施設 総数	1受け入れる		2断る		3決まっていない		無回答	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
認可保育所*	1,588	1,272	80.1	23	1.4	255	16.1	38	2.4
認証保育所*	527	230	43.6	65	12.3	209	39.7	23	4.4
認定こども園*	95	55	57.9	5	5.3	32	33.7	3	3.2
幼稚園*	666	362	54.4	69	10.4	211	31.7	24	3.6
ベビーホテル	331	94	28.4	84	25.4	141	42.6	12	3.6
家庭的保育	596	33	5.5	278	46.6	147	24.7	138	23.2
学童保育	1,169	1,053	90.1	5	0.4	87	7.4	24	2.1
上記以外の施設	376	128	34.0	56	14.9	179	47.6	13	3.5
総数	5,348	3,227	60.3	585	10.9	1,261	23.6	275	5.1
* 前回調査施設(再掲)	2,876	1,919	66.7	162	5.6	707	24.6	88	3.1

表 20. 問3-5 (問3-4で「1.受け入れる」と答えた方に) アドレナリン自己注射  
(エピペン®) を預かりますか

	問3-4で 「1.受け入れ る」と回答し た施設数	1預かる		2預からない		3決まっていない		無回答	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
認可保育所*	1,272	1,034	81.3	6	0.5	7	0.6	225	17.7
認証保育所*	230	163	70.9	4	1.7	5	2.2	58	25.2
認定こども園*	55	46	83.6	1	1.8	-	-	8	14.5
幼稚園*	362	306	84.5	14	3.9	9	2.5	33	9.1
ベビーホテル	94	76	80.9	1	1.1	3	3.2	14	14.9
家庭的保育	33	14	42.4	1	3.0	1	3.0	17	51.5
学童保育	1,053	504	47.9	342	32.5	45	4.3	162	15.4
上記以外の施設	128	75	58.6	8	6.3	9	7.0	36	28.1
総数	3,227	2,218	68.7	377	11.7	79	2.4	553	17.1
* 前回調査施設(再掲)	1,919	1,549	80.7	25	1.3	21	1.1	324	16.9

表 21. 問3-5 (問3-4で「1.受け入れる」と答えた方に) アドレナリン自己注射  
(エピペン®) を預かりますか また、現在、預かっている園児・児童は何人いま  
すか

	施設数	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人	11人
認可保育所*	252	221	25	6								
認証保育所*	17	15	2									
認定こども園*	28	20	8									
幼稚園*	189	132	42	9	2	1	1	1				1
ベビーホテル	15	13	2									
家庭的保育	2	1	1									
学童保育	88	69	16	3								
上記以外の施設	4	3	1									
総数	595	474	97	18	2	1	1	1	0	0	0	1
* 前回調査施設(再掲)	486	388	77	15	2	1	1	1	0	0	0	1

### C ぜん息発作についてお聞きします

表 22. 問 4-1 過去 1 年間に、施設内でぜん息発作を起こした園児・児童がいましたか

	施設 総数	1はい		2いいえ		無回答	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
認可保育所*	1,588	294	18.5	1,284	80.9	10	0.6
認証保育所*	527	20	3.8	506	96.0	1	0.2
認定こども園*	95	8	8.4	87	91.6	-	-
幼稚園*	666	34	5.1	626	94.0	6	0.9
ベビーホテル	331	10	3.0	318	96.1	3	0.9
家庭的保育	596	12	2.0	577	96.8	7	1.2
学童保育	1,169	79	6.8	1,084	92.7	6	0.5
上記以外の施設	376	29	7.7	344	91.5	3	0.8
総 数	5,348	486	9.1	4,826	90.2	36	0.7
* 前回調査施設(再掲)	2,876	356	12.4	2,503	87.0	17	0.6

表 23. 問 4-1 過去 1 年間に、施設内でぜん息発作を起こした園児・児童がいましたか（有効回答のみで割合を算出）

	施設 総数 *	1はい		2いいえ	
		施設数	割合	施設数	割合
全施設数	5,312	486	9.1	4,826	90.9

表 24. 問 4-2 (問 4-1 で「1. はい」と答えた方に) ぜん息発作のうち、最も重症だったものに一番近い症状の番号を選んでください (1つだけ○)

	問4-1で「1. はい」と回答した施設を対象として (施設数)	1小発作		2中発作		3大発作		無回答	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
全施設数	486	301	61.9	157	32.3	23	4.7	5	1.0
認可保育所*	294	165	56.1	108	36.7	16	5.4	5	1.7
認証保育所*	20	17	85.0	2	10.0	1	5.0	-	-
認定こども園*	8	6	75.0	1	12.5	1	12.5	-	-
幼稚園*	34	28	82.4	6	17.6	-	-	-	-
ベビーホテル	10	7	70.0	3	30.0	-	-	-	-
家庭的保育	12	8	66.7	4	33.3	-	-	-	-
学童保育	79	56	70.9	21	26.6	2	2.5	-	-
上記以外の施設	29	14	48.3	12	41.4	3	10.3	-	-
* 前回調査施設 (再掲)	356	216	60.7	117	32.9	18	5.1	5	1.4

表 25. 問 4-2 (問 4-1 で「1. はい」と答えた方に) ぜん息発作のうち、最も重症だったものに一番近い症状の番号を選んでください (有効回答のみで割合を算出)

	問4-1で「1. はい」と回答した施設を対象として (施設数)	1小発作		2中発作		3大発作	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
全施設数	481	301	62.6	157	32.6	23	4.8
前回調査施設	351	216	61.5	117	33.3	18	5.1

表 26. 問 4-3 問 4-2 の発作に対して、どのように対応しましたか (複数回答)

	問4-1で「1. はい」と回答した施設を対象として (施設数)	椅子に座って休むなど楽な体勢をとりせたり、あるいは水を飲ませた		持参薬を吸入させた、または内服させた		保護者に連絡した		かかりつけ医や嘔吐医に連絡をして指示を受けた		職員が車で医療機関を受診させた		救急車を要請した		その他		無回答	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
認可保育所*	294	256	87.1	14	4.8	273	92.9	23	7.8	17	5.8	3	1.0	14	4.8	3	1.0
認証保育所*	20	15	75.0	1	5.0	18	90.0	1	5.0	2	10.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
認定こども園*	8	4	50.0	0	0.0	8	100.0	2	25.0	1	12.5	1	12.5	1	12.5	0	0.0
幼稚園*	34	31	91.2	4	11.8	31	91.2	1	2.9	0	0.0	1	2.9	1	2.9	0	0.0
ベビーホテル	10	10	100.0	0	0.0	7	70.0	2	20.0	0	0.0	0	0.0	1	10.0	0	0.0
家庭的保育	12	10	83.3	2	16.7	12	100.0	2	16.7	0	0.0	0	0.0	2	16.7	0	0.0
学童保育	79	68	86.1	9	11.4	67	84.8	0	0.0	1	1.3	0	0.0	6	7.6	1	1.3
上記以外の施設	29	18	62.1	10	34.5	13	44.8	6	20.7	0	0.0	0	0.0	9	31.0	1	3.4
総数	486	412	84.8	40	8.2	429	88.3	37	7.6	21	4.3	5	1.0	34	7.0	5	1.0
* 前回調査施設 (再掲)	356	306	86.0	19	5.3	330	92.7	27	7.6	20	5.6	5	1.4	16	4.5	3	0.8

表 27. 発作の程度別の対応（問 4 - 2 と問 4 - 3）

問4-2 \ 問4-3	問4-1で「1. はい」と回答した施設を対象として（施設数）	椅子に座って休むなど楽な体勢をとらせたり、あるいは水を飲ませた		持参薬を吸入させた、または内服させた		保護者に連絡した		かかりつけ医や囁託医に連絡をして指示を受けた		職員が車で医療機関を受診させた		救急車を要請した		その他		無回答	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
小発作	301	256	85.0	19	6.3	263	87.4	13	4.3	3	1.0	-	-	12	4.0	4	1.3
中発作	157	141	89.8	17	10.8	144	91.7	16	10.2	9	5.7	1	0.6	15	9.6	-	-
大発作	23	11	47.8	4	17.4	19	82.6	7	30.4	9	39.1	4	17.4	6	26.1	-	-
無回答	5	4	80.0	-	-	3	60.0	1	20.0	-	-	-	-	1	20.0	1	20.0

表 28. 問 4 - 4 問 4 - 3 の対応に対する評価について、お聞きします  
対応はスムーズにできたと思いますか（1つだけ○）

	問4-1で「1. はい」と回答した施設を対象として（施設数）	1できた		2どちらかというどできた		3あまりできなかった		4できなかった		無回答	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
認可保育所*	294	210	71.4	75	25.5	4	1.4	1	0.3	4	1.4
認証保育所*	20	17	85.0	3	15.0	-	-	-	-	-	-
認定こども園*	8	6	75.0	2	25.0	-	-	-	-	-	-
幼稚園*	34	24	70.6	10	29.4	-	-	-	-	-	-
ベビーホテル	10	9	90.0	1	10.0	-	-	-	-	-	-
家庭的保育	12	8	66.7	4	33.3	-	-	-	-	-	-
学童保育	79	52	65.8	25	31.6	1	1.3	-	-	1	1.3
上記以外の施設	29	20	69.0	7	24.1	-	-	-	-	2	6.9
総 数	486	346	71.2	127	26.1	5	1.0	1	0.2	7	1.4
* 前回調査施設（再掲）	356	257	72.2	90	25.3	4	1.1	1	0.3	4	1.1

表 29. 発作の重症度別の対応の評価（問 4 - 4 と問 4 - 2）

問4-4 \ 問4-2	問4-1で「1. はい」と回答した施設を対象として（施設数）	1できた		2どちらかというどできた		3あまりできなかった		4できなかった		無回答	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
小発作	301	216	71.8	77	25.6	1	0.3	1	0.3	6	2.0
中発作	157	113	72.0	41	26.1	3	1.9	-	-	-	-
大発作	23	15	65.2	7	30.4	1	4.3	-	-	-	-
無回答	5	2	40.0	2	40.0	-	-	-	-	1	20.0

表 30. 問 4-5 (問 4-4 で「1. できた」「2. どちらかというとできた」と答えた方に) ぜん息発作対応時に役立ったものについて、○をつけてください(複数回答)

	施設数	マニュアルやガイドライン等を活用		所・園内での健康安全に関する会議での内容		研修会や講演会での内容		かかりつけ医・嘱託医に相談		保護者からの指示		職員間で相談		その他		無回答	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
認可保育所*	285	134	47.0	94	33.0	112	39.3	44	15.4	92	32.3	163	57.2	30	10.5	1	0.4
認証保育所*	20	11	55.0	7	35.0	6	30.0	1	5.0	10	50.0	10	50.0	-	-	-	-
認定こども園*	8	3	37.5	-	-	1	12.5	2	25.0	6	75.0	3	37.5	2	25.0	-	-
幼稚園*	34	6	17.6	5	14.7	8	23.5	4	11.8	28	82.4	22	64.7	1	2.9	0	0.0
ベビーホテル	10	3	30.0	3	30.0	6	60.0	1	10.0	3	30.0	7	70.0	4	40.0	-	-
家庭的保育	12	2	16.7	1	8.3	3	25.0	2	16.7	8	66.7	2	16.7	6	50.0	-	-
学童保育	77	16	20.8	14	18.2	24	31.2	-	-	50	64.9	55	71.4	7	9.1	-	-
上記以外の施設	27	5	18.5	6	22.2	5	18.5	7	25.9	7	25.9	15	55.6	9	33.3	0	0.0
総数	473	180	38.1	130	27.5	165	34.9	61	12.9	204	43.1	277	58.6	59	12.5	1	0.2
* 前回調査施設(再掲)	347	154	44.4	106	30.5	127	36.6	51	14.7	136	39.2	198	57.1	33	9.5	1	0.3

表 31. 重症度別の役立った内容(問 4-2 と問 4-5)

※集計対象:「1. できた」又は「2. どちらかというとできた」と回答した施設

問4-5 問4-2	施設数	マニュアルやガイドライン等を活用		所・園内での健康安全に関する会議での内容		研修会や講演会での内容		かかりつけ医・嘱託医に相談		保護者からの指示		職員間で相談		その他		無回答	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
小発作	293	105	35.8	71	24.2	98	33.4	29	9.9	139	47.4	170	58.0	33	11.3	-	-
中発作	154	61	39.6	48	31.2	57	37.0	23	14.9	57	37.0	93	60.4	18	11.7	1	0.6
大発作	22	12	54.5	7	31.8	7	31.8	7	31.8	6	27.3	10	45.5	7	31.8	-	-
無回答	4	2	50.0	4	100.0	3	75.0	2	50.0	2	50.0	4	100.0	1	25.0	-	-

表 32. 問 4-6 (問 4-4 で「3. あまりできなかった」又は「4. できなかった」と答えた方に) できなかった理由について、○をつけてください(複数回答)

	施設数	マニュアルやガイドライン等の資料が揃っていない		所・園内でのアレルギー対策に関する話し合いの機会がなかった		研修会や講演会に参加する機会がなかった		相談できる関係機関を把握してなかった		職員間で相談できる環境が整っていなかった		緊急時に備えた訓練をしていなかった		その他		無回答	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
認可保育所*	5	2	40.0	1	20.0	-	-	-	-	1	20.0	1	20.0	3	60.0	-	-
認証保育所*	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
認定こども園*	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
幼稚園*	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ベビーホテル	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
家庭的保育	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
学童保育	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	100.0	1	100.0	-	-
上記以外の施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
総数	6	2	33.3	1	16.7	-	-	-	-	1	16.7	2	33.3	4	66.7	-	-
* 前回調査施設(再掲)	5	2	40.0	1	20.0	-	-	-	-	1	20.0	1	20.0	3	60.0	-	-

表 33. 問 4-6 (問 4-2 と問 4-6)

※集計対象: 「3. あまりできなかった」又は「4. できなかった」と回答した施設

問4-6 問4-2	施設数	マニュアルやガイドライン等の資料が揃って いなかった		所・園内でのアレルギー対策に 関する話し合いの 機会がなかった		研修会や講演会 に参加する機会 がなかった		相談できる関係 機関を把握して なかった		職員間で相談で きる環境が整っ ていなかった		緊急時に備えた 訓練をしていな かった		その他		無回答	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
小発作	2	2	100.0	1	50.0	-	-	-	-	1	50.0	-	-	-	-	-	-
中発作	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	33.3	3	100.0	-	-
大発作	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	100.0	1	100.0	-	-
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

表 34. 問 4-7 過去5年間に、ぜん息をもつ園児・児童への対応について、施設内での体制を検討したことはありましたか (複数回答)

	施設 総数	マニュアルやガイドライン等の資料の内容の確認		所・園内でのアレルギー対策に関する話し合いの設定		研修会や講演会に参加する努力		相談できる関係機関の把握		職員間で相談できる環境の整備		今後検討予定		特になし		その他		無回答	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
認可保育所*	1,588	632	39.8	657	41.4	894	56.3	408	25.7	574	36.1	67	4.2	194	12.2	60	3.8	115	7.2
認証保育所*	527	230	43.6	223	42.3	291	55.2	135	25.6	213	40.4	43	8.2	45	8.5	15	2.8	38	7.2
認定こども園*	95	35	36.8	33	34.7	49	51.6	22	23.2	32	33.7	6	6.3	16	16.8	1	1.1	7	7.4
幼稚園*	666	127	19.1	224	33.6	195	29.3	138	20.7	281	42.2	25	3.8	138	20.7	24	3.6	39	5.9
ベビーホテル	331	105	31.7	117	35.3	135	40.8	83	25.1	120	36.3	19	5.7	55	16.6	18	5.4	30	9.1
家庭的保育	596	112	18.8	46	7.7	176	29.5	102	17.1	66	11.1	30	5.0	206	34.6	40	6.7	74	12.4
学童保育	1,169	351	30.0	329	28.1	491	42.0	196	16.8	435	37.2	58	5.0	244	20.9	25	2.1	99	8.5
上記以外の施設	376	129	34.3	138	36.7	136	36.2	83	22.1	162	43.1	26	6.9	66	17.6	19	5.1	25	6.6
総数	5,348	1,721	32.2	1,767	33.0	2,367	44.3	1,167	21.8	1,883	35.2	274	5.1	964	18.0	202	3.8	427	8.0
* 前回調査施設(再掲)	2,876	1,024	35.6	1,137	39.5	1,429	49.7	703	24.4	1,100	38.2	141	4.9	393	13.7	100	3.5	199	6.9

表 35. 対応に対する評価別の職場内体制の比較 (問 4-4 と問 4-7)

問4-7 問4-4	施設 総数	マニュアルやガイドライン等の資料の内容の確認		所・園内でのアレルギー対策に関する話し合いの設定		研修会や講演会に参加する努力		相談できる関係機関の把握		職員間で相談できる環境の整備		今後検討予定		特になし		その他		無回答	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
できた	346	147	42.5	175	50.6	197	56.9	80	23.1	181	52.3	12	3.5	19	5.5	15	4.3	13	3.8
どちらかというとき	127	41	32.3	59	46.5	61	48.0	26	20.5	72	56.7	10	7.9	17	13.4	5	3.9	3	2.4
あまりできなかった	5	1	20.0	2	40.0	5	100.0	1	20.0	1	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-
できなかった	1	1	100.0	1	100.0	1	100.0	-	-	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	7	1	14.3	3	42.9	3	42.9	1	14.3	1	14.3	-	-	1	14.3	-	-	2	28.6

## D 食物アレルギーに関することについてお聞きします

表 36. 問5-1 貴施設で、提供している食べ物全てに○をつけてください（複数回答）

	施設 総数											再掲		再掲	
		1給食 (昼食や夕食)		2補食		3おやつ		4提供して いない		無回答		給食・補食・おやつ のいずれかを提供		給食は出さず、補食 かおやつを提供	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
認可保育所*	1,588	1,575	99.2	1,256	79.1	1,550	97.6	1	0.1	8	0.5	1,579	99.4	4	0.3
認証保育所*	527	526	99.8	403	76.5	519	98.5	-	-	1	0.2	526	99.8	-	-
認定こども園*	95	93	97.9	44	46.3	88	92.6	-	-	-	-	95	100.0	2	2.1
幼稚園*	666	381	57.2	40	6.0	408	61.3	134	20.1	4	0.6	528	79.3	147	22.1
ベビーホテル	331	246	74.3	83	25.1	257	77.6	57	17.2	3	0.9	271	81.9	25	7.6
家庭的保育	596	142	23.8	51	8.6	194	32.6	370	62.1	13	2.2	213	35.7	71	11.9
学童保育	1,169	122	10.4	68	5.8	1,114	95.3	42	3.6	9	0.8	1,118	95.6	996	85.2
上記以外の施設	376	251	66.8	95	25.3	288	76.6	67	17.8	5	1.3	304	80.9	53	14.1
総 数	5,348	3,336	62.4	2,040	38.1	4,418	82.6	671	12.5	43	0.8	4,634	86.6	1,298	24.3
* 前回調査施設(再掲)	2,876	2,575	89.5	1,743	60.6	2,565	89.2	135	4.7	13	0.5	2,728	94.9	153	5.3

表 37. 問5-2 (問5-1で「1. 給食」「2. 補食」「3. おやつ」のいずれかに○をした方に) 提供しているものの調理方式について、あてはまるものを選んでください（複数回答）

	施設数	施設内の給食 調理施設で調理		共同調理場で調 理した給食を提供 するセンター方式		民間業者が弁当 を作って所・園に 届ける弁当方式		その他		無回答	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
認可保育所*	1,579	1,571	99.5	1	0.1	1	0.1	48	3.0	4	0.3
認証保育所*	526	523	99.4	-	-	-	-	5	1.0	3	0.6
認定こども園*	95	73	76.8	7	7.4	19	20.0	5	5.3	-	-
幼稚園*	528	103	19.5	36	6.8	281	53.2	164	31.1	7	1.3
ベビーホテル	271	185	68.3	2	0.7	56	20.7	43	15.9	3	1.1
家庭的保育	213	154	72.3	2	0.9	2	0.9	57	26.8	6	2.8
学童保育	1,118	262	23.4	1	0.1	122	10.9	884	79.1	30	2.7
上記以外の施設	304	204	67.1	18	5.9	28	9.2	78	25.7	4	1.3
総 数	4,634	3,075	66.4	67	1.4	509	11.0	1,284	27.7	57	1.2
* 前回調査施設(再掲)	2,728	2,270	83.2	44	1.6	301	11.0	222	8.1	14	0.5



表 38. 問5-2 提供しているものの調理方式について

\* 集計対象：問5-1で「1. 給食」と回答した施設に限定

	施設数	施設内の給食調理施設で調理		共同調理場で調理した給食を提供するセンター方式		民間業者が弁当を作って所・園に届ける弁当方式		その他		無回答	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
認可保育所*	1,575	1,570	99.7	1	0.1	1	0.1	45	2.9	4	0.3
認証保育所*	526	523	99.4	-	-	-	-	5	1.0	3	0.6
認定こども園*	93	73	78.5	7	7.5	19	20.4	3	3.2	-	-
幼稚園*	381	81	21.3	36	9.4	273	71.7	42	11.0	3	0.8
ベビーホテル	246	181	73.6	2	0.8	55	22.4	25	10.2	1	0.4
家庭的保育	142	124	87.3	2	1.4	1	0.7	19	13.4	2	1.4
学童保育	122	64	52.5	-	-	69	56.6	49	40.2	2	1.6
上記以外の施設	251	195	77.7	18	7.2	27	10.8	33	13.1	3	1.2
総数	3,336	2,811	84.3	66	2.0	445	13.3	221	6.6	18	0.5
* 前回調査施設(再掲)	2,575	2,247	87.3	44	1.7	293	11.4	95	3.7	10	0.4

表 39. 問5-3 (問5-1で「1. 給食」「2. 補食」「3. おやつ」のいずれかに○をした方に) アレルギー対応食に関する園の方針について、あてはまるもの全てに○を、また4~8で最も対応数の多いものに◎をしてください(○はいくつでも、◎は1つだけ)

\*集計対象：問5-1で「1. 給食」「2. 補食」「3. おやつ」のいずれかに回答した施設(○あるいは◎を付けた施設数を集計)

	総数	給食の原材料を記入した献立表を事前に配布している		補食の原材料を記入した献立表を事前に配布している		おやつ原材料を記入した献立表を事前に配布している		一部のおかずのみ弁当を持参してもらっている		完全除去食(原因物質を除いた食事)を提供している	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
認可保育所*	1,579	1,454	92.1	638	40.4	1,307	82.8	207	13.1	1,169	74.0
認証保育所*	526	498	94.7	156	29.7	431	81.9	37	7.0	413	78.5
認定こども園*	95	81	85.3	23	24.2	53	55.8	17	17.9	61	64.2
幼稚園*	528	305	57.8	26	4.9	110	20.8	90	17.0	170	32.2
ベビーホテル	271	157	57.9	34	12.5	109	40.2	24	8.9	134	49.4
家庭的保育	213	46	21.6	8	3.8	30	14.1	6	2.8	47	22.1
学童保育	1,118	14	1.3	7	0.6	106	9.5	8	0.7	396	35.4
上記以外の施設	304	133	43.8	18	5.9	92	30.3	27	8.9	141	46.4
総数	4,634	2,688	58.0	910	19.6	2,238	48.3	416	9.0	2,531	54.6
*前回調査施設(再掲)	2,728	2,338	85.7	843	30.9	1,901	69.7	351	12.9	1,813	66.5

段階的除去食を提供している		代替食を提供している		給食を提供せず、家庭から弁当を持参してもらっている		その他		無回答	
施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
686	43.4	1,180	74.7	70	4.4	85	5.4	11	0.7
200	38.0	324	61.6	21	4.0	16	3.0	3	0.6
30	31.6	56	58.9	21	22.1	4	4.2	2	2.1
71	13.4	172	32.6	223	42.2	92	17.4	9	1.7
56	20.7	100	36.9	85	31.4	26	9.6	6	2.2
35	16.4	37	17.4	73	34.3	46	21.6	15	7.0
190	17.0	615	55.0	166	14.8	286	25.6	51	4.6
81	26.6	131	43.1	100	32.9	50	16.4	4	1.3
1,349	29.1	2,615	56.4	759	16.4	605	13.1	101	2.2
987	36.2	1,732	63.5	335	12.3	197	7.2	25	0.9

表 40. 問5-3 アレルギー対応食に関する園の方針について

\* 問5-1で「1. 給食」と回答した施設に限定した集計結果

	総数	給食の原材料を記入した献立表を事前に配布している		一部のおかずのみ弁当を持参してもらっている		完全除去食(原因物質を除いた食事)を提供している		段階的除去食を提供している		代替食を提供している		給食を提供せず、家庭から弁当を持参してもらっている		その他		無回答	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
認可保育所*	1,575	1,454	92.3	207	13.1	1,169	74.2	686	43.6	1,180	74.9	69	4.4	82	5.2	11	0.7
認証保育所*	526	498	94.7	37	7.0	413	78.5	200	38.0	324	61.6	21	4.0	16	3.0	3	0.6
認定こども園*	93	81	87.1	17	18.3	60	64.5	30	32.3	55	59.1	21	22.6	3	3.2	2	2.2
幼稚園*	381	302	79.3	85	22.3	151	39.6	67	17.6	137	36.0	189	49.6	33	8.7	2	0.5
ベビーホテル	246	156	63.4	24	9.8	127	51.6	55	22.4	97	39.4	74	30.1	17	6.9	3	1.2
家庭的保育	142	46	32.4	4	2.8	43	30.3	30	21.1	33	23.2	30	21.1	31	21.8	7	4.9
学童保育	122	12	9.8	2	1.6	50	41.0	27	22.1	65	53.3	49	40.2	16	13.1	1	0.8
上記以外の施設	251	132	52.6	27	10.8	137	54.6	76	30.3	116	46.2	74	29.5	18	7.2	2	0.8
総数	3,336	2,681	80.4	403	12.1	2,150	64.4	1,171	35.1	2,007	60.2	527	15.8	216	6.5	31	0.9
* 前回調査施設(再掲)	2,575	2,335	90.7	346	13.4	1,793	69.6	983	38.2	1,696	65.9	300	11.7	134	5.2	18	0.7

表 41. 問5-3 アレルギー対応食に関する園の方針について

\* 問5-1で「2. 補食」と回答した施設に限定した集計結果

	総数	補食の原材料を記入した献立表を事前に配布している	
		施設数	割合
認可保育所*	1,256	603	48.0
認証保育所*	403	148	36.7
認定こども園*	44	22	50.0
幼稚園*	40	14	35.0
ベビーホテル	83	29	34.9
家庭的保育	51	4	7.8
学童保育	68	2	2.9
上記以外の施設	95	14	14.7
総数	2,040	836	41.0
* 前回調査施設(再掲)	1,743	787	45.2

表 42. 問5-3 アレルギー対応食に関する園の方針について

\* 問5-1で「3. おやつ」と回答した施設に限定した集計結果

	総数	おやつの原材料を記入した献立表を事前に配布している	
		施設数	割合
認可保育所*	1,550	1,291	83.3
認証保育所*	519	429	82.7
認定こども園*	88	52	59.1
幼稚園*	408	107	26.2
ベビーホテル	257	108	42.0
家庭的保育	194	29	14.9
学童保育	1,114	106	9.5
上記以外の施設	288	91	31.6
総 数	4,418	2,213	50.1
* 前回調査施設(再掲)	2,565	1,879	73.3

表 43. 問5-3 アレルギー対応食に関する園の方針について

\*問2-1 (B) 食物アレルギーのある園児・児童を「2、把握している」施設の中で、問5-1で「1. 給食」「2. 補食」「3. おやつ」のいずれかに回答した施設 (○あるいは◎を付けた施設数を集計)

	総数	給食の原材料を記入した献立表を事前に配布している		補食の原材料を記入した献立表を事前に配布している		おやつ原材料を記入した献立表を事前に配布している		一部のおかずのみ弁当を持参してもらっている		完全除去食(原因物質を除いた食事)を提供している	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
認可保育所*	1,557	1,435	92.2	627	40.3	1,291	82.9	206	13.2	1,157	74.3
認証保育所*	512	485	94.7	153	29.9	420	82.0	37	7.2	404	78.9
認定こども園*	95	81	85.3	23	24.2	53	55.8	17	17.9	61	64.2
幼稚園*	516	299	57.9	25	4.8	108	20.9	88	17.1	168	32.6
ベビーホテル	247	147	59.5	34	13.8	104	42.1	23	9.3	122	49.4
家庭的保育	153	33	21.6	6	3.9	21	13.7	5	3.3	41	26.8
学童保育	1,079	14	1.3	7	0.6	104	9.6	8	0.7	383	35.5
上記以外の施設	278	126	45.3	17	6.1	88	31.7	26	9.4	132	47.5
総数	4,437	2,620	59.0	892	20.1	2,189	49.3	410	9.2	2,468	55.6
* 前回調査施設(再掲)	2,680	2,300	85.8	828	30.9	1,872	69.9	348	13.0	1,790	66.8

段階的除去食を提供している		代替食を提供している		給食を提供せず、家庭から弁当を持参してもらっている		その他		無回答	
施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
679	43.6	1,168	75.0	70	4.5	84	5.4	11	0.7
193	37.7	316	61.7	20	3.9	15	2.9	2	0.4
30	31.6	56	58.9	21	22.1	4	4.2	2	2.1
70	13.6	170	32.9	215	41.7	90	17.4	8	1.6
52	21.1	93	37.7	78	31.6	19	7.7	5	2.0
29	19.0	31	20.3	55	35.9	28	18.3	7	4.6
186	17.2	602	55.8	156	14.5	274	25.4	48	4.4
74	26.6	127	45.7	93	33.5	47	16.9	3	1.1
1,313	29.6	2,563	57.8	708	16.0	561	12.6	86	1.9
972	36.3	1,710	63.8	326	12.2	193	7.2	23	0.9

表 44. 問5-3 アレルギー対応食に関する園の方針について

\*問2-1 (B) 食物アレルギーのある園児・児童を「2、把握している」施設の中で、問5-1で「1. 給食」と回答した施設 (○あるいは◎を付けた施設数を集計)

	総数	給食の原材料を記入した献立表を事前に配布している		補食の原材料を記入した献立表を事前に配布している		おやつ原材料を記入した献立表を事前に配布している		一部のおかずのみ弁当を持参してもらっている		完全除去食(原因物質を除いた食事)を提供している	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
認可保育所*	1,554	1,435	92.3	627	40.3	1,290	83.0	206	13.3	1,157	74.5
認証保育所*	512	485	94.7	153	29.9	420	82.0	37	7.2	404	78.9
認定こども園*	93	81	87.1	22	23.7	52	55.9	17	18.3	60	64.5
幼稚園*	373	296	79.4	20	5.4	62	16.6	84	22.5	149	39.9
ベビーホテル	224	146	65.2	33	14.7	102	45.5	23	10.3	116	51.8
家庭的保育	104	33	31.7	6	5.8	16	15.4	3	2.9	37	35.6
学童保育	118	12	10.2	3	2.5	13	11.0	2	1.7	48	40.7
上記以外の施設	231	125	54.1	17	7.4	86	37.2	26	11.3	128	55.4
総数	3,209	2,613	81.4	881	27.5	2,041	63.6	398	12.4	2,099	65.4
* 前回調査施設(再掲)	2,532	2,297	90.7	822	32.5	1,824	72.0	344	13.6	1,770	69.9

段階的除去食を提供している		代替食を提供している		給食を提供せず、家庭から弁当を持参してもらっている		その他		無回答	
施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
679	43.7	1,168	75.2	69	4.4	82	5.3	11	0.7
193	37.7	316	61.7	20	3.9	15	2.9	2	0.4
30	32.3	55	59.1	21	22.6	3	3.2	2	2.2
66	17.7	135	36.2	183	49.1	33	8.8	1	0.3
51	22.8	91	40.6	68	30.4	12	5.4	2	0.9
25	24.0	28	26.9	22	21.2	19	18.3	3	2.9
27	22.9	63	53.4	46	39.0	15	12.7	1	0.8
71	30.7	112	48.5	69	29.9	16	6.9	2	0.9
1,142	35.6	1,968	61.3	498	15.5	195	6.1	24	0.7
968	38.2	1,674	66.1	293	11.6	133	5.3	16	0.6

表 45. 問5-3 アレルギー対応食に関する園の方針について

\* 集計対象：問5-1で「1. 給食」「2. 補食」「3. おやつ」のいずれかに回答した施設（◎を付けた施設数を集計）

	総数	給食の原材料を記入した献立表を事前に配布している		補食の原材料を記入した献立表を事前に配布している		おやつ原材料を記入した献立表を事前に配布している		一部のおかずのみ弁当を持参してもらっている		完全除去食（原因物質を除いた食事）を提供している	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
認可保育所*	1,579	94	6.0	1	0.1	8	0.5	11	0.7	319	20.2
認証保育所*	526	28	5.3	-	-	1	0.2	4	0.8	143	27.2
認定こども園*	95	6	6.3	2	2.1	3	3.2	1	1.1	19	20.0
幼稚園*	528	46	8.7	0	0.0	9	1.7	9	1.7	44	8.3
ベビーホテル	271	10	3.7	1	0.4	1	0.4	1	0.4	34	12.5
家庭的保育	213	1	0.5	-	-	-	-	-	-	15	7.0
学童保育	1,118	-	-	1	0.1	11	1.0	-	-	98	8.8
上記以外の施設	304	4	1.3	-	-	-	-	5	1.6	37	12.2
総数	4,634	189	4.1	5	0.1	33	0.7	31	0.7	709	15.3
* 前回調査施設（再掲）	2,728	174	6.4	3	0.1	21	0.8	25	0.9	525	19.2

段階的除去食を提供している		代替食を提供している		給食を提供せず、家庭から弁当を持参してもらっている		その他		無回答	
施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
96	6.1	302	19.1	1	0.1	10	0.6	760	48.1
36	6.8	74	14.1	1	0.2	2	0.4	242	46.0
8	8.4	15	15.8	4	4.2	-	-	46	48.4
12	2.3	39	7.4	38	7.2	5	0.9	330	62.5
9	3.3	24	8.9	24	8.9	-	-	172	63.5
4	1.9	12	5.6	18	8.5	-	-	163	76.5
20	1.8	154	13.8	23	2.1	21	1.9	794	71.0
12	3.9	31	10.2	38	12.5	-	-	180	59.2
197	4.3	651	14.0	147	3.2	38	0.8	2,687	58.0
152	5.6	430	15.8	44	1.6	17	0.6	1,378	50.5

表 46. 問5-3 アレルギー対応食に関する園の方針について

\* 集計対象：問5-1で「1. 給食」に回答した施設（◎を付けた施設数を集計）

	総数	給食の原材料を記入した献立表を事前に配布している		一部のおかずのみ弁当を持参してもらっている		完全除去食（原因物質を除いた食事）を提供している		段階的除去食を提供している		代替食を提供している		給食を提供せず、家庭から弁当を持参してもらっている		その他		無回答	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
認可保育所*	1,575	94	6.0	11	0.7	319	20.3	96	6.1	302	19.2	1	0.1	10	0.6	756	48.0
認証保育所*	526	28	5.3	4	0.8	143	27.2	36	6.8	74	14.1	1	0.2	2	0.4	242	46.0
認定こども園*	93	6	6.5	1	1.1	19	20.4	8	8.6	15	16.1	4	4.3	-	-	45	48.4
幼稚園*	381	45	11.8	9	2.4	41	10.8	12	3.1	32	8.4	27	7.1	3	0.8	214	56.2
ベビーホテル	246	10	4.1	1	0.4	34	13.8	9	3.7	24	9.8	20	8.1	-	-	151	61.4
家庭的保育	142	1	0.7	-	-	14	9.9	2	1.4	11	7.7	5	3.5	-	-	109	76.8
学童保育	122	-	-	-	-	14	11.5	-	-	22	18.0	8	6.6	-	-	78	63.9
上記以外の施設	251	4	1.6	5	2.0	37	14.7	11	4.4	30	12.0	22	8.8	-	-	145	57.8
総数	3,336	188	5.6	31	0.9	621	18.6	174	5.2	510	15.3	88	2.6	15	0.4	1,740	52.2
* 前回調査施設（再掲）	2,575	173	6.7	25	1.0	522	20.3	152	5.9	423	16.4	33	1.3	15	0.6	1,257	48.8

表 47. 問5-3 アレルギー対応食に関する園の方針について

\* 問2-1（B）食物アレルギーのある園児・児童を「2. 把握している」施設の中で、問5-1で「1. 給食」と回答した施設（◎を付けた施設数を集計）

	総数	給食の原材料を記入した献立表を事前に配布している		一部のおかずのみ弁当を持参してもらっている		完全除去食（原因物質を除いた食事）を提供している		段階的除去食を提供している		代替食を提供している		給食を提供せず、家庭から弁当を持参してもらっている		その他		無回答	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
認可保育所*	1,554	93	6.0	11	0.7	317	20.4	93	6.0	299	19.2	1	0.1	10	0.6	744	47.9
認証保育所*	512	27	5.3	4	0.8	139	27.1	35	6.8	74	14.5	1	0.2	2	0.4	234	45.7
認定こども園*	93	6	6.5	1	1.1	19	20.4	8	8.6	15	16.1	4	4.3	-	-	45	48.4
幼稚園*	373	45	12.1	9	2.4	41	11.0	12	3.2	32	8.6	26	7.0	3	0.8	207	55.5
ベビーホテル	224	10	4.5	1	0.4	31	13.8	9	4.0	21	9.4	18	8.0	-	-	137	61.2
家庭的保育	104	-	-	-	-	12	11.5	2	1.9	11	10.6	4	3.8	-	-	75	72.1
学童保育	118	-	-	-	-	13	11.0	-	-	22	18.6	8	6.8	-	-	75	63.6
上記以外の施設	231	4	1.7	5	2.2	32	13.9	10	4.3	29	12.6	22	9.5	-	-	131	56.7
総数	3,209	185	5.8	31	1.0	604	18.8	169	5.3	503	15.7	84	2.6	15	0.5	1,648	51.4
* 前回調査施設（再掲）	2,532	171	6.8	25	1.0	516	20.4	148	5.8	420	16.6	32	1.3	15	0.6	1,230	48.6



表 48. 問5-4 過去1年間に施設内で食物アレルギーの症状が出た園児・児童がいましたか

	施設 総数	1いる		2いない		無回答	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
認可保育所*	1,588	574	36.1	976	61.5	38	2.4
認証保育所*	527	150	28.5	368	69.8	9	1.7
認定こども園*	95	22	23.2	73	76.8	-	-
幼稚園*	666	79	11.9	581	87.2	6	0.9
ベビーホテル	331	44	13.3	286	86.4	1	0.3
家庭的保育	596	31	5.2	559	93.8	6	1.0
学童保育	1,169	69	5.9	1,085	92.8	15	1.3
上記以外の施設	376	45	12.0	322	85.6	9	2.4
総数	5,348	1,014	19.0	4,250	79.5	84	1.6
* 前回調査施設(再掲)	2,876	825	28.7	1,998	69.5	53	1.8

表 49. 問5-5 食物アレルギーの症状が出た原因は、誤食でしたか、初発でしたか  
(両方あった場合は両方に○)

\* 集計対象：問5-4で「1. いる」と回答した施設

	施設数	1誤食		2初発		無回答	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
認可保育所*	574	172	30.0	406	70.7	40	7.0
認証保育所*	150	47	31.3	101	67.3	10	6.7
認定こども園*	22	12	54.5	10	45.5	-	-
幼稚園*	79	39	49.4	37	46.8	7	8.9
ベビーホテル	44	13	29.5	30	68.2	2	4.5
家庭的保育	31	5	16.1	19	61.3	8	25.8
学童保育	69	47	68.1	21	30.4	3	4.3
上記以外の施設	45	11	24.4	34	75.6	1	2.2
総数	1,014	346	34.1	658	64.9	71	7.0
* 前回調査施設(再掲)	825	270	32.7	554	67.2	57	6.9

表 50. 問 5-6 (問 5-5 で誤食があったと答えた方に) 過去 1 年間に誤食は何回ありましたか

\* 集計対象 : 問 5-5 で「1. 誤食」と回答した施設

	施設数	0回		1回		2回		3回		4回		5回		無回答	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
認可保育所★	172	2	1.2	99	57.6	27	15.7	10	5.8	4	2.3	3	1.7	27	15.7
認証保育所★	47	-	-	27	57.4	10	21.3	1	2.1	-	-	-	-	9	19.1
認定こども園★	12	-	-	5	41.7	5	41.7	-	-	-	-	-	-	2	16.7
幼稚園★	39	-	-	27	69.2	5	12.8	1	2.6	-	-	-	-	6	15.4
ベビーホテル	13	-	-	6	46.2	2	15.4	1	7.7	-	-	-	-	4	30.8
家庭的保育	5	-	-	3	60.0	1	20.0	-	-	-	-	-	-	1	20.0
学童保育	47	1	2.1	33	70.2	3	6.4	2	4.3	-	-	1	2.1	7	14.9
上記以外の施設	11	-	-	7	63.6	1	9.1	-	-	-	-	-	-	3	27.3
総 数	346	3	0.9	207	59.8	54	15.6	15	4.3	4	1.2	4	1.2	59	17.1
再掲(★印の4大施設)	270	2	0.7	158	58.5	47	17.4	12	4.4	4	1.5	3	1.1	44	16.3

表 51. 問 5-6 誤食があった時の状況をお聞きます

\* 集計対象 : 問 5-5 で「1. 誤食」と回答した施設

	施設数	園児・児童についての食物アレルギーに関する情報が職員間で共有されていない		保護者からの情報が足りなかった		他の園児・児童に配膳された食物を食べてしまった		行事の時に間違えて食べてしまった		間違えて配膳してしまった		調理の段階で原因食材が混入してしまった		その他		無回答	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
認可保育所*	172	26	15.1	19	11.0	35	20.3	8	4.7	88	51.2	26	15.1	46	26.7	1	0.6
認証保育所*	47	5	10.6	5	10.6	9	19.1	1	2.1	24	51.1	13	27.7	6	12.8	-	-
認定こども園*	12	1	8.3	3	25.0	1	8.3	1	8.3	2	16.7	4	33.3	3	25.0	-	-
幼稚園*	39	1	2.6	6	15.4	3	7.7	7	17.9	9	23.1	1	2.6	16	41.0	2	5.1
ベビーホテル	13	2	15.4	3	23.1	3	23.1	1	7.7	3	23.1	2	15.4	2	15.4	-	-
家庭的保育	5	-	-	2	40.0	1	20.0	-	-	-	-	-	-	4	80.0	-	-
学童保育	47	5	10.6	9	19.1	1	2.1	6	12.8	22	46.8	-	-	19	40.4	-	-
上記以外の施設	11	1	9.1	1	9.1	1	9.1	1	9.1	3	27.3	2	18.2	2	18.2	-	-
総 数	346	41	11.8	48	13.9	54	15.6	25	7.2	151	43.6	48	13.9	98	28.3	3	0.9
* 前回調査施設(再掲)	270	33	12.2	33	12.2	48	17.8	17	6.3	123	45.6	44	16.3	71	26.3	3	1.1

**E 食物アレルギーによるアナフィラキシー発作時の対応等についてお聞き  
します**

表 52. 問6-1 過去1年間に施設内で園児・児童が、食物を原因とするアナフィラキシーを起こしたことがありますか（1つだけ○）

	施設 総数	1ある		2ない		無回答	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
認可保育所*	1,588	131	8.2	1,444	90.9	13	0.8
認証保育所*	527	22	4.2	498	94.5	7	1.3
認定こども園*	95	4	4.2	91	95.8	-	-
幼稚園*	666	14	2.1	645	96.8	7	1.1
ベビーホテル	331	6	1.8	324	97.9	1	0.3
家庭的保育	596	11	1.8	579	97.1	6	1.0
学童保育	1,169	20	1.7	1,143	97.8	6	0.5
上記以外の施設	376	3	0.8	366	97.3	7	1.9
総 数	5,348	211	3.9	5,090	95.2	47	0.9
* 前回調査施設(再掲)	2,876	171	5.9	2,678	93.1	27	0.9

表 53. 問6-2 （問6-1で「1. ある」と答えた方）アナフィラキシーを発症した園児・児童のうち、最も重症だったものに一番近い症状の番号を選んでください（ひとつだけ○） \*集計対象：問6-1で「1. ある」と回答した施設

	施設数	1軽症		2中等症		3重症		無回答	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
認可保育所*	131	72	55.0	46	35.1	10	7.6	3	2.3
認証保育所*	22	12	54.5	10	45.5	-	-	-	-
認定こども園*	4	2	50.0	1	25.0	-	-	1	25.0
幼稚園*	14	7	50.0	5	35.7	2	14.3	-	-
ベビーホテル	6	-	-	5	83.3	-	-	1	16.7
家庭的保育	11	7	63.6	3	27.3	-	-	1	9.1
学童保育	20	13	65.0	5	25.0	2	10.0	-	-
上記以外の施設	3	1	33.3	2	66.7	-	-	-	-
総 数	211	114	54.0	77	36.5	14	6.6	6	2.8
* 前回調査施設(再掲)	171	93	54.4	62	36.3	12	7.0	4	2.3

表 54. 問6-2 アナフィラキシーを発症した園児・児童のうち、最も重症だったものに一番近い症状  
 \* 集計対象：問6-1で「1. ある」と回答した施設（有効回答のみで割合を算出）

	施設数	1軽症		2中等症		3重症	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
全施設数	205	114	55.6	77	37.6	14	6.8

表 55. 問6-3 問6-2のアナフィラキシーの発症に対して、どのように対応しましたか（複数回答）  
 \* 集計対象：問6-1で「1. ある」と回答した施設

	施設数	安静にさせ経過観察を行った		対応できる職員を集めた		保護者へ連絡した		かかりつけ医や嘱託医に連絡して指示を受けた		職員が医療機関に受診させた	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
認可保育所*	131	94	71.8	59	45.0	122	93.1	33	25.2	51	38.9
認証保育所*	22	16	72.7	12	54.5	21	95.5	8	36.4	7	31.8
認定こども園*	4	1	25.0	1	25.0	3	75.0	2	50.0	1	25.0
幼稚園*	14	7	50.0	2	14.3	12	85.7	5	35.7	2	14.3
ベビーホテル	6	3	50.0	1	16.7	5	83.3	3	50.0	3	50.0
家庭的保育	11	6	54.5	1	9.1	7	63.6	2	18.2	1	9.1
学童保育	20	15	75.0	7	35.0	19	95.0	-	-	2	10.0
上記以外の施設	3	2	66.7	2	66.7	3	100.0	1	33.3	1	33.3
総数	211	144	68.2	85	40.3	192	91.0	54	25.6	68	32.2
* 前回調査施設（再掲）	171	118	69.0	74	43.3	158	92.4	48	28.1	61	35.7

持参薬を内服させた		アドレナリン自己注射をした		救急車を要請した		その他		無回答	
施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
32	24.4	6	4.6	23	17.6	18	13.7	-	-
2	9.1	-	-	3	13.6	2	9.1	-	-
1	25.0	2	50.0	2	50.0	-	-	-	-
5	35.7	2	14.3	4	33.3	1	50.0	-	-
1	16.7	-	-	2	33.3	1	16.7	-	-
1	9.1	-	-	1	9.1	2	18.2	1	9.1
8	40.0	1	5.0	2	10.0	3	15.0	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
50	23.7	11	5.2	37	17.5	27	12.8	1	0.5
40	23.4	10	5.8	32	18.7	21	12.3	-	-

表 56. 重症度別の対応（問 6-2 と問 6-3）

\* 集計対象：問 6-1 で「1. ある」と回答した施設

問6-3 問6-2	施設数	安静にさせ経過観察を行った		対応できる職員を集めた		保護者へ連絡した		かかりつけ医や囁託医に連絡して指示を受けた		職員が医療機関に受診させた	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
軽症	114	87	76.3	39	34.2	106	93.0	25	21.9	30	26.3
中等症	77	48	62.3	36	46.8	72	93.5	28	36.4	32	41.6
重症	14	7	50.0	9	64.3	10	71.4	1	7.1	5	35.7
無回答	6	2	33.3	1	16.7	4	66.7	-	-	1	16.7
総数	211	144	68.2	85	40.3	192	91.0	54	25.6	68	32.2

持参薬を内服させた		アドレナリン自己注射をした		救急車を要請した		その他		無回答	
施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
24	21.1	-	-	6	5.3	14	12.3	1	0.9
21	27.3	6	7.8	21	27.3	9	11.7	-	-
3	21.4	3	21.4	7	50.0	4	28.6	-	-
2	33.3	2	33.3	3	50.0	-	-	-	-
50	23.7	11	5.2	37	17.5	27	12.8	1	0.5

表 57. 問 6-4 問 6-3 の対応に対する評価について、お聞きします  
対応はスムーズにできましたか（○は1つ）

\* 集計対象：問 6-1 で「1. ある」と回答した施設

	施設数	1できた		2どちらかというとき		3あまりできなかった		4できなかった		無回答	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
認可保育所*	131	80	61.1	42	32.1	8	6.1	-	-	1	0.8
認証保育所*	22	10	45.5	11	50.0	1	4.5	-	-	-	-
認定こども園*	4	3	75.0	1	25.0	-	-	-	-	-	-
幼稚園*	14	7	50.0	5	35.7	2	14.3	-	-	-	-
ベビーホテル	6	-	-	5	83.3	1	16.7	-	-	-	-
家庭的保育	11	4	36.4	3	27.3	3	27.3	-	-	1	9.1
学童保育	20	12	60.0	5	25.0	1	5.0	2	10.0	-	-
上記以外の施設	3	2	66.7	1	33.3	0	0.0	-	-	-	-
総数	211	118	55.9	73	34.6	16	7.6	2	0.9	2	0.9
* 前回調査施設（再掲）	171	100	58.5	59	34.5	11	6.4	-	-	1	0.6

表 58. 重症度別の対応の評価（問6-2と6-4）

\* 集計対象：問6-1で「1. ある」と回答した施設

問6-2 \ 問6-4	施設数	1できた		2どちらかというときできた		3あまりできなかった		4できなかった		無回答	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
軽症	114	72	63.2	33	28.9	7	6.1	1	0.9	1	0.9
中等症	77	36	46.8	32	41.6	9	11.7	-	-	-	-
重症	14	7	50.0	6	42.9	-	-	1	7.1	-	-
無回答	6	3	50.0	2	33.3	-	-	-	-	1	16.7

表 59. 問6-5（問6-4で「1. できた」「2. どちらかというときできた」と答えた方に）問6-3の対応の際、役に立ったものに○をつけてください（複数回答）

\* 集計対象：問6-4「1. できた」「2. どちらかというときできた」と回答した施設（○あるいは◎を付けた施設数）

	施設数	マニュアルやガイドライン等を活用		所・園内での健康安全に関する会議での内容		研修会や講演会での内容		緊急時を想定したシミュレーション訓練の実施		かかりつけ医・囃託医に相談		職員間で相談		その他		無回答	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
認可保育所*	122	96	78.7	72	59.0	72	59.0	36	29.5	33	27.0	84	68.9	12	9.8	2	1.6
認証保育所*	21	9	42.9	10	47.6	13	61.9	2	9.5	6	28.6	13	61.9	3	14.3	-	-
認定こども園*	4	3	75.0	3	75.0	3	75.0	3	75.0	1	25.0	2	50.0	-	-	-	-
幼稚園*	12	7	58.3	7	58.3	4	33.3	3	25.0	3	25.0	10	83.3	2	16.7	-	-
ベビーホテル	5	2	40.0	2	40.0	3	60.0	-	-	3	60.0	4	80.0	-	-	-	-
家庭的保育	7	3	42.9	1	14.3	2	28.6	-	-	2	28.6	2	28.6	2	28.6	-	-
学童保育	17	9	52.9	4	23.5	10	58.8	4	23.5	-	-	11	64.7	3	17.6	-	-
上記以外の施設	3	1	33.3	-	-	-	-	-	-	1	33.3	3	100.0	-	-	-	-
総数	191	130	68.1	99	51.8	107	56.0	48	25.1	49	25.7	129	67.5	22	11.5	2	1.0
* 前回調査施設（再掲）	159	115	72.3	92	57.9	92	57.9	44	27.7	43	27.0	109	68.6	17	10.7	2	1.3

表 60. 最も役立ったものについて再集計

\* 集計対象：問6-4「1. できた」「2. どちらかというときできた」と回答した施設（◎をつけた施設数）

	総数	マニュアルやガイドライン等を活用		所・園内での健康安全に関する会議での内容		研修会や講演会での内容		緊急時を想定したシミュレーション訓練の実施		かかりつけ医・囃託医に相談		職員間で相談		その他		無回答	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
認可保育所*	122	15	12.3	8	6.6	10	8.2	8	6.6	6	4.9	6	4.9	4	3.3	67	54.9
認証保育所*	21	2	9.5	2	9.5	1	4.8	-	-	-	-	1	4.8	2	9.5	13	61.9
認定こども園*	4	-	-	1	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	75.0
幼稚園*	12	-	-	2	16.7	4	33.3	1	8.3	-	-	-	-	-	-	5	41.7
ベビーホテル	5	-	-	-	-	1	20.0	-	-	-	-	1	20.0	-	-	3	60.0
家庭的保育	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	14.3	6	85.7
学童保育	17	1	5.9	1	5.9	3	17.6	1	5.9	-	-	-	-	-	-	11	64.7
上記以外の施設	3	1	33.3	-	-	-	-	-	-	1	33.3	-	-	-	-	1	33.3
総数	191	19	9.9	14	7.3	19	9.9	10	5.2	7	3.7	8	4.2	7	3.7	109	57.1
* 前回調査施設（再掲）	159	17	10.7	13	8.2	15	9.4	9	5.7	6	3.8	7	4.4	6	3.8	88	55.3

表 61. 重症度別の対応時に、役に立ったもの（問 6-2 と問 6-5）

\* 集計対象：問 6-4 「1. できた」「2. どちらかというときできた」と回答した施設

問6-5 問6-2	施設数	マニュアルやガイドライン等を活用		所・園内での健康安全に関する会議での内容		研修会や講演会での内容		緊急時を想定したシミュレーション訓練の実施		かかりつけ医・嘱託医に相談		職員間で相談		その他		無回答	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
軽症	105	77	73.3	50	47.6	55	52.4	17	16.2	23	21.9	72	68.6	10	9.5	-	-
中等症	68	43	63.2	39	57.4	44	64.7	20	29.4	25	36.8	45	66.2	11	16.2	1	1.5
重症	13	8	61.5	9	69.2	8	61.5	10	76.9	1	7.7	9	69.2	1	7.7	-	-
無回答	5	2	40.0	1	20.0	-	-	1	20.0	-	-	3	60.0	-	-	1	20.0

表 62. 問 6-6 （問 6-4 で「3. あまりできなかった」「4. できなかった」と答えた方に）あまりできなかった理由に○をつけてください（いくつでも○）

\* 集計対象：問 6-4 「3. あまりできなかった」「4. できなかった」と回答した施設

	施設数	マニュアルやガイドライン等の資料が揃っていなかった		所・園内でのアレルギー対策に関する話し合いの機会がなかった		研修会や講演会に参加する機会がなかった		緊急時を想定したシミュレーション訓練を実施していなかった		相談できる関係機関を把握してなかった		職員間で相談できる環境が整ってなかった		その他		無回答	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
認可保育所*	8	2	25.0	1	12.5	-	-	4	50.0	-	-	-	-	7	87.5	-	-
認証保育所*	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	100.0	-	-
認定こども園*	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
幼稚園*	2	1	50.0	-	-	-	-	1	50.0	-	-	-	-	2	100.0	-	-
ベビーホテル	1	-	-	-	-	1	100.0	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
家庭的保育	3	1	33.3	-	-	1	33.3	1	33.3	-	-	-	-	1	33.3	-	-
学童保育	3	-	-	1	33.3	-	-	-	-	-	-	2	66.7	1	33.3	-	-
上記以外の施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
総数	18	4	22.2	2	11.1	2	11.1	7	38.9	-	-	2	11.1	12	66.7	-	-

表 63. 重症度別の対応時に、できなかった理由（問 6-2 と問 6-6）

\* 集計対象：問 6-4 「3. あまりできなかった」「4. できなかった」と回答した施設

問6-6 問6-2	施設数	マニュアルやガイドライン等の資料が揃ってなかった		所・園内でのアレルギー対策に関する話し合いの機会がなかった		研修会や講演会に参加する機会がなかった		緊急時を想定したシミュレーション訓練を実施していなかった		相談できる関係機関を把握してなかった		職員間で相談できる環境が整ってなかった		その他		無回答	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
軽症	8	-	-	-	-	1	12.5	1	12.5	-	-	1	12.5	6	75.0	-	-
中等症	9	4	44.4	2	22.2	1	11.1	6	66.7	-	-	1	11.1	5	55.6	-	-
重症	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	100.0	-	-
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

表 64. 問6-7 これまでにアドレナリン自己注射薬（エピペン®）を施設で使用したことがありますか（1つだけ○）

	施設 総数	1ある		2ない		3エピペンを 知らない		無回答	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
認可保育所*	1,588	10	0.6	1,542	97.1	-	-	36	2.3
認証保育所*	527	-	-	506	96.0	-	-	21	4.0
認定こども園*	95	2	2.1	92	96.8	-	-	1	1.1
幼稚園*	666	4	0.6	644	96.7	6	0.9	12	1.8
ベビーホテル	331	1	0.3	319	96.4	1	0.3	10	3.0
家庭的保育	596	1	0.2	528	88.6	32	5.4	35	5.9
学童保育	1,169	3	0.3	1,144	97.9	1	0.1	21	1.8
上記以外の施設	376	2	0.5	357	94.9	3	0.8	14	3.7
総 数	5,348	23	0.4	5,132	96.0	43	0.8	150	2.8
* 前回調査施設（再掲）	2,876	16	0.6	2,785	96.8	6	0.2	70	2.4

表 65. 問6-8 エピペン®を打った人はどなたですか

\* 集計対象：問6-7で「1. ある」と回答した施設数（複数回答）

	施設数	1職員	2保護者	3医師	4救急 救命士	5その他	無回答
		施設数	施設数	施設数	施設数	施設数	施設数
認可保育所*	10	7	2	-	-	1	-
認証保育所*	-	-	-	-	-	-	-
認定こども園*	2	1	-	-	-	1	-
幼稚園*	4	1	1	-	-	1	1
ベビーホテル	1	-	1	-	-	-	-
家庭的保育	1	-	1	-	-	-	-
学童保育	3	2	-	1	-	2	-
上記以外の施設	2	-	-	2	-	-	-
総 数	23	11	5	3	-	5	1
* 前回調査施設（再掲）	16	9	3	-	-	3	1



表 66. 問 6-9 平成 24 年の小学生児童の死亡事故をきっかけに、職場内で、アナフィラキシー発症時の体制について検討したことはありますか（複数回答）

	施設 総数	マニュアルや ガイドライン等 の資料を 見直した		所・園内でのア レルギ対策に 関する話し合い の機会を作った		研修会や講演 会に参加する よう努めた		相談できる関係 機関の把握を おこなった		職員間で相談 できる環境を 整備した		今後検討する 予定		特になし		その他		無回答	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
認可保育所*	1,588	1,248	78.6	1,285	80.9	1,321	83.2	526	33.1	741	46.7	21	1.3	14	0.9	152	9.6	30	1.9
認証保育所*	527	376	71.3	407	77.2	395	75.0	156	29.6	254	48.2	6	1.1	11	2.1	31	5.9	14	2.7
認定こども園*	95	64	67.4	66	69.5	66	69.5	25	26.3	46	48.4	1	1.1	5	5.3	5	5.3	-	-
幼稚園*	666	306	45.9	423	63.5	342	51.4	136	20.4	283	42.5	34	5.1	40	6.0	39	5.9	12	1.8
ベビーホテル	331	170	51.4	192	58.0	169	51.1	78	23.6	116	35.0	21	6.3	21	6.3	18	5.4	14	4.2
家庭的保育	596	192	32.2	72	12.1	191	32.0	76	12.8	65	10.9	38	6.4	159	26.7	44	7.4	54	9.1
学童保育	1,169	874	74.8	781	66.8	967	82.7	267	22.8	586	50.1	26	2.2	16	1.4	57	4.9	14	1.2
上記以外の施設	376	196	52.1	202	53.7	194	51.6	78	20.7	140	37.2	41	10.9	25	6.6	23	6.1	14	3.7
総 数	5,348	3,426	64.1	3,428	64.1	3,645	68.2	1,342	25.1	2,231	41.7	188	3.5	291	5.4	369	6.9	152	2.8
* 前回調査施設(再掲)	2,876	1,994	69.3	2,181	75.8	2,124	73.9	843	29.3	1,324	46.0	62	2.2	70	2.4	227	7.9	56	1.9

表 67. 給食提供等の有無別のアナフィラキシー発症時の体制の検討  
(問 6-9 と問 5-1)

問6-9 問5-1 問5-4 問6-1	施設 総数	マニュアルや ガイドライン等 の資料を 見直した		所・園内でのア レルギ対策に 関する話し合い の機会を作った		研修会や講演 会に参加する よう努めた		相談できる関係 機関の把握を おこなった		職員間で相談 できる環境を 整備した		今後検討する 予定		特になし		その他		無回答	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
給食を提供している	3,336	2,282	68.4	2,402	72.0	2,380	71.3	938	28.1	1,470	44.1	104	3.1	86	2.6	249	7.5	69	2.1
補食・おやつを提供 している (給食は提供せず)	1,298	886	68.3	810	62.4	975	75.1	299	23.0	622	47.9	49	3.8	42	3.2	79	6.1	26	2.0
食物アレルギーの症 状が出た園児・児童 がいる	1,014	744	73.4	791	78.0	791	78.0	321	31.7	507	50.0	18	1.8	21	2.1	94	9.3	10	1.0
アナフィラキシーの園 児・児童がいる	211	153	72.5	170	80.6	167	79.1	83	39.3	123	58.3	3	1.4	2	0.9	22	10.4	-	-

表 68. 問 6-10 日常生活や行事での配慮について、あてはまるものを選んでください（複数回答）

	施設 総数	給食やおやつなどの 時間は、誤食防止の ために職員が同じ テーブルにつく などの配慮をしている		牛乳パックリサイクル 体験や豆まきなどの 活動を実施する際は、 原因となる食材に触 れたり吸い込まないよ うに配慮している		食物アレルギーのあ る園児・児童に対して アナフィラキシー予防 のために、誤食防止 などの話をしている		その他		無回答	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
認可保育所*	1,588	1,513	95.3	1,070	67.4	999	62.9	252	15.9	36	2.3
認証保育所*	527	497	94.3	307	58.3	309	58.6	77	14.6	12	2.3
認定こども園*	95	88	92.6	56	58.9	52	54.7	13	13.7	3	3.2
幼稚園*	666	500	75.1	282	42.3	303	45.5	87	13.1	45	6.8
ベビーホテル	331	293	88.5	124	37.5	150	45.3	49	14.8	18	5.4
家庭的保育	596	436	73.2	99	16.6	113	19.0	71	11.9	105	17.6
学童保育	1,169	579	49.5	317	27.1	639	54.7	351	30.0	131	11.2
上記以外の施設	376	334	88.8	145	38.6	167	44.4	57	15.2	16	4.3
総 数	5,348	4,240	79.3	2,400	44.9	2,732	51.1	957	17.9	366	6.8
* 前回調査施設(再掲)	2,876	2,598	90.3	1,715	59.6	1,663	57.8	429	14.9	96	3.3

表 69. 給食提供等の有無別の日常生活や行事への配慮（問6-10と問5-1）

問6-10 問5-1 問5-4 問6-1	施設 総数	給食やおやつなどの 時間は、誤食防止の ために職員が同じ テーブルにつく などの配慮をしている		牛乳パックリサイクル 体験や豆まきなどの 活動を実施する際は、 原因となる食材に触 れたり吸い込まないよ うに配慮している		食物アレルギーのあ る園児・児童に対して アナフィラキシー予防 のために、誤食防止 などの話をしている		その他		無回答	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
給食を提供している	3,336	3,006	90.1	1,855	55.6	1,870	56.1	513	15.4	114	3.4
補食・おやつを提供 している (給食は提供せず)	1,298	727	56.0	370	28.5	669	51.5	353	27.2	136	10.5
食物アレルギーの症 状が出た園児・児童 がいる	1,014	916	90.3	606	59.8	628	61.9	197	19.4	24	2.4
アナフィラキシーの園 児・児童がいる	211	191	90.5	133	63.0	155	73.5	47	22.3	2	0.9

## F アレルギー疾患の対応に関する取組みについてお聞きします

表 70. 問7-1 アレルギー疾患の対応ガイドラインやマニュアルで、貴所・園で備えているものを選んでください（複数回答）

	総数	施設で独自に作成したマニュアル		区市町村が作成したマニュアル		東京都作成の「食物アレルギー緊急時対応マニュアル」		東京都作成の「保育園・幼稚園・学校における食物アレルギー対応ガイドブック」		厚生労働省作成の「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」		日本学校保健会作成の「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン」		特にガイドライン等は備えていない		その他		無回答	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
認可保育所*	1,588	831	52.3	854	53.8	1,225	77.1	883	55.6	1,092	68.8	141	8.9	6	0.4	42	2.6	27	1.7
認証保育所*	527	315	59.8	176	33.4	380	72.1	216	41.0	285	54.1	15	2.8	7	1.3	17	3.2	6	1.1
認定こども園*	95	39	41.1	30	31.6	75	78.9	50	52.6	42	44.2	15	15.8	6	6.3	2	2.1	2	2.1
幼稚園*	666	101	15.2	111	16.7	440	66.1	264	39.6	78	11.7	114	17.1	95	14.3	30	4.5	24	3.6
ベビーホテル	331	92	27.8	86	26.0	221	66.8	67	20.2	87	26.3	5	1.5	36	10.9	11	3.3	13	3.9
家庭的保育	596	15	2.5	150	25.2	208	34.9	81	13.6	79	13.3	9	1.5	132	22.1	34	5.7	111	18.6
学童保育	1,169	261	22.3	560	47.9	892	76.3	221	18.9	135	11.5	46	3.9	39	3.3	89	7.6	28	2.4
上記以外の施設	376	111	29.5	62	16.5	243	64.6	95	25.3	132	35.1	11	2.9	37	9.8	15	4.0	9	2.4
総数	5,348	1,765	33.0	2,029	37.9	3,684	68.9	1,877	35.1	1,930	36.1	356	6.7	358	6.7	240	4.5	220	4.1
* 前回調査施設（再掲）	2,876	1,286	44.7	1,171	40.7	2,120	73.7	1,413	49.1	1,497	52.1	285	9.9	114	4.0	91	3.2	59	2.1

表 71. 給食提供等の有無別のマニュアル整備（問5-1と問7-1）

問7-1 問5-1 問5-4 問6-1	総数	施設で独自に作成したマニュアル		区市町村が作成したマニュアル		東京都作成の「食物アレルギー緊急時対応マニュアル」		東京都作成の「保育園・幼稚園・学校における食物アレルギー対応ガイドブック」		厚生労働省作成の「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」		日本学校保健会作成の「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン」		特にガイドライン等は備えていない		その他		無回答	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
給食を提供している	3,336	1,453	43.6	1,304	39.1	2,402	72.0	1,453	43.6	1,679	50.3	242	7.3	152	4.6	106	3.2	75	2.2
補食・おやつを提供している（給食は提供せず）	1,298	256	19.7	556	42.8	954	73.5	284	21.9	155	11.9	75	5.8	68	5.2	96	7.4	34	2.6
食物アレルギーの症状が出た園児・児童がいる	1,014	493	48.6	410	40.4	781	77.0	499	49.2	570	56.2	87	8.6	31	3.1	39	3.8	18	1.8
アナフィラキシーの園児・児童がいる	211	106	50.2	92	43.6	170	80.6	110	52.1	125	59.2	19	9.0	8	3.8	8	3.8	4	1.9

表 72. 問7-2 施設内にアレルギー対応を検討したり共通理解をするための委員会、あるいは健康・安全に関する担当者を設置していますか（複数回答）

	総数	アレルギー対策委員会やアレルギー専門委員会を設置している		特にアレルギー対策委員会等は設置していないが、別な会議を代用している		健康・安全に関する担当者を決めている		特に何も決めていない		無回答	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
認可保育所*	1588	187	11.8	807	50.8	982	61.8	104	6.5	66	4.2
認証保育所*	527	16	3.0	269	51.0	166	31.5	123	23.3	33	6.3
認定こども園*	95	4	4.2	42	44.2	51	53.7	19	20.0	5	5.3
幼稚園*	666	12	1.8	227	34.1	264	39.6	234	35.1	22	3.3
ベビーホテル	331	11	3.3	97	29.3	104	31.4	131	39.6	13	3.9
家庭的保育	596	1	0.2	27	4.5	51	8.6	366	61.4	154	25.8
学童保育	1,169	35	3.0	323	27.6	231	19.8	565	48.3	76	6.5
上記以外の施設	376	6	1.6	109	29.0	106	28.2	172	45.7	19	5.1
総数	5,348	272	5.1	1,901	35.5	1,955	36.6	1,714	32.0	388	7.3
* 前回調査施設（再掲）	2,876	219	7.6	1,345	46.8	1,463	50.9	480	16.7	126	4.4

表 73. 給食提供等の有無別の委員会の設置等（問 7 - 2 と問 5 - 1）

問 7 - 2 問 5 - 1 問 5 - 4 問 6 - 1	総数	アレルギー対策委員会やアレルギー専門委員会を設置している		特にアレルギー対策委員会等は設置していないが、別な会議を代用している		健康・安全に関する担当者を決めている		特に何も決めていない		無回答	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
給食を提供している	3,336	235	7.0	1,445	43.3	1,522	45.6	730	21.9	163	4.9
補食・おやつを提供している (給食は提供せず)	1,298	33	2.5	355	27.3	271	20.9	645	49.7	77	5.9
食物アレルギーの症状が出た園児・児童がいる	1,014	74	7.3	478	47.1	540	53.3	163	16.1	40	3.9
アナフィラキシーの園児・児童がいる	211	17	8.1	105	49.8	124	58.8	32	15.2	7	3.3

**G 東京都が平成 25 年に発行した、「食物アレルギー緊急時対応マニュアル」についてお聞きします**

表 74. 問 8 - 1 「食物アレルギー緊急時対応マニュアル」を知っていますか

	施設 総数	1知っている		2知らない		無回答	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
認可保育所*	1,588	1,497	94.3	62	3.9	29	1.8
認証保育所*	527	471	89.4	50	9.5	6	1.1
認定こども園*	95	85	89.5	8	8.4	2	2.1
幼稚園*	666	562	84.4	87	13.1	17	2.6
ベビーホテル	331	279	84.3	45	13.6	7	2.1
家庭的保育	596	303	50.8	245	41.1	48	8.1
学童保育	1,169	1,051	89.9	94	8.0	24	2.1
上記以外の施設	376	321	85.4	46	12.2	9	2.4
総 数	5,348	4,569	85.4	637	11.9	142	2.7
* 前回調査施設(再掲)	2,876	2,615	90.9	207	7.2	54	1.9

表 75. 問 8 - 2 「食物アレルギー緊急時対応マニュアル」はすぐに取り出せる場所に置いてありますか

	施設 総数	1置いてある		2置いていない		無回答	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
認可保育所*	1,497	1,407	94.0	70	4.7	20	1.3
認証保育所*	471	427	90.7	34	7.2	10	2.1
認定こども園*	85	81	95.3	3	3.5	1	1.2
幼稚園*	562	513	91.3	43	7.7	6	1.1
ベビーホテル	279	251	90.0	22	7.9	6	2.2
家庭的保育	303	260	85.8	41	13.5	2	0.7
学童保育	1,051	989	94.1	45	4.3	17	1.6
上記以外の施設	321	291	90.7	25	7.8	5	1.6
総 数	4,569	4,219	92.3	283	6.2	67	1.5
* 前回調査施設(再掲)	2,615	2,428	92.8	150	5.7	37	1.4

表 76. 給食提供等の有無別のマニュアルの場所（問 8 - 2 と問 5 - 1）

問5-1 \ 問8-2	施設 総数	1 置いてある		2 置いていない		無回答	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
給食を提供している	3,001	2,764	92.1	190	6.3	47	1.6
補食・おやつを提供している (給食は提供せず)	1,150	1,081	94.0	55	4.8	14	1.2
食物アレルギーの症状が出た園児・児童がいる	937	865	92.3	60	6.4	12	1.3
アナフィラキシーの園児・児童がいる	193	183	94.8	8	4.1	2	1.0

表 77. 問 8 - 3 「食物アレルギー緊急時対応マニュアル」の置き場所は、誰が知っていますか

	総数	施設管理者のみ		施設管理者や看護師など一部の職員		常勤の職員のみ		すべての職員		その他		無回答	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
認可保育所*	1,497	18	1.2	318	21.2	485	32.4	557	37.2	32	2.1	87	5.8
認証保育所*	471	34	7.2	47	10.0	125	26.5	232	49.3	3	0.6	30	6.4
認定こども園*	85	3	3.5	7	8.2	31	36.5	38	44.7	1	1.2	5	5.9
幼稚園*	562	55	9.8	73	13.0	176	31.3	222	39.5	11	2.0	25	4.4
ベビーホテル	279	18	6.5	14	5.0	59	21.1	158	56.6	9	3.2	21	7.5
家庭的保育	303	131	43.2	7	2.3	18	5.9	102	33.7	18	5.9	27	8.9
学童保育	1,051	6	0.6	20	1.9	254	24.2	716	68.1	20	1.9	35	3.3
上記以外の施設	321	23	7.2	20	6.2	45	14.0	204	63.6	14	4.4	15	4.7
総 数	4,569	288	6.3	506	11.1	1,193	26.1	2,229	48.8	108	2.4	245	5.4
* 前回調査施設(再掲)	2,615	110	4.2	445	17.0	817	31.2	1,049	40.1	47	1.8	147	5.6

表 78. 給食提供等の有無別のマニュアルの置き場所の周知（問 8 - 3 と問 5 - 1）

問5-1 \ 問8-3	施設 総数	施設管理者のみ		施設管理者や看護師など一部の職員		常勤の職員のみ		すべての職員		その他		無回答	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
給食を提供している	3,001	159	5.3	438	14.6	852	28.4	1,306	43.5	69	2.3	177	5.9
補食・おやつを提供している (給食は提供せず)	1,150	45	3.9	38	3.3	280	24.3	720	62.6	25	2.2	42	3.7
食物アレルギーの症状が出た園児・児童がいる	937	35	3.7	167	17.8	273	29.1	384	41.0	25	2.7	53	5.7
アナフィラキシーの園児・児童がいる	193	6	3.1	30	15.5	63	32.6	80	41.5	7	3.6	7	3.6

表 79. 問 8-4 「食物アレルギー緊急時対応マニュアル」の利用状況について、あてはまるものを選んでください（複数回答）

	総数	職員会議などで周知した		施設内研修で利用した		訓練に使った		緊急時に使った		これまで利用したことがない		持っていない		無回答	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
認可保育所*	1,497	1,165	77.8	551	36.8	206	13.8	49	3.3	188	12.6	5	0.3	37	2.5
認証保育所*	471	368	78.1	154	32.7	46	9.8	5	1.1	57	12.1	3	0.6	11	2.3
認定こども園*	85	68	80.0	28	32.9	7	8.2	5	5.9	12	14.1	-	-	-	-
幼稚園*	562	359	63.9	110	19.6	37	6.6	4	0.7	146	26.0	2	0.4	10	1.8
ベビーホテル	279	177	63.4	69	24.7	25	9.0	2	0.7	60	21.5	3	1.1	13	4.7
家庭的保育	303	52	17.2	25	8.3	24	7.9	3	1.0	184	60.7	7	2.3	17	5.6
学童保育	1,051	747	71.1	448	42.6	126	12.0	11	1.0	141	13.4	5	0.5	19	1.8
上記以外の施設	321	202	62.9	72	22.4	26	8.1	0	0.0	90	28.0	2	0.6	5	1.6
総数	4,569	3,138	68.7	1,457	31.9	497	10.9	79	1.7	878	19.2	27	0.6	112	2.5
* 前回調査施設(再掲)	2,615	1,960	75.0	843	32.2	296	11.3	63	2.4	403	15.4	10	0.4	58	2.2

表 80. 給食提供等の有無別のマニュアルの利用状況（問 8-4 と問 5-1）

問 8-4 問 5-1 問 5-4 問 6-1	総数	職員会議などで周知した		施設内研修で利用した		訓練に使った		緊急時に使った		これまで利用したことがない		持っていない		無回答	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
給食を提供している	3,001	2,193	73.1	941	31.4	343	11.4	67	2.2	506	16.9	14	0.5	73	2.4
補食・おやつを提供している (給食は提供せず)	1,150	752	65.4	440	38.3	132	11.5	11	1.0	214	18.6	7	0.6	23	2.0
食物アレルギーの症状が出た園児・児童がいる	937	684	73.0	320	34.2	127	13.6	53	5.7	146	15.6	3	0.3	25	2.7
アナフィラキシーの園児・児童がいる	193	139	72.0	77	39.9	40	20.7	28	14.5	27	14.0	-	-	6	3.1

## H アレルギーに関する研修・講演会の参加や要望についてお聞きします

表 81. 問9-1 平成25年、26年度に、貴所・園からアレルギー等に関する外部の研修・講演会に参加しましたか。あてはまるものを選んでください（複数回答）

	総数	1アレルギー研修		2心肺蘇生、またはAED		3研修には参加していない		無回答	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
認可保育所*	1,588	1,439	90.6	1,083	68.2	50	3.1	14	0.9
認証保育所*	527	422	80.1	343	65.1	41	7.8	8	1.5
認定こども園*	95	72	75.8	53	55.8	11	11.6	3	3.2
幼稚園*	666	355	53.3	436	65.5	128	19.2	10	1.5
ベビーホテル	331	181	54.7	138	41.7	100	30.2	8	2.4
家庭的保育	596	142	23.8	367	61.6	134	22.5	44	7.4
学童保育	1,169	957	81.9	689	58.9	96	8.2	19	1.6
上記以外の施設	376	206	54.8	191	50.8	93	24.7	6	1.6
総数	5,348	3,774	70.6	3,300	61.7	653	12.2	112	2.1
* 前回調査施設（再掲）	2,876	2,288	79.6	1,915	66.6	230	8.0	35	1.2

表 82. 給食提供等の有無別の研修会の参加状況（問9-1と問5-1）

問9-1 問5-1 問5-4 問6-1	総数	1アレルギー研修		2心肺蘇生、またはAED		3研修には参加していない		無回答	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
給食を提供している	3,336	2,538	76.1	2,119	63.5	354	10.6	44	1.3
補食・おやつを提供している （給食は提供せず）	1,298	971	74.8	750	57.8	150	11.6	21	1.6
食物アレルギーの症状が出た園児・児童がいる	1,014	866	85.4	692	68.2	54	5.3	7	0.7
アナフィラキシーの園児・児童がいる	211	180	85.3	137	64.9	14	6.6	2	0.9



表 83. 問9-2 (問9-1で「1. アレルギー研修に参加した」と答えた方に) 研修で得た知識などについて、他の職員にどのような形で周知していますか。あてはまるものを選んでください(複数回答)

	総数	研修に参加した人による伝達勉強会		研修で使用了資料等を回覧.		所・園内の会議等で連絡		周知していない		その他		無回答	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
認可保育所*	1,439	739	51.4	907	63.0	1,065	74.0	15	1.0	52	3.6	6	0.4
認証保育所*	422	220	52.1	293	69.4	295	69.9	1	0.2	12	2.8	2	0.5
認定こども園*	72	34	47.2	42	58.3	51	70.8	-	-	4	5.6	-	-
幼稚園*	355	191	53.8	219	61.7	160	45.1	7	2.0	19	5.4	1	0.3
ベビーホテル	181	98	54.1	130	71.8	96	53.0	1	0.6	7	3.9	2	1.1
家庭的保育	142	40	28.2	62	43.7	25	17.6	19	13.4	21	14.8	5	3.5
学童保育	957	490	51.2	715	74.7	483	50.5	7	0.7	86	9.0	6	0.6
上記以外の施設	206	104	50.5	134	65.0	97	47.1	4	1.9	18	8.7	2	1.0
総数	3,774	1,916	50.8	2,502	66.3	2,272	60.2	54	1.4	219	5.8	24	0.6
* 前回調査施設(再掲)	2,288	1,184	51.7	1,461	63.9	1,571	68.7	23	1.0	87	3.8	9	0.4

表 84. 給食提供等の有無別の研修内容の周知方法(問9-2と問5-1)

問5-1 問5-4 問6-1	問9-2 総数	研修に参加した人による伝達勉強会		研修で使用了資料等を回覧.		所・園内の会議等で連絡		周知していない		その他		無回答	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
給食を提供している	2,538	1,302	51.3	1,632	64.3	1,708	67.3	35	1.4	95	3.7	13	0.5
補食・おやつを提供している (給食は提供せず)	971	483	49.7	714	73.5	479	49.3	10	1.0	101	10.4	6	0.6
食物アレルギーの症状が出た園児・児童がいる	866	433	50.0	538	62.1	598	69.1	12	1.4	41	4.7	4	0.5
アナフィラキシーの園児・児童がいる	180	91	50.6	106	58.9	129	71.7	2	1.1	9	5.0	2	1.1

表 85. 問9-3 (問9-1で「1. アレルギー研修」に参加していないと答えた方に) 研修に参加されていない理由について、あてはまるものを選んでください(複数回答)

	総数	該当する園児・児童がいない		人手がないので参加できない		日程が合わない		独自に情報を収集している		平成24年度以前に研修を受けた		参加する必要性を感じない		その他		無回答	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
認可保育所*	135	10	7.4	17	12.6	56	41.5	29	21.5	40	29.6	-	-	18	13.3	29	21.5
認証保育所*	97	7	7.2	25	25.8	52	53.6	18	18.6	21	21.6	-	-	14	14.4	9	9.3
認定こども園*	20	1	5.0	6	30.0	12	60.0	3	15.0	3	15.0	-	-	3	15.0	2	10.0
幼稚園*	301	78	25.9	45	15.0	129	42.9	62	20.6	20	6.6	12	4.0	32	10.6	28	9.3
ベビーホテル	142	45	31.7	51	35.9	64	45.1	13	9.2	17	12.0	3	2.1	24	16.9	5	3.5
家庭的保育	410	192	46.8	115	28.0	135	32.9	37	9.0	26	6.3	9	2.2	61	14.9	62	15.1
学童保育	193	48	24.9	38	19.7	72	37.3	26	13.5	28	14.5	1	0.5	29	15.0	18	9.3
上記以外の施設	164	36	22.0	59	36.0	77	47.0	34	20.7	17	10.4	2	1.2	24	14.6	12	7.3
総数	1,462	417	28.5	356	24.4	597	40.8	222	15.2	172	11.8	27	1.8	205	14.0	165	11.3
* 前回調査施設(再掲)	553	96	17.4	93	16.8	249	45.0	112	20.3	84	15.2	12	2.2	67	12.1	68	12.3

表 86. 給食提供等の有無別の研修未参加理由（問 9-3 と問 5-1）

問9-3 問5-1 問5-4 問6-1	総数	該当する園児・児童がいない		人手がないので参加できない		日程が合わない		独自に情報を収集している		平成24年度以前に研修を受けた		参加する必要性を感じない		その他		無回答	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
給食を提供している	754	159	21.1	203	26.9	350	46.4	130	17.2	103	13.7	12	1.6	104	13.8	76	10.1
補食・おやつを提供している (給食は提供せず)	306	90	29.4	68	22.2	132	43.1	43	14.1	41	13.4	1	0.3	39	12.7	27	8.8
食物アレルギーの症状が出た園児・児童がいる	141	11	7.8	46	32.6	74	52.5	26	18.4	20	14.2	1	0.7	18	12.8	14	9.9
アナフィラキシーの園児・児童がいる	29	1	3.4	11	37.9	14	48.3	3	10.3	5	17.2	-	-	4	13.8	3	10.3

表 87. 問 10 アレルギー対応の施設内研修について、お聞きします  
貴所・園で行っている研修について、あてはまるものを選んでください（複数回答）

	総数	ガイドラインの内容の説明		「食物アレルギー緊急時対応マニュアル」の内容の説明		アドレナリン自己注射薬練習キットを使用した訓練		緊急時を想定したシミュレーション訓練		外部研修の受講者による伝達勉強会		外部講師を招いての研修		施設内研修に関する取り組みは特にない		その他		無回答	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
認可保育所*	1,588	655	41.2	906	57.1	846	53.3	502	31.6	621	39.1	138	8.7	79	5.0	109	6.9	27	1.7
認証保育所*	527	225	42.7	278	52.8	120	22.8	115	21.8	243	46.1	32	6.1	38	7.2	38	7.2	13	2.5
認定こども園*	95	32	33.7	54	56.8	40	42.1	23	24.2	24	25.3	15	15.8	7	7.4	6	6.3	1	1.1
幼稚園*	666	142	21.3	284	42.6	198	29.7	90	13.5	150	22.5	54	8.1	136	20.4	45	6.8	25	3.8
ベビーホテル	331	104	31.4	175	52.9	48	14.5	48	14.5	91	27.5	15	4.5	54	16.3	27	8.2	17	5.1
家庭的保育	596	59	9.9	93	15.6	25	4.2	52	8.7	47	7.9	37	6.2	214	35.9	64	10.7	124	20.8
学童保育	1,169	318	27.2	654	55.9	639	54.7	244	20.9	346	29.6	282	24.1	91	7.8	72	6.2	35	3.0
上記以外の施設	376	98	26.1	175	46.5	81	21.5	62	16.5	103	27.4	22	5.9	86	22.9	28	7.4	17	4.5
総数	5,348	1,633	30.5	2,619	49.0	1,997	37.3	1,136	21.2	1,625	30.4	595	11.1	705	13.2	389	7.3	259	4.8
* 前回調査施設(再掲)	2,876	1,054	36.6	1,522	52.9	1,204	41.9	730	25.4	1,038	36.1	239	8.3	260	9.0	198	6.9	66	2.3

表 88. 給食提供等の有無別の施設内研修（問 10 と問 5-1）

問10 問5-1 問5-4 問6-1	総数	ガイドラインの内容の説明		「食物アレルギー緊急時対応マニュアル」の内容の説明		アドレナリン自己注射薬練習キットを使用した訓練		緊急時を想定したシミュレーション訓練		外部研修の受講者による伝達勉強会		外部講師を招いての研修		施設内研修に関する取り組みは特にない		その他		無回答	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
給食を提供している	3,336	1,189	35.6	1,749	52.4	1,264	37.9	808	24.2	1,168	35.0	266	8.0	346	10.4	238	7.1	97	2.9
補食・おやつを提供している (給食は提供せず)	1,298	340	26.2	660	50.8	636	49.0	257	19.8	352	27.1	277	21.3	154	11.9	99	7.6	48	3.7
食物アレルギーの症状が出た園児・児童がいる	1,014	363	35.8	547	53.9	456	45.0	299	29.5	388	38.3	96	9.5	78	7.7	75	7.4	21	2.1
アナフィラキシーの園児・児童がいる	211	74	35.1	112	53.1	108	51.2	72	34.1	86	40.8	19	9.0	14	6.6	20	9.5	6	2.8

## IV 資料（調査票）



## アレルギー疾患に関する施設調査

このアンケートは、保育施設等におけるアレルギー疾患のある園児・児童の状況や、施設における対応状況等を調査し、現状を把握するとともに、今後、東京都が実施する、子供のアレルギー対策事業における基礎資料とさせていただくためのものです。皆様の御協力をよろしくお願いいたします。

調査票には、区市町村及び施設種別（認可保育所、認証保育所、幼稚園など）を識別するために、IDが付けられております。

記載いただいた事項については秘密を守り、統計以外の目的に用いることはありません。調査結果は統計的に処理を行い、施設が特定される心配はありません。

ID :

※アンケート御記入後、同封の返信用封筒により、平成26年9月30日（火）までにご投函ください（切手不要）。

### ご記入に際してのお願い

- 1 アンケートのご回答は、**施設長（管理者）**が行ってください。
- 2 ご回答は、次の要領で行ってください。
  - 回答順序は、各設問の番号順にお答えください。
  - 回答項目のうち、あてはまる番号に○を付けてください。
  - ○の数は、（1つだけ○）（いくつでも○）といった（ ）内の指示に合わせて付けてください。
  - 内や「その他」の（ ）内には、ご意見を具体的にお書きください。
- 3 質問内容など不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。

東京都健康安全研究センター 企画調整部 健康危機管理情報課 環境情報係

専用ダイヤル：03（3363）3235（平日9時から17時まで）

※本調査は、東京都が調査会社【株式会社 タイム・エージェント】へ委託して実施しています。

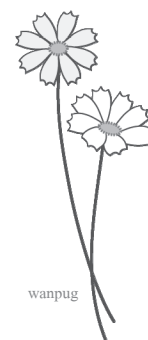
A 施設の概要についてお聞きします ※この調査票の記載日の状況を記入してください

- 問1 所在地、開所（園）時間、園児・児童数、職員数についてお聞きします。  
 （ ）の中に数字又は区市町村名をご記入ください。  
 「C. 園児・児童数」「D. 職員数」については在籍人数の内訳と合計をご記入ください。

A. 所在地	( ) 区・市・町・村
B. 開所（園）時間	( ) 時 ( ) 分～ ( ) 時 ( ) 分 ※ 平日の最大開所時間を、24時間単位でお答えください 記入例： 7時00分 ～ 19時00分

C. 園児・児童数			
1. 0歳児		7. 小学一年生	
2. 1歳児		8. 小学二年生	
3. 2歳児		9. 小学三年生	
4. 3歳児		10. その他	
5. 4歳児			
6. 5歳児			
11. 合計			

D. 職員数	常勤	非常勤
1. 施設長		
2. 保育士		
3. 幼稚園教諭		
4. 幼稚園教諭・保育士併有		
5. 看護師・保健師		
6. 栄養士		
7. 調理及び調理補助員		
8. 事務職員		
9. その他		
10. 合計		



## B 各アレルギー疾患のある児童の状況等についてお聞きします

問2-1 現在、保護者からの申し出（文書や診断書の提出、口頭等）によりアレルギー疾患のある園児・児童の実態を把握していますか。

「(1)」では、各疾患ごとの把握の有無について、当てはまる数字に○印をつけてください。

「(2)」では、(1)で把握している場合の各疾患ごとの人数をご記入ください。

現在、在籍していない場合は、合計欄に「0」とご記入ください。

なお、複数の疾患をもつ園児・児童については、それぞれにご記入ください。

(※「C. アナフィラキシー」は、施設内だけでなく、家庭で起こした場合も含む)

	A. ぜん息	B. 食物アレルギー	C. アナフィラキシー (注1)	D. アトピー性皮膚炎	E. アレルギー性鼻炎 (注2)	F. アレルギー性結膜炎 (注2)
(1) 把握の有無	1. 把握していない	1. 把握していない	1. 把握していない	1. 把握していない	1. 把握していない	1. 把握していない
	2. 把握している	2. 把握している	2. 把握している	2. 把握している	2. 把握している	2. 把握している
(2) 把握している場合は人数をご記入ください	把握人数	把握人数	把握人数	把握人数	把握人数	把握人数
1. 0歳児						
2. 1歳児						
3. 2歳児						
4. 3歳児						
5. 4歳児						
6. 5歳児						
7. 小学一年生						
8. 小学二年生						
9. 小学三年生						
10. その他						
11. 合計						

(注1) 「C. アナフィラキシー」

食物、薬物、ハチ毒などが原因で誘発される全身性の急性アレルギー反応をいいます。じんましんなどの皮膚症状、腹痛や嘔吐などの消化器症状、呼吸困難などの呼吸器症状、目や鼻などの粘膜症状が、2ヵ所以上の臓器に同時に、かつ急激に現れる状態のことを指します。

(注2) 「E. アレルギー性鼻炎」「F. アレルギー性結膜炎」は、ダニ、埃、花粉によるものも含まれます。

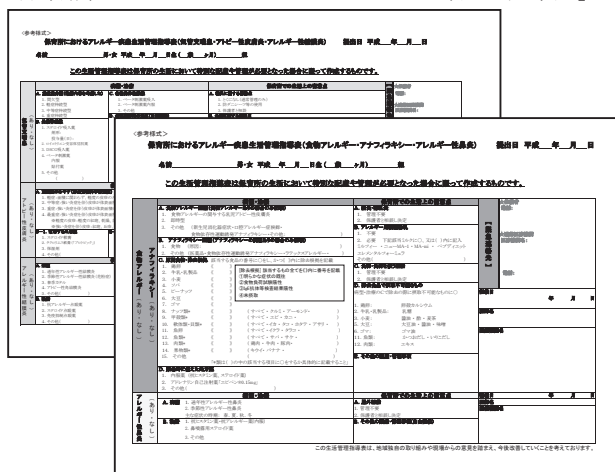
問2-2 食物アレルギーのある子供を預かりますか。

1. 預かる
2. 預からない
3. その他 ( )

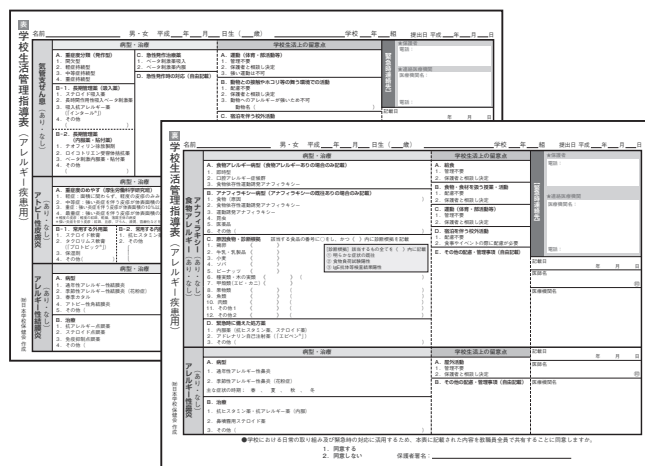
問3-1 アレルギー疾患の生活管理指導表の使用状況についてお答えください。  
あてはまるものに○をつけてください。(いくつでも○)

- 厚生労働省の「保育所におけるアレルギー疾患生活管理指導表」を使用
- 文部科学省（日本学校保健会作成）の「学校生活管理指導表」（アレルギー疾患用）を使用
- 区市町村で独自に作成した指導表を使用（上記1.2の指導表を改変したものも含む）
- 所・園で独自に作成した指導表を使用（上記1.2の指導表を改変したものも含む）
- 上記以外の様式を使用（医師の診断書や保護者が作成した用紙等）
- 使用していない

1. 厚生労働省の「保育所におけるアレルギー疾患生活管理指導表」



2. 文部科学省（日本学校保健会作成）の「学校生活管理指導表」（アレルギー疾患用）



問3-2 生活管理指導表を提出している園児・児童が何人いますか。

( ) 人

問3-3 保護者からの依頼により、主治医から処方されたアレルギーに関する内服薬等を預かりますか。

- 預かる
- 預からない

問3-4 アドレナリン自己注射薬（エピペン®）を処方されている園児・児童を受けられますか（受け入れていますか）。

- 受け入れる → 問3-5へ
- 断る → 問3-6へ
- 決まっていない → 問3-6へ

問3-5（問3-4で「1. 受け入れる」と答えた方に）  
アドレナリン自己注射薬（エピペン®）を預かりますか。また、現在、預かっている園児・児童は何人いますか。現在、預かっていない場合は、「0」とご記入ください。

- 預かる：現在預かっている園児・児童は ( ) 人
- 預からない
- 決まっていない

問3-6 食物依存性運動誘発アナフィラキシー\*と診断を受けている園児・児童はいますか。

- いる
- いない

\*原因食材を摂取して4時間以内に一定量の運動をすることにより出る症状





問4-5 (問4-4で「1.できた」「2.どちらかというとできた」と答えた方に)  
問4-3の対応の際に、役に立ったものに○をつけてください。(いくつでも○)

1. マニュアルやガイドライン等を活用
2. 所・園内での健康安全に関する会議での内容
3. 研修会や講演会での内容
4. かかりつけ医・嘱託医に相談
5. 保護者からの指示
6. 職員間で相談
7. その他 ( )

→ 問4-7へ

問4-6 (問4-4で「3.あまりできなかった」「4.できなかった」と答えた方に)  
あまりできなかった理由、できなかった理由に○をつけてください。(いくつでも○)

1. マニュアルやガイドライン等の資料が揃っていなかった
2. 所・園内でのアレルギー対策に関する話し合いの機会がなかった
3. 研修会や講演会に参加する機会がなかった
4. 相談できる関係機関を把握してなかった
5. 職員間で相談できる環境が整っていなかった
6. 緊急時に備えた訓練をしていなかった
7. その他 ( )

→ 問4-7へ

問4-7 過去5年間に、ぜん息をもつ園児・児童への対応について、職場内での体制を検討したことはありましたか。あてはまるものを選んでください。(いくつでも○)

1. マニュアルやガイドライン等の資料の内容の確認
2. 所・園内でのアレルギー対策に関する話し合いの場の設置
3. 研修会や講演会に参加するよう努力
4. 相談できる関係機関の把握
5. 職員間で相談できる環境の整備
6. 今後検討予定
7. 特になし
8. その他 ( )

## D 食物アレルギーに関することについてお聞きします

問5-1 貴施設で、提供している食べ物全てに○をつけてください。(いくつでも○)

- |               |                    |
|---------------|--------------------|
| 1. 給食 (昼食や夕食) | 2. 補食              |
| 3. おやつ        | 4. 提供していない → 問5-4へ |

問5-2 (問5-1で「1. 給食」「2. 補食」「3. おやつ」のいずれかに○をした方に)

提供しているものの調理方式について、あてはまるものを選んでください。(いくつでも○)

1. 施設内の給食調理施設で調理
2. 共同調理場で調理した給食を提供するセンター方式
3. 民間業者が弁当をつくって、所・園に届ける弁当方式
4. その他 ( )

→ 問5-3へ

問5-3 (問5-1で「1. 給食」「2. 補食」「3. おやつ」のいずれかに○をした方に)

**アレルギー対応食**に関する園の方針について、あてはまるもの全てに○を、また4~8で、最も対応数の多いものに◎をしてください。(○はいくつでも、◎は1つだけ)

1. 給食の原材料を記入した献立表を事前に配布している
2. 補食の原材料を記入した献立表を事前に配布している
3. おやつを原材料を記入した献立表を事前に配布している
4. 一部のおかずのみ弁当を持参してもらっている
5. 完全除去食(原因物質を除いた食事)を提供している
6. 段階的除去食(例:乳製品は提供するが、飲用牛乳は提供しない等)を提供している
7. 代替食(原因となる食物の代わりとなる食物)を提供している
8. 給食を提供せず、家庭から弁当を持参してもらっている
9. その他 ( )

問5-4 過去1年間に施設内で食物アレルギーの症状が出た園児・児童がいましたか。

1. いる → 問5-5へ

2. いない → 問6-1へ

問5-5 食物アレルギーの症状が出た原因は、誤食でしたか、初発<sup>\*</sup>でしたか。

(両方あった場合は両方に○) ※症状が出る前に原因食物と診断されておらず、初めて症状を経験した場合

1. 誤食 → 問5-6へ

2. 初発 → 問6-1へ

問5-6 (問5-5で誤食があったと答えた方に)

過去1年間に誤食は何回ありましたか。また、その時の状況をお聞きします。(いくつでも○)

( ) 回

1. 園児・児童についての食物アレルギーに関する情報が職員間で共有されていなかった
2. 保護者からの情報が足りなかった
3. 他の園児・児童に配膳された食物を食べてしまった
4. 行事の時に間違えて食べたり、触れてしまった
5. 間違えて配膳してしまった
6. 調理の段階で原因食材が混入してしまった
7. その他 ( )

E 食物アレルギーによるアナフィラキシー発作時の対応等についてお聞きします

問6-1 過去1年間に施設内で園児・児童が、食物を原因とするアナフィラキシー\*を起こしたことがありますか。(1つだけ○)

1. ある → 問6-2へ                      2. ない → 問6-7へ

※アナフィラキシーとは

食物、薬物、ハチ毒などが原因で誘発される全身性の急性アレルギー反応をいいます。じんましんなどの皮膚症状、腹痛や嘔吐などの消化器症状、呼吸困難などの呼吸器症状、目や鼻などの粘膜症状が、2ヵ所以上の臓器に同時に、かつ急激に現れる状態のことを指します。

問6-2 (問6-1で「1. ある」と答えた方に)

上記のアナフィラキシーを発症した園児・児童のうち、最も重症だったものに一番近い症状の番号を選んでください。(1つだけ○)

- |         |  |
|---------|--|
| 1. 軽度症状 | 軽度のかゆみ・数個のじんま疹・部分的な赤み・目のかゆみ、充血・口の中の違和感、唇の腫れ、くしゃみ、鼻水、鼻づまり・軽いお腹の痛み(我慢できる)、吐き気  |
| 2. 中度症状 | 強いかゆみ・全身に広がるじんま疹、全身が真っ赤・顔全体の腫れ・まぶたの腫れ<br>中等度のお腹の痛み・1~2回のおう吐・1~2回の下痢・1~2回の軽い咳   |
| 3. 重症   | 持続する強い(がまんできない)お腹の痛み・繰り返し吐き続ける<br>のどや胸が締め付けられる・声がかすれる・犬がほえるような咳・息がしにくい<br>持続する強い咳込み・ゼーゼーする呼吸<br>ぐったり・意識がもうろう・尿や便をもらす・脈が触れにくくまたは不規則・唇や爪が青白い |

問6-3 問6-2のアナフィラキシーの発症に対して、どのように対応しましたか。あてはまるものを選んでください。(いくつでも○)

1. 安静にさせ、経過観察を行った
2. 対応できる職員を集めた
3. 保護者へ連絡した
4. かかりつけ医や嘱託医に連絡をして指示を受けた
5. 職員が医療機関に受診させた
6. 持参薬を内服させた
7. アドレナリン自己注射薬(エピペン®)を使用した
8. 救急車を要請した
9. その他( )

問6-4 問6-3の対応に対する評価について、お聞きします。対応はスムーズにできたと思いますか。(○は1つ)

- |              |              |         |
|--------------|--------------|---------|
| 1. できた       | 2. どちらかというとき | → 問6-5へ |
| 3. あまりできなかった | 4. できなかった    | → 問6-6へ |

問6-5 (問6-4で「1.できた」「2.どちらかというとできた」と答えた方に)

問6-3の対応の際、役に立ったものに○をつけてください。(○はいくつでも)  
最も役に立ったものに◎をしてください。(◎は1つ)

1. マニュアルやガイドライン等を活用
2. 所・園内での健康安全に関する会議での内容
3. 研修会や講演会での内容
4. 緊急時を想定したシミュレーション訓練の実施
5. かかりつけ医・嘱託医に相談
6. 職員間で相談
7. その他 ( )

→問6-7へ

問6-6 (問6-4で「3.あまりできなかった」「4.できなかった」と答えた方に)

あまりできなかった理由、できなかった理由に○をつけてください。(いくつでも○)

1. マニュアルやガイドライン等の資料が揃っていなかった
2. 所・園内でのアレルギー対策に関する話し合いの機会がなかった
3. 研修会や講演会に参加する機会がなかった
4. 緊急時を想定したシミュレーション訓練を実施していなかった
5. 相談できる関係機関を把握していなかった
6. 職員間で相談できる環境が整っていなかった
7. その他 ( )

→問6-7へ

問6-7 これまでにアドレナリン自己注射薬(エピペン®)を施設で使用したことがありますか。(1つだけ○)

1. ある →問6-8へ      2. ない →問6-9へ      3. エピペンを知らない →問6-9へ

問6-8 エピペン®を打った人はどなたですか。

1. 職員
2. 保護者
3. 医師
4. 救急救命士
5. その他 ( )

問6-9 平成24年の小学生児童の死亡事故をきっかけに、職場内で、アナフィラキシー発症時の体制について検討したことはありますか。あてはまるものを選んでください。(いくつでも○)

1. マニュアルやガイドライン等の資料を見直した
2. 所・園内でのアレルギー対策に関する話し合いの機会を作った
3. 研修会や講演会に参加するよう努めた
4. 相談できる関係機関の把握をおこなった
5. 職員間で相談できる環境を整備した
6. 今後検討する予定
7. 特になし
8. その他 ( )

問 6-10 日常生活や行事での配慮について、あてはまるものを選んでください。(いくつでも○)

1. 給食やおやつなどの時間は、誤食防止（他の園児・児童の食事を食べない）のために職員が同じテーブルにつくなどの配慮をしている
2. 牛乳パックリサイクル体験や豆まきなどの活動を実施する際は、原因となる食材に触れたり吸い込まないように配慮している
3. 食物アレルギーのある園児・児童に対して、アナフィラキシー予防のために、誤食防止などの話をしている
4. その他（ ）

## F アレルギー疾患の対応に関する取組みについてお聞きします

問 7-1 下記のアレルギー疾患の対応ガイドラインやマニュアルで、貴所・園で備えているものを選んでください。(いくつでも○)

1. 施設で独自に作成したマニュアル
2. 区市町村が作成したマニュアル
3. 東京都作成の「食物アレルギー緊急時対応マニュアル」(平成25年7月)
4. 東京都作成の「保育園・幼稚園・学校における食物アレルギー対応ガイドブック」(平成22年3月)
5. 厚生労働省作成の「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」(平成23年3月)
6. 日本学校保健会(文部科学省監修)作成の「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン」(平成20年3月)
7. 特にガイドライン等は備えていない
8. その他（ ）

問 7-2 施設内にアレルギー対応を検討したり共通理解するための委員会、あるいは健康・安全に関する担当者を設置していますか。あてはまるものを選んでください。(いくつでも○)

1. アレルギー対策委員会やアレルギー専門委員会を設置している
2. 特にアレルギー対策委員会等は設置していないが、別な会議を代用している
3. 健康・安全に関する担当者を決めている
4. 特に何も決めていない

## G 東京都が平成25年7月に発行した「食物アレルギー緊急時対応マニュアル」についてお聞きします

問 8-1 「食物アレルギー緊急時対応マニュアル」を知っていますか。

1. 知っている → 問 8-2へ                      2. 知らない → 問 9-1へ

問 8-2 「食物アレルギー緊急時対応マニュアル」はすぐに取り出せる場所に置いてありますか。

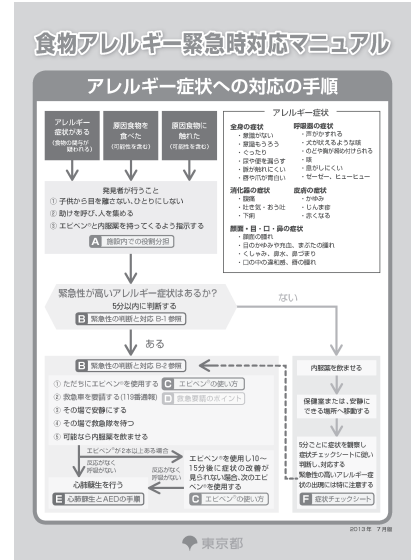
1. 置いてある                                      2. 置いていない

問 8-3 「食物アレルギー緊急時対応マニュアル」の置き場所は、誰が知っていますか。

1. 施設管理者のみ
2. 施設管理者や看護師など一部の職員
3. 常勤の職員のみ
4. すべての職員
5. その他 ( )

問 8-4 「食物アレルギー緊急時対応マニュアル」の利用状況について、あてはまるものを選んでください。(いくつでも○)

1. 職員会議などで周知した
2. 施設内研修で利用した
3. 訓練に使った
4. 緊急時に使った
5. これまで利用したことがない
6. 持っていない



H アレルギーに関する研修・講演会の参加や要望についてお聞きします

問 9-1 平成25年、26年度に、貴所・園からアレルギー等に関する外部の研修・講演会に参加しましたか。あてはまるものを選んでください。(いくつでも○)

1. アレルギー研修 → 問 9-2 へ
2. 心肺蘇生、または AED 研修 } → 問 9-3 へ
3. 研修には参加していない

問 9-2 (問 9-1 で「1. アレルギー研修に参加した」と答えた方に)

研修で得た知識などについて、他の職員にどのような形で周知していますか。あてはまるものを選んでください。(いくつでも○)

1. 研修に参加した人による伝達勉強会
2. 研修で使用した資料等を回覧
3. 所・園内会の会議等で連絡
4. 周知していない
5. その他 ( ) → 問 10 へ

問 9-3 (問 9-1 で、「1. アレルギー研修」に参加していないと答えた方に)

研修に参加されていない理由について、あてはまるものを選んでください。(いくつでも○)

1. 該当する園児・児童がない
2. 人手がないので、参加できない
3. 日程が合わない
4. 独自に情報を収集している
5. 平成24年度以前に研修を受けた
6. 参加する必要性を感じない
7. その他( )

以下は全ての方がお答えください。

問 10 アレルギー対応の施設内研修について、お聞きします。

貴所・園で行っている研修について、あてはまるものを選んでください。(いくつでも○)

1. ガイドラインの内容の説明
2. 東京都が平成25年7月に発行した「食物アレルギー緊急時対応マニュアル」の内容の説明
3. アドレナリン自己注射薬練習キット(エピペン®トレーナー)を使用した訓練
4. 緊急時を想定したシミュレーション訓練
5. 外部研修の受講者による伝達勉強会
6. 外部講師を招いての研修
7. 施設内研修に関する取り組みは特にない
8. その他( )

問 11 行政(都や区市町村主管課)に対する、ご意見やご要望がありましたらご記入ください。

問 12 保護者や医療機関に対する、ご意見やご要望がありましたらご記入ください。

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れて9月30日(火)までにご投函ください。



平成 26 年度

東京都アレルギー疾患対策検討委員会 アレルギー疾患検討部会委員

(平成 26 年 4 月時点)

部会長 赤澤 晃 東京都立小児総合医療センター からだの専門診療部  
アレルギー科部長

岩田 力 東京家政大学 子ども学部 学部長

今井 孝成 昭和大学医学部 小児科学講座 講師

登録番号 (26) 35

## アレルギー疾患に関する施設調査（平成 26 年度）報告書

平成 27 年 3 月発行

編集・発行 東京都健康安全研究センター 企画調整部健康危機管理情報課  
東京都新宿区百人町三丁目 2 4 番 1 号  
電話番号 03(3363)3487

調査委託機関 株式会社 タイム・エージェント  
東京都渋谷区円山町 6 番 8 号松木家ビル

石油系溶剤を含まないインキを使用しています。  
再生紙を使用しています。

